

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		*	*
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言の解除により、若干の来街者数の増加が見込めるため、5月を基準にすれば景気はやや良くなる。ただし、夏祭りなど、夏のイベントのほとんどが中止となっているため、例年と比較すると景気は悪い。
		商店街（代表者）	・期待と希望を込めて、景気はやや良くなるとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・6月1日から自粛要請が全面的に解除されることに伴い、ほとんどの取引先が営業を再開するとみられるが、直ちに売上が回復することは難しいとみられる。
		百貨店（営業販促担当）	・客の自粛疲れもあり、今後は感染予防を踏まえた共存生活が行われるようになる。買物の内容はこれまでと変わってくとみられるが、インテリア、キッチンなどの住宅商材や生活雑貨などに対する消費意欲は強まることになる。
		乗用車販売店（経営者）	・長い期間、自粛が続き、人の動きや経済が止まっていたが、緊急事態宣言が解除されたことで、これまでよりも営業活動をできるようになる。新型車の投入も控えているため、今後の売上には期待が持てる。
		乗用車販売店（従業員）	・今の状況から改善することを期待している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、自粛要請も緩和されてきたことから、販売量は徐々に回復してくる。ただし、元の状態に戻るまで、しばらく時間が掛かる。
		高級レストラン（スタッフ）	・自粛が緩和されることで、6～7月の景気は5月と比べてやや良くなる。営業形態の見直しやテイクアウトなど、需要に合うような手立てが必要になるが、7月末からの実施も見込まれているGoToキャンペーン事業による旅行代金の半額相当の補助、飲食店でのポイント付与などの効果を大いに期待している。
		旅行代理店（従業員）	・今後については、5月末からの自粛緩和の動きが拡大し、新型コロナウイルスに対応しながら、経済回復を図る方向になることが期待できる。また、先のみえない状況から抜け出した段階で、地域経済の回復策を打ち出すことができるよう、現時点から準備すべきである。
		旅行代理店（従業員）	・これまで全く取扱のない状況が続いていたが、緊急事態宣言が解除されたことで、域内の旅行は多少なりとも復活が見込める。ただ、全国的な旅行や海外旅行が完全に復活するには、1年半から2年の時間を要するとみられるため、取扱が回復するまでは、まだまだ時間が掛かる。
		旅行代理店（従業員）	・5月の新規予約はゼロだったが、GoToキャンペーン事業が7月末に始まれば、多少は新規予約が受注できるようになるため、景気はやや良くなる。
	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が今以上に悪化しないことが前提だが、これから国の対策などが発表されていくことで、国民のマインド、行動にも変化が生じるようになるため、景気はやや良くなる。	
	タクシー運転手	・外出の自粛要請が緩和されることで、現在よりは多少景気が良くなる。ただ、夜間の飲食店については、客足が落ちているため、客を取り戻すまで相当な時間を要することになる。一方、新型コロナウイルスの全国的な第2波が襲来すれば、今まで以上の影響を受けることになる。	
	通信会社（企画担当）	・あくまでも新型コロナウイルスの感染拡大が発生しないことが前提であるが、休業要請の緩和などにより、集客数や店舗での営業活動によるサービス獲得件数が現在よりも増えることを期待している。ただし、感染拡大前と比べると、依然として制限が大きいことから、当面は客に便利なサービスを100%提案できないほか、来客数の大幅減が続く不安も拭えない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（従業員）	・6月1日から時間短縮での営業を再開することにした。休業中の今が最底辺であるため、今後は、少しずつでも日常を取り戻していけると期待している。
		美容室（経営者）	・5月が最悪だったため、今後の景気はやや良くなる。ただ、新型コロナウイルスが終息するか、再び感染拡大による自粛などが生じるかで、状況は大きく変動するため、予測が付かない面もある。どちらにしても、当面は予約調整を行う予定であるため、以前のような売上は当分望めない。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除されたことに伴い、全館営業が再開されるため、売上は上向きになってくる。ただし、景気という観点からみた場合、余り改善しないのではないかとみている。
		百貨店（役員）	・新型コロナウイルスの影響が、この先どういう展開になるのかみえないため、分からないというのが正直なところである。
		スーパー（店長）	・自粛要請が解除されたとはいえ、先行きの不透明感は変わらないため、消費の低迷はまだ続く。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息するかどうかによって、景気が上向きになるかどうか左右されるため、判断がなかなか付かない。例年であれば、夏の一時的な落ち込みなどもあるが、これから需要の増えてくる時期となるため、例年どおりの推移となれば、景気は上向くことになる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、しばらく景気の変化は望めない。
		自動車備品販売店（店長）	・6月1日からの休業要請解除後の動向が読めない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・明るい話題を提供できる安心な場所としてのスタンスで、正しい健康指導を続けていくことで、今後も景気の良い状態が続く。見ず知らずの人でもじっくり相談できるようになってきていることもプラスである。
		観光型ホテル（経営者）	・今後、すぐに観光客が戻るとは考えていない。自治体や国による観光振興策が本格的に始まるまで、客は動かないとみている。今後、感染の再拡大もありうる状況の中で、業績を回復させることができるか懸念している。
		タクシー運転手	・今の状況からは、先の予測が全く付かない。新型コロナウイルスが終息したとしても、客足が戻るまで、かなりの時間が掛かることになる。現在の状態が1～2年は続くともみているため、今後も厳しい状況は変わらない。
		タクシー運転手	・5月25日に緊急事態宣言が全面解除されることになるが、すぐに元の稼働量まで回復することにはならない。経営を維持できるように合理化を行うことも考えている。
		美容室（経営者）	・客の様子から、多少は前向きになっている人が多いような気もするが、この後、来客数や売上がそう大きく変わることは考えられない。
		美容室（経営者）	・これからも入場制限は継続する予定であるが、時間短縮営業は徐々に戻していくため、来客数は若干回復することになる。ただ、完全に元に戻ることは考えられないため、期待できる要素は少ない。
		商店街（代表者）	・一部の業種では景気が良いようであるが、全体的な景気は決して良いものではない。客の反応も良いものではないため、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。当社は食品スーパーであるため、まだ良い方だ。
		スーパー（役員）	・北海道においても5月25日で緊急事態宣言が解除されたが、この先の感染不安もあり、客の内食生活はしばらく続くことになる。こうした中で、これからどれだけの企業倒産が生じてくるのか不安も大きい。今後しばらくは景気が良くなることは考えられない。スーパーマーケット業態においても、消費者の儉約志向が強まることを見込まれ、売上が伸び続けることにはならない。
		コンビニ（エリア担当）	・イベント行事の中止が相次いでおり、他地域からの観光客の入込などが見込めないため、今後の景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言の解除に伴い、客の動きは少しずつ戻ってきているが、前年と比べて景気の悪い状況はまだ続く。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの特効薬が出るなどして、客の安心安全が満たされるまで、客足は戻ってこない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔造花〕 (店長)	・新型コロナウイルスの影響による購買意欲の低下、外出自粛の影響が今後も続く。現時点では、緊急事態宣言解除後の動向もまだつかめていない。
		高級レストラン(スタッフ)	・自粛緩和後の先行きが全くみえないことから、今後も消費は拡大しない。
	×	商店街(代表者)	・政府による支援策の規模が余りにも小さく、対応も遅いため、廃業や倒産が増えることになる。消費税の減税も含めて、落ち込んだGDP分の金の供給をしない限り、国民が貧困化することになり、景気の回復は見込めない。
	×	商店街(代表者)	・新型コロナウイルスの影響により、今後の景気は悪くなる。
	×	商店街(代表者)	・巣籠りの定着や恐怖心から外出を嫌う現在の状況は深刻であり、経済回復の妨げとなっている。仕方ないと思える部分はあるが、それでは商業者は成り立たない。まずは外出を慣れさせ、人出を戻す必要がある。そのためには、行政の職員が夜の飲食店を率先して利用するなどして、見本をみせてほしい。今はそういう動きが必要である。
	×	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・緊急事態宣言が解除されても、実際には観光客はほとんど動かないとみている。社員30人を抱えているなかで、どうすれば良いのかと毎日悩んでいる。徳政令のようなものでも打ち出してもらえなければ、会社を守れないことになるのではないかとおそれている。
	×	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・緊急事態宣言が解除され、今後、都道府県外への移動が徐々に許されることになったとしても、航空機、船、車を利用した長距離移動には限界があるとみられる。こうした状況は年内又は数年単位で続くともみられ、2～3か月で回復することにはならない。今は給付金や助成金などを活用しながら、どうにか生き残りを図っている状況である。
	×	百貨店(売場主任)	・5月25日に北海道の緊急事態宣言が解除されたが、今後、消費者の消費マインドがどれくらいの期間で回復するのか、見通しが立たない。
	×	スーパー(店長)	・現時点と比べると景気は回復基調になるが、前年と比べたらまだまだ悪い状況が続く。今後については、景気の悪化が止まっただけで、すぐに回復するという状況にはない。
	×	スーパー(企画担当)	・食品スーパーとしては、客単価の大きな伸びにより、足元の業績は好調に推移しているが、雇用者の所得環境が急速に冷え込んでいることから、この先の食品購買に対する節約ムードが強まることを懸念している。
	×	スーパー(役員)	・この先の季節催事においても、新型コロナウイルスの影響が続くことになる。中元商戦では、飲食関係の個人事業主を中心に、お中元を贈っている場合ではないとの声を聞く。
	×	コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの影響で観光需要が大きく減少しており、すぐには回復しないことが見込まれる。
	×	コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの影響が今後も続く。夏場の行事が中止となったことから、本来であれば、そこで発生するはずだった売上も消滅することになる。また、キャッシュレス・消費者還元事業が6月末で終了するため、店舗への来店頻度、買上単価の低下なども予測される。
	×	住関連専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で売上のめどが立たない状況にあることから、今後の景気は悪くなる。
	×	高級レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスが終息しない限り、客の心の中には恐怖のようなものがあり、店の態勢を整えたとしても、通常の状態には戻らない。
	×	観光型ホテル(スタッフ)	・7月以降の国外マーケットからの需要は皆無である。国内客も、団体客が前年の1割未満、個人客が前年の2割未満で推移している。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除されたが、今のところ、途絶えた人の流れは変わっていない。新型コロナウイルスの第2～3波が生じることになれば、タクシー業界は今よりもひどい状況になる。
	×	タクシー運転手	・自粛が緩和されたとしても、国民のライフスタイルは大きく変化することになる。新型コロナウイルス発生以前の景気に戻ることは考えられず、経済は確実に縮小することになる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響はとて大きく、緊急事態宣言解除後も来客数の回復は見込めない。今後も厳しい状況がまだまだ続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で営業をできていない状況にある。当社に限らず、観光事業者はかつてないほどの厳しい状況となっている。政府には、観光事業者向けの経済支援や新型コロナウイルス終息後の経済復興策などを強く求めたい。
	×	美容室（経営者）	・ワクチンができる前に、第2～3波が生じることになれば、その都度、自粛傾向が強まるため、今後の景気は悪くなる。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・一応、緊急事態宣言は解除されたが、今後第2～3波が生じるおそれがあるため、現在のような状況がしばらく続く。
	×	住宅販売会社（経営者）	・まだ新型コロナウイルスの終息がみられないなかで、緊急事態宣言が解除されても、第2～3波が生じる可能性もあるため、誰もが非常に慎重になり、外出や出張などを控えている。こうした状況が長く続くことで、今後、企業の倒産が増えることを懸念している。
	×	住宅販売会社（経営者）	・全体的に経済活動は停止に近い状態にあるため、今後、あらゆるところで所得の減少、投資活動の停滞といった悪循環に陥っていくことが懸念される。
企業動向関連 (北海道)			
		家具製造業（経営者）	・5月25日の緊急事態宣言の解除により、徐々にではあるが、経済活動が再開していくことになる。しかしながら、治療薬やワクチンができない限り、厳しい状況が長期にわたって続く。
		金融業（従業員）	・5月25日で道内の緊急事態宣言が解除されることで、幅広い業種で経済活動が再開されるようになり、道内景気は足元に比べてやや良くなる。ただし、新しい生活様式への対応など、経済活動への制約は続くため、持ち直しは緩慢なものとなる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で遅れていた建設現場のスタートが本格化してくることで、景気はやや良くなる。
		食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言が解除されたが、すぐに受注が戻るとは考えられないため、景気は変わらないまま推移する。
		食料品製造業（従業員）	・食品スーパーなどへの卸売事業については、新型コロナウイルスの影響により、販売量が増加している。また新型コロナウイルスが終息していないことから、しばらくは販売量が前年を上回る状況が続く。
		建設業（従業員）	・新年度発注工事が本格稼働し始める一方で、新型コロナウイルスの影響により、民間工事の新規発注が激減しているため、全体的な手持ち工事量は今後も変わらない。
		輸送業（営業担当）	・全国的な緊急事態宣言の解除に伴い、学校も再開されることから、生乳関連は少しずつ荷動きが回復すると見込まれる。ただし、消費行動が回復するまでは時間が掛かるため、トレーラー輸送などの全体的な物流は、しばらくの間、低調なまま推移する。
		司法書士	・今後の景気は、現在の状況からどの程度の回復傾向がみられるかによって、方向性が決まることになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・緊急事態宣言の解除により、多少は景気が回復するとみられるが、業種によってスピード感が異なるため、今後も注視が必要である。
		金属製品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で収入減になっている企業が多いことから、設備投資の停滞、戸建て住宅の販売状況の悪化が見込まれる。
		建設業（経営者）	・建設業界はそれほど新型コロナウイルスの影響を受けていない。一方、スーパー以外の小売、飲食、宿泊、デパート、交通、観光関連などでは、売上が異常に落ち込んでいる。今後、こうした状況が全体的な景気に対してどのように波及することになるのか、よく分からない。
		輸送業（支店長）	・現段階では、新型コロナウイルスの影響が計りきれないが、少なくとも2～3か月での良化は見込めない。
		司法書士	・新型コロナウイルスの影響で営業活動が停滞気味であり、景気は悪化するばかりである。
		コピーサービス業（従業員）	・今後、客先の出し渋りがますます増える傾向になるとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響により、企業の倒産が増加傾向にあるため、今後の景気はますます悪化するとみられる。ただし、政府の経済対策に期待しており、極端に景気が落ち込むことはない。
	×	出版・印刷・同関連産業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が大きいいため、今後の景気は悪くなる。
	×	建設業（役員）	・新年度前半の工事量は確保できているものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策コストが収益圧迫要因となる。また、新型コロナウイルスの経済対策に予算が割かれることで、建設関係予算の縮減が懸念される。急速な景気悪化に伴う民間発注工事の手控えや中止なども顕在化しかねない。
	×	通信業（営業担当）	・地域の基幹産業ともいえる観光、飲食、小売業が営業を停止していることから、今後の地域の景況感を大きく下押しすることになる。
	×	司法書士	・当地では、新型コロナウイルス感染者が減少していることで6月から休業要請が解除されるが、不動産取引は不急との考えがあるため、新型コロナウイルスが終息するまで動きのない状態が続くことになる。また、第2～3波の感染拡大も懸念されるため、経済活動も自粛傾向が続くことになる。
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・新規受注がほとんどない。2～3月の年度替わりの時期に営業活動をできなかったことが、これから大きく響いてくることになる。
	×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・輸出関連の落ち込みや各種イベントの中止など、新型コロナウイルスによる経済活動の制限を受けて、ものづくりの現場にも影響がじわじわと生じている。また、東京オリンピックが延期されたことで、建築案件の延期や中止が増えてきているなか、今後の一層の増加が懸念されるなど、心配事の尽きない状況にある。
雇用 関連 (北海道)		*	*
		求人情報誌製作会社（編集者）	・5月になり、急激に求人数が落ち込んだため、今後は若干の揺り戻しが生じるとみられる。また、緊急事態宣言が解除されたことで、飲食、小売店が動き始めることから、この先、再度の緊急事態宣言がなければ、道内需要の回復が期待できる。ただ、求人ニーズは限定的なものになることが懸念される。
		職業安定所（職員）	・恒常的に出されている求人は大きく減少していないものの、新規求人が控えられている状況にある。回復に時間を要する産業の動向や新しい生活様式が経済に与える影響など、今後への懸念材料はあるものの、緊急事態宣言の解除に伴い、経済活動が再開されることで、求人数は徐々に復調することになる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・緊急事態宣言解除後も、消費者の自粛行動は感染リスクを考慮して変わらないとみられる。また、例年、開催されていた夏のイベントなどもほとんどが中止となっており、景気の底上げにつながりそうな明るい材料がない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの更なる流行がなく、自粛行動などが長期に及ばなければ、農業を基盤とする地域経済の動きは徐々に回復することになる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当地は、観光業が主力産業の1つであり、現状、どうにかやりくりしていても、これ以上は持ちこたえることのできない企業が出てきそうである。外出自粛ムードが続く今の状況が景気の底となっているのであれば良いが、もう一段落ち込みそうな気配もあるため、今後の景気はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が8か月ぶりに前年を下回ったことから、多くの業種で新型コロナウイルスの影響が生じているとみられ、今後の景気はやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・休業要請などが解除されることで、一定の企業活動が再開されるとみられるが、これまでの状況の中できなり体力が奪われている会社も多いとみられる。これから、従業員を解雇せざるを得ないほど、経営状況が悪化する会社が出てくることも考えられるため、まだまだ予断を許さない状況にある。今後の景気は回復とはいかず、場合によっては悪化することも考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（社員）	・企業活動の先行きが不透明である。客の回復も全く見込めず、業績がどうなるのかと不安を抱える経営者も多い。新型コロナウイルス終息後の回復に向けたシナリオも全くみえておらず、生き残ることだけで精一杯の企業も多い。このような状況が半年は続くものとみられる。
	x	学校〔大学〕（就職担当）	・経営に困っている中小企業や個人事業者に支援金が行きわたっていないことから、今後の景気はますます悪化することになる。

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)		住関連専門店（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染者が出なければ、どの業種においても動きは出てくるので、景気の上昇は必ずくる。
		通信会社（営業担当）	・5月14日の緊急事態宣言解除後、少しずつ来客数が回復してきている。6月より店舗が通常営業になるので、今よりは景気が良くなる。
		観光名所（職員）	・県の緊急事態宣言も解除され、これから上向きになっていくとみている。当地の観光資源であるさくらんぼ等も見通しが立たず、舟下りも何日からという予定もないが、今現在がゼロである状況を考えれば、今後は若干は良くなっていく。
		競艇場（職員）	・6月から再開するのが決まっているため、休館中で売上がない現在よりは売上は上がる。しかし、前年比では大幅減少となる。
		商店街（代表者）	・今月が最悪だとみている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新たな日常ということのなかで、生活観が徐々に変わってきていることを実感している。教養を高めたり、趣味の領域を広げたりといった関連の商材が動き出しているため、その部分に対するクリエイティブな発想を提供すれば、もう少しはらくはこのままの状況が続くのではないかとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・3～4月と最低だったので、6月からは少しは売上が上がってくるとみている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたので、感染に十分注意しながら客回りを開始するため、幾分状況が改善され商品が動く予想している。
		百貨店（営業担当）	・人の動きは今月以降更に増えることが予想される。
		百貨店（経営者）	・全国で緊急事態宣言は解除され、消費マインドは少しずつ上がっていく。ただし、仕入先もダメージが残り、ここ数か月は店頭も変則的な売り方となるため、回復には時間が掛かるとみている。
		コンビニ（経営者）	・自粛は解除されたがほとんどの店で来客数が戻っていない。特にホテルの下や官公庁付近の店はいまだに壊滅的な売上である。100%に戻るまではかなりの時間を要するとみている。かなり経営が厳しい。
		コンビニ（エリア担当）	・外出自粛解除により来客数の回復が見込まれるが、各地で夏祭りが中止されるなど、今後も厳しい状況は続く。
		コンビニ（店長）	・補助金などによる財布の緩みや、新型コロナウイルスの終息という希望によっておのずと開放的になり、家族、会社関係の行動が活発になる。
		衣料品専門店（経営者）	・締め付けと緩和を繰り返しながら、今よりは自粛も緩くなっていくとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・リピート客以外の来店が少しずつ増えてきているので、時間は掛かるが売上はゆっくり回復していくと予想している。
		衣料品専門店（店長）	・首都圏での感染が少なくなり、東北では新規の感染者が出ていないという状況で、感染防止の対応をしなければ大丈夫だという空気になりつつある。特別定額給付金の10万円の支給が本格的になれば、震災後のプチバブル的な需要喚起が起きるのではないかと希望的観測を持っている。そのような兆しがうかがえる客がいる。10万円の支給が景気の起爆剤になるのではないかと期待している。
	衣料品専門店（店長）	・首都圏以外の県で緊急事態宣言が解除されてからは、来客数が少しずつ回復傾向にある。通常に戻るには時間が掛かるものの、確実に上向きになってきている。	
	衣料品専門店（店長）	・6月以降、クールビズ需要により、ビジネススラックス、ビジネスワイシャツが売れることを期待している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息で、夏物商材が大幅に売れるという期待がある。また、給付金の使い道が猛暑ということで夏物に向けてくれればという期待からやや上向きになるとみているが、気温も含めてまだ何ともいえないところもある。
		その他専門店 [食品]（経営者）	・全国的な緊急事態宣言の解除を受けて、5月が底であってほしいという希望から良くなっているとみている。しかし、店内で感染防止策をとってはいるが、以前のような来客数に戻るには相当の時間が掛かるとみている。緊急事態宣言解除の影響で6月初旬に感染者が増えれば先の見通しは立たなくなる。新型コロナウイルスが終息するまではこのような状態が続くのではないかとみている。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（営業担当）	・これまで自粛していたあらゆる業種も営業再開となり、需要も高まってくるとみられる。また、今までになかった新しい商材の動きも期待できる。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・緊急事態宣言中と比較すれば人の動きは増え、それに伴い燃料油の出荷は増えてくると想定される。経済活動が完全に戻るとは思えないが、今月よりは回復する。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	・営業自粛の解除とともに、少しずつではあるが来客数も伸びてくる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が収まれば、2～3か月先は少し良くなる。ただし、第2波、第3波がくれば店舗の維持は不可能になる。良くなることを願っている。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で4～5月は休業しており、6月から営業再開するが、予約が入らず休業しなければならない日もある。夏休みの個人旅行は少しは動くが、秋口の団体旅行や冬場の忘年会等は動かないことが予想される。業界全体での取組が必要である。
		観光型旅館（スタッフ）	・政府の対策支援と県の宿泊施設支援プランで、何とか秋までは見通しをつけたい。
		旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言が全国で解除になった。新型コロナウイルス終息に向けての兆しが見えてきている。旅行業界では「Go To Travelキャンペーン」が成功することによって客が動き、良くなってくるとみている。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が解除され、2～3か月後は「Go To Travelキャンペーン」等により、ソーシャルディスタンスを守りながら、新たな経済活動が動き出している可能性が高い。
		タクシー運転手	・ここ数日、徒歩移動の方々が少し多くなってきており、季節の気温上昇に伴いタクシー利用者が多くなってくることが考えられる。したがって、現在が底だと考えている。ただし、やや良くなると言っても、その上り勾配はかなり緩いラインを描くとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスも少しは収まり、商談ができるようになるかとみている。
		テーマパーク（職員）	・現在は休業中で来客数、売上共にない。営業再開を想定するとやや良くなるとみられる。
		観光名所（職員）	・ようやく緊急事態宣言が解除されたので、経済が回ることを期待する。ただし、雇用問題が解消されない限りは急激な回復にはならないとみている。
		一般小売店 [医薬品]（経営者）	・現在の最悪の状態が当分続く。
		一般小売店 [医薬品]（経営者）	・新型コロナウイルス関係の売上は良い状態が続く。ただし、落ち着いてくれば現在のような前年比30～40%増といったことにはならず、少し減少すると予想している。
		百貨店（買付担当）	・前月同様新型コロナウイルス次第である。休業終了後も衣料品中心に苦戦は続いており、買物を楽しむ雰囲気にはなっていないことは客からも伝わる。この状況はもうしばらく続くと考えられる。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言が解除になった途端、来客数の減少が目立ってきている。特に年配客の減少が顕著である。元に戻ったか、それ以下になったようである。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で今月と変わらず景気の悪い状態が続くのではないかとみている。人の流れに少し動きが出てきたので、そういった面で希望が持てなくはないが、先は読めない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言解除後、徐々に乗客数が戻ってきているようではあるものの、3か月後の動きは現時点では判断できない。
		コンビニ（エリア担当）	・新しい生活様式の定着化は、経済には非常にマイナス効果で消費の冷え込みが継続されるとみている。リモートワークの普及はオフィス街の昼食需要、夜間の飲食にも非常に影響しており、新型コロナウイルスの終息がない限り、この状態は続く予測される。
		コンビニ（エリア担当）	・4月が景気の底で、今後自粛が解除されれば様々な業態で若干の回復はみられるとみているが、状況は余り変わらないと予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナスが出ないという客が増えてきたので、今後も景気は余り良くならないとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・新車の入荷は工場の休止や時短もありしばらくは納期が掛かるため、売上が先延ばしになりすぐにはばん回できる見通しは立たない。中古の相場もやや落ちているため、年内で併せて見込んだ収益まで戻るかどうかわからない。
		自動車備品販売店（経営者）	・全国的に移動制限が解除になっても、Web会議など移動を伴わない手法が常態化し、人を集めての会議は減ることが予想されるため、空、陸の移動やホテルへの宿泊など、会議に伴い発生する売上は元には戻らないとみている。売上減による修理費用の抑圧が働くとみている。
		住関連専門店（経営者）	・現在、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言は解除されたが、営業活動はほとんどできていない。この先どうなるかわからないこともあり、受注活動に支障が出ているので、現在とさほど変わらない状況が続くとみている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルス発生前の生活に戻るのには大分時間が掛かるとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、販売量が減少している現在の傾向が続くとみられる。
		高級レストラン（支配人）	・予約自体は来月、再来月とまだ入っていない状況である。宴会場の動きは6月後半からは徐々に会食が入っているが、レストランに下りてくることは考えられない。
		観光型旅館（経営者）	・状況次第ではあるが客も移動に慎重のようである。先行きの不安から、しばらくの間は平常時の消費行動に戻るの難しいとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は続くともみている。
		美容室（経営者）	・売上はもう少し戻るとは思うものの、新型コロナウイルスの状況がどのように変わってくるのかは先行き不透明な部分が多い。そういったことを考えると安穏とした気分にはなれない。
		美容室（経営者）	・固定客だけで新規客は来ないので、これまでと変わらない。
		設計事務所（経営者）	・悪いところで現状維持が予想される。踏みとどまってほしい。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス騒ぎで4月は最悪の状態であったが、今月も同じような状態で、客がほとんど増えていない。特に市内の中心部には人が来ない状態で、周辺部に消費が流れているようである。しばらくこの状態が続くとみている。
		百貨店（売場主任）	・収入が減少したり失業したりする人の増加が見込まれ、百貨店に対する需要が更に落ち込むものと推測する。またアパレル産業を中心に、退店や廃業等により百貨店の売場が維持できなくなるのではといった不安材料も挙げられる。
		スーパー（経営者）	・近隣の工場などに新型コロナウイルスに関して聞くと厳しい状況にあり、建設業も新型コロナウイルスで資金を使えば公共事業も減るのではないかとの見方もあるようである。小売業は周りの景気に左右されやすく見通しは厳しい。
		スーパー（店長）	・好調であったグロサリーと日配の売上が低下中である。マスクを含む家庭用品の売上がそれを若干カバーしているが補い切れていない様子で、少しずつ売上が低下している状況である。
		スーパー（企画担当）	・ここ2～3か月は内食需要で売上は良かったが、2～3か月後は自粛解除になるので、食品小売業に関しては少し下がり気味になることが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（営業担当）	・自粛要請の解除から、外出、外食の需要が増加していくこと。また、収入の減少により、食費への支出が減少していく予測から、売上の減少は厳しくなるのではないかとみている。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが客足の戻りは鈍く、まだまだ警戒感が抜けない。他県との往来が少ない現状では回復がなかなか難しい。
		コンビニ（経営者）	・なじみ客と話しても、収入が減っていて、来店回数や購入金額を減らしているとの話が多い。しばらくは厳しい経営になりそうである。
		コンビニ（店長）	・これから業績を改善するいろいろな手立てを打つ会社が増えてきて、じわじわと消費に響いてくるとみているが、残念ながらすぐにはではない。
		衣料品専門店（経営者）	・自粛解除になったとしても各種イベントや祭りが中止になり人出がなく、来客数も少なく、県外からの観光客も皆無の状態になると心配している。また、お中元商戦も個人、法人共に減少するとみている。
		衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されても、感染リスクがあるため、以前のような購買行動にはなかなか戻らない。
		家電量販店（店長）	・5月の前半は新型コロナウイルスの問題で需要が下がると予想していたが、10万円の給付があって高額な家電がよく売れた。特にエアコンなどはこの夏の需要を先取りして買っただけで、この需要はもうしばらくは続くかみているが、2～3か月後の需要を先取りしているだけなので、長期的には景気はやや厳しくなっていくと予想している。現在は10万円の給付金で買物をする客がかなり多くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・既存客のサービス入庫はさほど影響はないだろうが、メーカーの工場休止の影響もあり新車は長納期になりつつある。また、中古車市場は、輸出が低迷していることもありオークションも停滞中で、価格が下落している。
		通信会社（営業担当）	・自粛は解除されたものの、生活様式が変わり、質素になる傾向がみられる。テレビサービスもインターネットで見る時代になり、映像配信系の会社との競争がますます激しくなることが予想される。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくれば、イベントなども実施し少しずつ底を脱していく期待はあるが、楽観はできない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・既に8～9月の行事やイベントの中止が発表されており、この先6か月以上、持ち直しの動きはないと予想している。
		住宅販売会社（経営者）	・賃貸管理不動産の解約が増え、新築受注以外の売上も下がっている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響により問合せが減っている。営業の自粛を継続している。
	×	商店街（代表者）	・例年であれば初夏物、夏物が売れ始めていく時期だが、ここ2か月の流れをみると、そのような期待は全くできず、この景気の悪い状態がいつまで続いていくのか不安と恐怖に悩んでいる。
	×	商店街（代表者）	・当商店街の最大のイベントである祭りも中止決定となり、集客力を強化できない状況が夏場まで続く見込みであることから、景気回復は望めない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍で不安感が拭えない。第2波も心配である。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・すぐ目の前の先行きが見通せないなかで、数か月先の見通しなどを考慮する余裕などない。客とも緊急雇用安定助成金等の申請の話が出るが、なかなか申請が難しく、スムーズに申請をしているところの方が少ないのが現状である。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・当店の主要な客層は年金生活者であるため、新型コロナウイルス禍の中でも生活が大変という声は余り聞かなかった。しかし、ここに来て、現役世代の客からかなりの高頻度で仕事上の行き詰まりを耳にするようになってきている。度合いがより深刻な人は当店にも足を運ばないであろうし、この状態が続くようだと大変な景気悪化が待ち受けていることが予想される。
	×	スーパー（経営者）	・6月も政府、自治体の特別定額給付金効果や各種補助制度等による経済浮揚対策効果は続くかみている。しかし、今後は所得、収入が減少する方々が更に増えていくことを危惧している。周囲の多くの企業が事業活動を本格的にできていない状況なので、消費は確実に低迷してくるものとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス禍はまだまだ継続しており、地元でも失業者が増えだしている。さらには、可処分所得が伸びないなかで支出が増大している。競業に関していえばデフレが進んでいる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響による小売業スーパーの特需も間もなく終了し、その後は節約、倹約傾向が顕著に現れた消費動向になると予測している。
	×	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス関連で収入が減ることにより、消費の減少が生まれる。特に価格に敏感になり、買上点数も減少の傾向になる可能性は高い。今後ますます収入減の影響が大きくなる。現在も生鮮の売上は良いがグロサリーの売上は慎重になっているため、来客数の減少が大きな影響を与えている。
	×	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、平日の来客数は5割くらい戻ってきたものの、土日は戻る気配がないので、余り変わらないとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなると予想している。
	×	乗用車販売店（本部）	・緊急事態宣言は解除されたが、客からの不安の声の方が圧倒的に大きい。車は必要だが不急の商品のため、購買意欲回復にはまだしばらく掛かりそうである。
	×	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は良くならない。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、特に地方の飲食、観光、宿泊関連は壊滅状態になっており、これが元に戻ることはないかとみている。さらに、この影響が全ての業種に及ぶことが予想される。どの程度悪くなるのかは正直想像できない。状況が悪くても先が読めれば具体的な対応に尽力するが、全く予想が付かず、周りも手探り状態で非常に苦しんでいる。
	×	高級レストラン（経営者）	・一旦キャンセルとなった大人数の会議が2～3か月先に戻ってくるとは思えない。戻ってくるとすれば秋以降である。今よりも資金が枯渇することを考えると、2～3か月後は一番厳しくなるのではないかとみている。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスに対する世間のおそれは消えないため、ずっと良くはならない。製造業、観光業、ホテル旅館、飲食業、小売業等は、以前のような景気に戻るのには、最低2年は掛かるであろうとみる。来客型、集客型ビジネスは新しいカタチを作らなければならない。
	×	一般レストラン（経営者）	・当店は6月から平常営業に戻そうと考えているが、従来の客が以前と同じような状況に戻るまではかなり時間が掛かるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発されない限り、以前のようにはならない。現在のような状況が続く限り、景気が良くなることは考えられない。
	×	一般レストラン（経営者）	・たとえ新型コロナウイルスの薬が世の中に出回っても、失った時間と金は戻らない。多少は経済に動きは出るだろうが、家庭レベルでは財布のひもは固いままである。家庭レベルの経済が回復してこないとならば世の中の経済は活性化できない。
	×	タクシー運転手	・まだ先がみえない。新型コロナウイルスが終息しても、すぐには回復しない。
	×	タクシー運転手	・街中において一般客の動きがなく、閉店する店舗もかなり増えてきている。もっとひどい状態が先に待っているような気がしている。これまでの人生でこのようなことは初めてであり、見定めることができない。
	×	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスに対する警戒心があるため新しい生活様式が必要であるが、浸透するまで時間を要する。新型コロナウイルスの第2波、第3波への対策がない限り、まだまだ景気回復は厳しい。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの鎮静化の見通しが立たない状況である。政府も各種支援金等でばく大な費用を費やしている。今後、今までにない景気の悪化が予想される。
企業 動向 関連 (東北)		-	-
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・緊急事態宣言が全国的に解除されたが、各業種とも回復には数か月掛かるとみられることから、印刷物の需要は戻りが小さいとみている。しかし、少しずつ良くなっていくのではないかと予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（従業員）	・民間の設備投資は先がみえないものの、公共工事はコンスタントな出件が見込まれるため、一定の受注量確保は可能と推測される。
		通信業（営業担当）	・テレワーク及びWeb授業用にモバイル端末やネットワーク環境構築の要望が増えている。
		広告代理店（経営者）	・緊急事態宣言解除により、少しずつ経済は回復していくだろうが、以前の状態には戻らないとみている。仕事の内容や受注の方法を変えていかないと生き残れない。
		経営コンサルタント	・緊急事態宣言が解除され、多少なりとも経済活動が上向きになることを期待している。第2波が来たらアウトだが、上手く乗り切れば、下半期には回復する業種も期待できる。
		司法書士	・不動産売買の件数は微増で推移している。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・緊急事態宣言の全国的な解除によって現状から幾分の回復が見込まれる。一方で、新型コロナウイルス発生前の状態まで回復するには予防や治療法の確立も要件と考えられ、時間が掛かることが予想される。
		食料品製造業（経営者）	・他県からの観光客、出張者次第である。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・当分は現状のように前年比20%減の状態が続き、元には戻らない。新しい仕事を作らないといけない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスのショックが依然長引いていくと考えている。また、現在の状況から景気回復に向けて活動しても、回復に数年は必要と考えている。
		金融業（広報担当）	・大型イベントが相次ぎ中止となり、観光関連業界のダメージが大きい。地場老舗ホテルが破産する等インパクトある事象も発生しており、関連事業者への影響拡大が懸念される。雇用動向も上振れが期待できないなか、消費マインドも当面は保守的に推移するものと予想している。
		広告業協会（役員）	・4～5月が底で、徐々に回復することを期待したいが、夏の大型催事も全て中止となり、何を起爆剤にするのか難しい状況である。第2波も気になるところだが、秋以降のイベントが通常どおり開催できることが復活のシナリオになる。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・緊急事態宣言解除とはいっても、客の新型コロナウイルスへの警戒感が強く、また社会的な目を気にして普及宣伝活動や企業広報を控える状況が続くと考えられる。
		食料品製造業（経営者）	・5月後半から6月に掛けて店舗の営業時間も通常に戻るところが多いが、人出はまだ少ない。県外からの客が来るまでにはまだまだ時間が掛かりそうで、土産が売れ始めるのはまだまだ先である。あと何か月我慢すればいいのかわからない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・会社業績悪化により、残業規制、出張規制、インセンティブプラン凍結など、景気としてはダウンする見通しである。
		通信業（営業担当）	・環境が改善するときに備え、通信手段を用いたできる限りのきめ細かな営業を行うしかない。
		金融業（営業担当）	・良くなる兆し、材料が見られない。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注案件のパイが減少傾向にあり、同業他社との競争激化、特に単価において今後も続くものと予想される。
	×	農林水産業（従業者）	・天候にも恵まれ果物の生育は順調だが、新型コロナウイルス感染症で不況感があり、これからの果物の売行きに影響するのではないかと心配である。
	×	農林水産業（従業者）	・6月に収穫を迎えるさくらんぼの価格が、消費自粛や、観光客減による観光果樹園の出荷増により、例年に比べ大幅に下落すると予想される。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大は収束しつつあるが、景気回復の見通しは全くみえない。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響により、観光業や飲食等の中小企業で地域経済に大きな被害が出ている。緊急事態宣言解除後の経済対策に期待するが、景気回復は長期化するものとみている。
	×	金属製品製造業（経営者）	・極端に受注状況が悪化したため、今が底だと思いたいが、更に減産をする、若しくは稼働を停止するといった情報が次々入るため、更なる悪化が避けられないとみている。
	×	建設業（企画担当）	・客先の設備投資計画の延期や中止は、受注予定の減少につながり、受注の減少は競争の激化、さらには売上の低下に直結する。また、関連する専門工事業者にもその影響が及ぶと推察される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	輸送業（経営者）	・令和2年になってからは月を追うごとに景気は悪化している。売上が毎月数%ずつ減少している。もちろん前年比較でも同様である。主要製造業取引先からは少なくとも上期中は減産をせざるを得ないと言われている。
	×	公認会計士	・小売、飲食店等が自粛解除になったとしても、客足は以前のように戻らず、業績回復はすぐには難しい。また、ゼネコンが現場作業所での作業中止を行っていた影響がこれから出てくると考えられるので、建設関係も今月よりは悪化することが予想される。そういったことから、全体としては景気が悪化する。
	×	コピーサービス業（従業員）	・政府の経済政策の遅れが気になる。体力のない企業は倒産に追い込まれ、先行きが不安である。当社の客は中小企業及び零細企業が多く、どれだけの企業が持ちこたえられるか見通しが立たない。既に飲食業では何か所かから閉店の連絡が届いている。
	×	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスで大変な状況も、この先6～8月で緩和されて外出などがやや良くなるとみている。しかしながら、巣籠りで金銭的にも詰めてやってきたということがあるので、すぐに戻ることは考えられない。メーカーで品薄になっていた商品がやや入り始めるだろうが、商売が良くなるということとは考えられない。
雇用 関連 (東北)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスが落ち着き、新しい生活スタイルに慣れてくれば変わっていくとみている。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言解除に伴う緩和による好転を期待したい。感染拡大第2波がもしあったとしても、今回のような手探りで進める政策ではなく、経験に即した対策が講じられるものと期待している。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に各企業も営業活動を始めている。新卒の採用復活はしないものの、セミナー、研修の依頼が増えてきているので、やや悪い状況は変わらないが、悪化することはないとみている。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が解除されたことで採用活動に動ける状態になったため、一部の投資ができる資金力を有する企業の動きが復調してきている。一方で募集企業の本業での受注減に伴う業績の悪化はすぐには収まらないことが想定されている。そういった背景から、求人数自体は減少が想定されるため、やや減少の状態が続くとみている。
		アウトソーシング企業（社員）	・しばらくは現在のような会議が少ない状況が続くのではないかと。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言の解除を受け、少しずつだが経済活動が再開されているものの、そのまま良い求人や求職活動につながる気配は全くない。依然として厳しい状態が続くとみている。その中であって、通販等の新しい対応に力を入れ始めている企業も増えている。それがうまくいくかどうかの活性化の兆しになるかどうかのポイントになるとみている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・営業再開した飲食店も早めに店仕舞いするなど、客足回復は予想どおり難航している。このままでは緊急経済対策が打ち出されても50%ほどの店舗がとうたされるのではないかと。消費の機運が高まるきっかけがみえない限り、低空飛行は続くともみている。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルスの影響による自粛ムードはいまだ続いており、景気の低迷は長引くとみられる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が長引く恐れがある。新しい生活様式は消費に大きな影響を与え、経済がやや縮小するとみている。
		職業安定所（職員）	・外出自粛の影響があるのかは分からないが、新規求職者数は思ったほど増えていない。
	×	人材派遣会社（社員）	・例年第1四半期は、年度末需要の不服感から受注量は落ち着く時期である。しかし、今年の受注状況は前年比8割減の2割程度の受注と激減している。中央本社の某人材派遣会社も当地からの撤退を決めた。夏場も厳しい状況が続くことが予想される。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響はこの後更に続くものと考えている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はまだ続くともみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	職業安定所（職員）	・従業員の休業の動きが多業種に広がっている。また、新型コロナウイルスの影響を理由とする廃業も増加している。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス次第である。
		都市型ホテル（営業担当）	・5月は新型コロナウイルスの影響で、一番底の稼働になっていることから、3か月後は、急激な改善はないが、少し良くなる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・今月末で緊急事態宣言も一旦解除され、新型コロナウイルス感染拡大の第2、第3波がなければ、3～4月よりは少しずつ良くなっていくのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・ゆっくりと元の日常に戻ってほしいが、こればかりはどうなるか分からない。今の状況が今後3か月続くと仮定すれば、客足も今よりは少しは増え、やや良くなる。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が収束するため、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がかなり収束し、国の緊急事態宣言も解除され、多少は来客数が戻ってくるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・これから夏場にかけては緊急事態宣言解除もあり、少しは持ち直すとみている。しかし、新型コロナウイルス流行の第2波、第3波の警戒のため、コロナ以前には戻らず、冬に向かうのではないかと。収束がみえないことが、非常に心配である。
		乗用車販売店（販売担当）	・この先は、新型コロナウイルス騒ぎも徐々に収まってくるのではないかと。それに伴い、私たちも営業に動けるので、販売量も増えてくるのではないかと。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束と同時に、人や経済が動き、また、10万円の定額給付金もあるので、やや購買意欲も高まり、人の動きが活発化してくるのではないかと。
		住関連専門店（仕入担当）	・少しずつ生活に動きが出てきており、徐々に来客数は増える傾向にある。先行きは不透明だが、新しい日常に対応する形で景気は徐々に回復するのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・今までのように戻るのはまだ先だろうが、少しずつ客足が戻ることを期待したい。食事会や宴会がないのは厳しいが、テイクアウトと店内飲食のバランスを取りながら、やるしかない。
		都市型ホテル（副支配人）	・従来のように決して戻らないだろうが、宿泊は徐々に問合せやインターネット予約が動いてきている。しかし、レストランの休業はしばらく継続する予定である。
		旅行代理店（経営者）	・夏休みが控えており、政府の「Go To Travelキャンペーン」に期待している。
		旅行代理店（従業員）	・解除後の国の「Go To Travelキャンペーン」でどれだけ戻せるかにかかっている。
		通信会社（社員）	・コロナ禍の自粛要請が解除されつつあるが、家庭で過ごす時間が増え、通信環境設備を整える案件が増えそうである。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除に伴い、景気の回復はみられるが、新型コロナウイルス感染の第2波の影響が生じれば、悪化はやむを得ないのではないかと。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波で、再び行動に制限がからなければ、客とスタッフ両者の安全に配慮した店舗運営の技術が向上し、新型コロナウイルスへの不安はあるものの、感染に留意した経済活動が動き出すのではないかと。
		通信会社（局長）	・緊急事態宣言が解除されたが、営業活動は慎重な対応が必要であり、客からの問合せ件数自体も、微増程度である。
	ゴルフ場（総務担当）	・緊急事態宣言が解除され、徐々に客足が戻るものと希望感を込めて、予想する。	
	設計事務所（所長）	・緊急事態宣言が解除され、徐々にではあるが人の動きが出てきて、現状よりは良くなる。	
	住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言が解除となり、客の動きが出てくると思われるが、すぐに回復は見込めない。相当な時間がかかりそうだが、現状よりは良くなる。	
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・何とか新型コロナウイルスに対抗して、普通の生活ができるようにと皆が希望している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言解除後においても、当面自粛が想定される。こうしたなか、この先数か月は、集客のためのイベントや販促の自粛を余儀なくされるため、従来と違った運営方法を考えなければならない。景況回復には長期を要する。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波を警戒しなくてはならないので、まだ予断は許さない。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルス感染拡大予防の緊急事態宣言が全国に出された。徐々に解除されているが、祭りなどの人が密集するものについては、まだまだ解除はないような感じである。早くこの問題が解決してくれればと思っている。
		衣料品専門店（販売担当）	・婦人服、衣料品関係の店だが、2か月くらい前から急ぎょ、メーカーもマスクを作り始め、当店でも独自ルートで手作りマスクの販売をしている。それで幾らか、日銭を稼げている状況で、大物は全く動かず冷え込んでいる。景気どうこうというよりも、経済活動につながっていない。今後もずっとこの状況は続くのではないかと。
		家電量販店（店長）	・特別定額給付金や猛暑予報、更に東京オリンピック需要もあるので、現状の良い状況のまま、変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・生活の安定が見えないため、無駄な商材購入は控えているようである。
		乗用車販売店（経営者）	・自粛ムードで、自動車を購入したいという雰囲気にならないようである。
		乗用車販売店（販売担当）	・当県も緊急事態宣言解除の県だが、解除されても一気に良くなるとは思っていない。観光客も、県をまたいだ旅行は今のところ控えてほしいということで、この先、本当に新型コロナウイルスが収束となり、人が出始めれば元に戻ると思うが、どちらにしても、現状では2～3か月先のことは全く読めない。今の状態から、良くなるのか悪くなるのか、これ以上は悪くなることはないと思うが、良くなるという予測もできないので、不安である。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの自粛ムードが続いていると思われる。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・来客数が激減した状態がこのまま続きそうである。
		一般レストラン（経営者）	・来客数が減少しており、団体客数も減っている。
		一般レストラン（経営者）	・3～4月に予定されていた歓送迎会、謝恩会などの需要は、時機を逃したため、戻ってはこないとみている。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今後の景気の良しあしは、社会的情勢による。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、宿泊、宴会、レストラン共に、先行きの見通せない状況が続いている。全体的な売上も前年比16%である。緊急事態宣言が解除され、県をまたぐ移動の自粛も解除されない限り、消費マインドはホテル業界には向かないのではないかと。
		旅行代理店（所長）	・徐々に新型コロナウイルス感染拡大が減少し、少しずつ動きが出てくることに期待はしている。ただし、大きな伸びは当面期待できず、「新しい生活様式」が定着しないと観光需要の復活は先となる気がする。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・この先どうなるか、見通しも見当もつかない状態である。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスに関連し、衣料雑貨系の取引先から撤退希望等が相次いでいる。現状では、それに代わる新規取引先の導入も決まっていないことから、引き続き、衣料雑貨関連の動きは厳しいままと想定している。
		スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルスの影響で、輸入商材の供給不足問題、天候不順による農作物価格の高騰、収入減等、今後、多方面で厳しい状況が続きそうである。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で自粛が続いており、客の来店は見込めない。
		住関連専門店（店長）	・特別定額給付金給付のタイミングでは、高額商材の購入も増える。ただし、全体的に収入の減っている人が多い上、従来では使用頻度が低かった物への支出が増えているため、大きな買物は減ると想定される。
		スナック（経営者）	・6月から営業を再開する予定である。今まで自粛をしていたので、客が戻ってくるかどうかの不安もある。売上は伸びることはあり得ないような気がする。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、いつになったら普通の活動に戻れるか、全く分からない。
		設計事務所（所長）	・緊急事態宣言中に受けた影響が、すぐに出る業種とそうでない業種がある。また、緊急事態宣言解除で、回復する業種もあるが、一旦大きく不景気になったあおりが、全体的に出てくるのではないか。
	×	商店街（代表者）	・持続化給付金等を利用して、資金繰りの遅れによって、閉店や倒産が増えるのではないだろうか。いろいろな貸付制度の広報の充実が図られると、この先、安心できる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが流行してしまったため、来客数が全然ない。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルス感染防止対応で緊急事態宣言が解除されたが、自粛は続き、減少状況がしばらく続く。
	×	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・研修施設等では下半期に未実施分を実施するとしているが、食堂での食数がカバーされるのかは不透明である。社員食堂等では、生産調整等で一度落ち込んだ分のばん回は、難しいのではないかと。レストランでの客足の戻りには相当に時間が掛かることに加えて、外食を含めたライフスタイルの変化も予想され、先々の見通しは悪い状態が続く。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えない。
	×	タクシー運転手	・地方ではそう簡単に、以前のような状況には戻らない。
	×	タクシー（経営者）	・昼も夜も人の動きが悪いので、この先も悪いとみている。
	×	タクシー（役員）	・国の対策が最悪で、新型コロナウイルス騒ぎが全く収束しない。
	×	通信会社（経営者）	・全ては新型コロナウイルスの状況次第である。インフルエンザ並みに治療薬、ワクチンが普及するまでは経済の回復はあり得ない。当社は直接の影響は少ないものの、間接的な影響が出てくるのはこれからだと思われる。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだしばらく続く。既に知り合いの数社でも解散や倒産を余儀なくされている。そのようななか、政策系金融機関は借入れすら厳しい審査で排除している。これでは地方の中小零細企業は、潰れるといわれているようなものである。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなる。
	×	テーマパーク（職員）	・レジャー業は、他の全ての職種や業種の景気回復後に、恩恵を受ける業種であることから、営業再開しても、その道のりは大変厳しい。
	×	美容室（経営者）	・間違いなく想像以上に、景気は、業種に関係なくひどく落ち込む。消費者の気持ちは「油断禁物」である。ここで気持ちに緩みが起こらないように外へは出ない。病気にかければ自己責任と言われそうで、そのことが様々なブレーキをかけている。この状況は長く続く。
	×	美容室（経営者）	・恵まれた者が弱い者を助けるのは責務である。その財力は、世のため人のために使わなければならない。決して、私腹を肥やすことは許されない。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・通常の長引く不景気に加えて、新型コロナウイルスの影響による追い打ちが厳しい。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス問題が解決し、平常に戻らなければ、景気は良くならない。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		一般機械器具製造業（経営者）	・工場稼働を停止していた主要取引先でも、徐々に稼働を再開させる見込みであり、これ以上悪くなることはない。
		不動産業（経営者）	・夏にかけて、設備の保守メンテナンスが増え、繁忙期となるため、良くなる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合いの様子から予想すると、今後、営業活動ができれば受注量は増加する。
		化学工業（経営者）	・現状より悪くならないよう活動することに精一杯で、過度の期待は禁物と考えている。現状維持できればと期待をこめて、変わらないと予想している。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先との雑談から、変わらないと判断している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先は十数社あり、2～3か月先には若干良くなることもあると思うが、ほとんどの会社が現状の悪いままで変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、依然として残ると考える。
		輸送業（営業担当）	・今後は順調にいけば、夏物家電のエアコン、扇風機、また、緊急事態宣言解除による明るい材料もあり、レジャー用品、キャンプ、バーベキュー用品、夏物インテリア用品等の物量が増える予定である。しかし、今後も新型コロナウイルスによる感染増大となれば、景気も消費も落ちるので、予測の難しい状況が続いている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・公共事業の新年度予算が懸念される。
		金属製品製造業（経営者）	・今後のことは全然予想が付かないため、とても不安である。
		社会保険労務士	・特別定額給付金の10万円は出るが、夏のボーナスがどれだけ減るのかわからず、先行きはとても不透明である。
	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策や、今後の「新しい生活」スタイルや「新しい経済活動」がどのようになるのか、不鮮明なところが多い。今まで以上に真剣な会社経営、運営が求められている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・家庭用レンジフードを作っているが、現状、ゼネコンが工事を止めた関係で、ぱったり止まっている。今は工事も再び動き始めたらしいが、他の工務店も「中国から部材が入らないので、家の工事が進められない」と言っている。当社のメインの仕事が、これから何か月間かは相当受注が落ちてくる。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの問題で、取引先の生産減少が続いている。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で、自動車ディーラーが時短営業を実施中で、積極的な営業活動ができていない。今後も感染拡大防止を優先するため、厳しい状況が続く。
	×	建設業（開発担当）	・世界に猛威を振るっている新型コロナウイルスは、日本でも3月から問題となっており、スーパーマーケット以外の全業種が厳しい状況におかれている。当社も、従業員の生命を一番に考え、事業の自粛を行っている。新型コロナウイルス対策は、今後も最重視していかざるを得ない。今は事業の維持を考えながら、新型コロナウイルスと向き合い、対策を実施していきたい。何よりも、人の命が一番である。
	×	建設業（総務担当）	・民間投資が明らかに落ち込むだろうし、先がどうなるか全く読めない。
	×	不動産業（管理担当）	・介護施設などで清掃回数を増やす等、多少売上増につながる話もある。しかし、全般的に取引先の経営状況も悪化しており、保守管理業務の見直しを行い今はとにかく支出を抑えたいという要望が多い。また、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、更に悪化する懸念もあるため、先の見通しは暗い。
	×	広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、企業の資金繰り、雇用等、これから問題が顕在化してくるため、悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響が更に広い業種に及ぶことは確実で、受注や売上へのダメージが表面化している。観光地及び観光関連業種では、依然として厳しさが続く見通しであり、全業種で廃業が増加するのではないかと。
	×	司法書士	・地元企業の商業の落ち込みを工業で補っている街なので、今その工業が苦戦状態のなかで良くなるわけではない。かなり悪くなるのではないかと。
雇用関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は大きく、サラリーマン、事業者、経営者等に大きな不安が残っている。希望的観測だが、徐々に上向いてくれるように、購入、購買力に活発さが見えてくるように願うところである。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、特に、観光収入の比率が多い近隣の市では、インバウンドも含めた観光客が戻ってくるのは、はっきりといつ頃までとは言えない状況だが、ホテル等の見方だと、本当に稼働が元に戻るのには2～3か月が半年後くらいではないかという話である。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス感染症の影響が減り、ワクチンも開発されれば、一気に経済は回復する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・秋冬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の第2波が想定される。新規採用を見送り、社内の体制見直しを検討する企業が多いと感じている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が、どの程度になるか分からない。
		職業安定所（職員）	・現在は、サービス業を中心に求人が減少しているものの、他業種でも工場の稼働停止等の影響が出てくると思われる。
	x	人材派遣会社（管理担当）	・取引先で100名規模の派遣の雇止めがあるため、悪くなる。

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (南関東)		百貨店（販売促進担当）	・少しずつ新しい日常を築いていく過程で、この3～5月よりは回復していく（東京都）。
		家電量販店（店長）	・緊急事態宣言解除と猛暑によりエアコン、冷蔵庫の販売が伸びる。また、来客数の増加により買上点数のアップも期待できる。しかし、積極的なセールは控える必要がある（東京都）。
		家電量販店（店長）	・給付金の効果で一時的に上向く。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が解除され、今月自体は悪いが、前年比で今週の予約が40%ぐらいまで回復して伸びを示しているため、2～3か月後は前年並みぐらいまで伸びると予想している（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	・全国に出ていた緊急事態宣言も解除になり、徐々に経済活動が進んでいる。政府の発表によると、「Go to トラベル・キャンペーン」ということで、業界に対する支援が始まるので、現在と比べれば良くなる（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、7月からは「Go to トラベル・キャンペーン」が開始されるので、旅行需要が大いに伸びると期待している。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除に伴い、契約数を含めて、徐々に回復する見込みである。
		住宅販売会社（従業員）	・月末近くになって、新型コロナウイルス対策に気を付けながらも通常どおりの生活に戻りつつあると感じている。学校も再開したし、人通りや交通量も増えてきている。第2波の心配はあるが、商談の再開、住宅の検討を再開する客も増えると考え、2～3か月後の景気は今月より良くなる。
		商店街（代表者）	・現状が続くと廃業に追い込まれる。これから店の営業時間が通常に戻れば今よりは良くなると思うが、急激に良くなることは考えられない。商売を続けるには、いろいろと知恵を絞って、新しい戦略を練っていかなければならない。何としてもここから脱却していかないとけない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・零細企業はやや良くなるという希望的観測だが、大手企業はこれから非常に厳しくなり、倒産や整理など、いろいろ出てくるのではないかと。その波が我々に押し寄せてくるほうが怖い感じがする。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束に向かい、経済が少しずつ動き出してほしいという願望も込め、良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が若干弱くなっていくものとみている（東京都）。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・6月より順次学校が始まるとの発表があり、文具業界においては4月の新学期需要が2か月遅れてくるのではないかと。ただし、4～5月の2か月間の自粛及び自粛ムードにより、通販の利用や外出しての買物頻度の減少など、商品購買スタイルにも変化が出てきているため、このまま以前のように買物客が戻ってくることを大きく期待してはいない（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言が解除され、食料品も菓子を中心に閉めていた店が再開することと、全館においても、ファッション系の売場もかなり再開されるため、以前よりは良くなる（東京都）。
	百貨店（売場主任）	・5月末から当面の間、時間を短縮して営業を再開することが決まっている。厳しい営業条件とはなるが、新型コロナウイルス対策をし、6月から本格化する中元商戦での集客やWeb利用の伸びを期待したい（東京都）。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら徐々に経済が動き出すため、緩やかに景気が回復していく（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・今後、店舗が順次営業再開すれば、前年水準にまで戻ることではないものの、足元の状況よりは一定程度の売上回復が見込まれる（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・緊急事態宣言が解除されれば営業することができるが、新型コロナウイルス発生以前に戻るのには1年後になるか、2年後になるか、分からない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの収束はかなり先になるだろうが、一旦落ち着きを見れば、今月までよりは売上が向上する。ただし、「ニューノーマル」、「新しい生活様式」が新型コロナウイルス発生以前の消費傾向に影響を与える（東京都）。
		百貨店（予算算担当）	・緊急事態宣言解除後には売上の減少幅が大きく改善する（東京都）。
		百貨店（店長）	・緊急事態宣言の解除により、月末から営業再開することで、収入を得ることができる。また、大家との4～5月家賃減額交渉も進めており、この進展も期待できる（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・緊急事態宣言解除により、消費行動は今より活発になると想定しているが、急速な回復は見込めず、一定の時間を要する。
		スーパー（経営者）	・安売りのスーパーマーケットのため、世間が節約志向になると、来客数が増えるのではないかと考えている。
		スーパー（ネット宅配担当）	・節約志向が強くなると思うが、買い控えや安物買いもあるものの、賢消費への意識が一層高まりそうである。最近では「安くても必要のない物は買わない」傾向が強いが、逆に「汎用性の高さ、時短」などのニーズに合わせた提案が良い。そのような観点からも、外食は更に厳しくなると予想されるが、食品小売業はある程度堅調を維持する。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波が起きなければ、少しずつ通常の生活に戻っていき、旅行や買物もするようになる。「新しい生活様式」ということで、ソーシャルディスタンスを保ちながらの生活になるが、2～3か月前よりは売上もはるかに伸びていく。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が解除され、少しずつではあるが客足が戻ってくることを期待している（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・客の戻りに期待したい（東京都）。
		衣料品専門店（役員）	・緊急事態宣言が解除になりそうなので、来客数増に期待したい。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されるが、以前の経済状態に戻るとは当然考えられない。新型コロナウイルスとの共生社会下での緊張感のある運営となる（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が緩和される見通しなので、期待を込めての感想である。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルス関連が落ち着けば、通常どおり展示会などもできるし、移動もできるが、2次感染、3次感染が起こるようになると、また落ち込むのではないかと不安もある。結局のところ、新型コロナウイルスの影響次第である（東京都）。
		乗用車販売店（店長代行）	・現在時短営業を行っているが、緊急事態宣言が解除されれば元に戻るのではないかと（東京都）。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	・新型コロナウイルスが収束すれば、販売量もまた回復してくるのではないかと。
		その他専門店 [雑貨]（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されても、今回は簡単にV字回復とはいかないものと思われる。完全に収束しないまま、新型コロナウイルスと共生となると、不安を払拭できない消費者も少なくない。外出自粛に慣れてしまった感覚からの復帰にも少し時間が掛かるのではないかと（東京都）。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（団体役員）	・夏になれば新型コロナウイルスも落ち着き、今月に比べれば、経済活動の持ち直しと、夏休みによる行楽客が増加するが、インバウンドはまだ間に合わないと思われ、バス燃料の軽油等はまだまだ厳しい（東京都）。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	・新型コロナウイルス感染が少し落ち着いてきたため、やや良くなる。ただし、第2波がどの程度のものなのか分からない点が不安要素である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言が解除されてからは、夜の客がやや戻りつつある。週末もかなりの客が来店してにぎわっている。ただし、やはり宴会が入って景気が戻るかというのは、忘年会の時期になるくらいまで心配ではある（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・治療薬の普及、有効なワクチン開発の情報拡散と同時に、実際に新型コロナウイルス感染症の威力が弱まり、社会に落ち着きが戻る頃である。また、セーフティネットの助成金、無利息貸付けが始まり、財政的にも安心感が生まれてくるが、軽減税率の終了、企業の業績改善に時間が掛かることから、今一つ精彩を欠くのではない。
		一般レストラン（経営者）	・飲食業だが、ソーシャルディスタンスを維持しようとする、客数を完全に戻すことはできない。解決策を見いだしたい（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の解除に伴い、段階的に緩和が進むことが予想される。徐々にではあるが、稼働も上がっていくと予測している。
		旅行代理店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されればツアーを催行できる（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染の第2波、第3波は抑えられる。景気は、今はどん底であるが、抜け出せるとみており、多少良くなる（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されれば徐々に営業活動を再開していく予定なので、現状より景気は良くなる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、新規客を獲得するための接客活動が全くできておらず、既存客のフォローに時間を充てている。今後、営業活動が再開すれば、夏前には新型コロナウイルス発生以前の状況を取り戻せる。
		通信会社（経営企画担当）	・少しずつ回復に向かい、良くなることを期待している（東京都）。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスが収束すれば、今月よりはやや良くなると期待している（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたため、やや良くなる。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスが一旦収束し、場外開催を運営できれば今の状況からは景気が上向くため、希望的観測ではあるが、やや良くなる。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・新型コロナウイルスに対して正しく恐れる習慣がつけば、今後は今よりは良くなる（東京都）。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・緊急事態宣言が解除され、営業を再開すれば、さすがに現在よりは良くなる。再び感染が拡大することが非常に心配である（東京都）。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（営業担当）	・緊急事態宣言の解除が見込まれ、営業を再開できる。しかしながら席数の間引き等の制限をしなければならなかったり、法人、団体の来場はまだ先になりそうなので、劇的に良くなるはない（東京都）。
		その他サービス[福祉 輸送]（経営者）	・受注量の低減が大きかった4～5月の、売上に対する影響が表れるのは6～8月だと思っている。そのため、売上が相対的に減少する（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言が解除されたので、徐々に良くなっていく。
		一般小売店[和菓子] （経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだはっきりしないので、売上も見込めない。
		一般小売店[傘]（店長）	・今がどん底だと思いたいが、祭りやイベントの中止が決まり、不安でいっぱいである。急激に上向くことや、前年同期と同等の売上は見込めない。
		一般小売店[茶]（営業担当）	・新茶の時期なのに販売数量も伸びないし、今後についても得意先が通常の営業に戻らないことは期待もできない。相手のある仕事、販売なので、早く新型コロナウイルスの影響が落ち着いてくれることを願うだけである（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・現在の厳しい状況は近年例を見ないものである。先行きについては、新型コロナウイルスの影響が見通せないなかでは非常に不透明であり、予測ができない。しかし、事業運営を考える上では、景気が上向いてもらわなければ困る、というのが偽らざる気持ちである（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言の解除により全館で営業を再開し、いずれは通常営業に戻っても、消費回復にはまだまだ時間を要する（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、通常営業になっても、景気回復には時間を要すると想定している。また、今後もテレワークの拡大、継続となると、仕事帰りに百貨店を利用していた層の購買動向等の環境も変化するものとみている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・休業中の現在と営業再開後との比較はできないが、すぐに休業前の状況に戻るのには難しい（東京都）。
		百貨店（計画管理担当）	・緊急事態宣言は解除されたものの、まだ営業を自粛している部分もあり、通常どおりの営業をしていないので、不透明な部分がある。以前のような身の回りの景気まで回復するには相当時間が掛かることが予想される（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響もあり、食料品関係はそれなりに前年売上をカバーしているが、衣料品、住居用品等は買い控えがみられる。店舗の営業時間短縮などもあり、トータルで見ると、食品は売上が到達しているが、衣料、住居のマイナス分が大きく、なかなか前年まで達していない状況が続いている（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続く。
		スーパー（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、まだまだ内食化傾向は続く。したがって、食料品、生活必需品の需要は当面高いままである（東京都）。
		スーパー（販売促進担当）	・セールを打つこともできず、自粛が解除されても、店内混雑を調整しなければ、売上を期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスに伴う大盤振る舞いの景気対策がうまくいき、2次感染が起きなければ、客は動きたくて仕方がないので、今までをばん回するイベントを実施する。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が、現状のままから2次的感染拡大が起これば、業種的に特需が出やすくなることは予想できる。
		家電量販店（店長）	・自粛解除で景気が回復する業種や、新たなビジネスチャンスが発生すると思われるが、立て直しができない業種もあり、方向性はまだ定まらない。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車整備の売上は2割減、販売は8割減となっている。今年一杯は新型コロナウイルスの影響で、余り芳しくない状態が続く。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの影響は瞬間的な問題ではない。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・緊急事態宣言が解除され、休業要請も緩和されるが、現在の雇用不安、収入減少という不安は解消されるとは考えにくく、新型コロナウイルスの不安と共に、社会経済的な不安が払拭されない限り、景気は良くならない（東京都）。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・簡単には元に戻らない。1年以上は影響が続く（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・緊急事態宣言解除となっても従来のように集客できず、厳しい状況が続く（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・自粛解除の兆しが見えて、ほんの僅かに人出が戻ってきている。インターネットを利用したテイクアウトなど、新しい取組で活路が見えてきている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後も今と同じように、新型コロナウイルス感染の第2波を避け、宴会等は一切やらないのが一般的だろうから、売上は今と同様に大分下がり、伸びる要素はない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染状況が劇的に改善しないと、このままの状態が続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響はまだ未知数である。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が解除され、経済活動が再開しても、旅行については回復が遅いと言われている。国内旅行から回復するが、海外旅行は今年一杯は厳しい。また、インバウンドは各国の状況次第となるが、ここ数年の盛り上がりまでの回復は厳しい。今後は「新しい生活様式」に沿った旅行が可能かどうかという課題もある（東京都）。
		旅行代理店（総務担当）	・現在がどん底なのでこれ以上悪くはならないが、旅行業界としては企業の状況が良くなってから客が動き始めるため、しばらくは底のままである（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの収束に対する予測が見えない限り、動機的にはさほど変わらない。1日も早い収束を願っている（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスからの世の中の回復、つまりタクシー利用者がどういふふうに戻っていくのか、全く分からない。余りにもタクシー利用者が落ち込んでいるので、いつ、どういう形で回復するか分からず、非常に悩んでいる（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・緊急事態宣言解除後の動向に期待するが、段階的解除、一定範囲での自粛は当面続くと思われるため、早期の景気回復は困難ではないか。景気低迷の長期化が非常に心配される。
		通信会社（社員）	・緊急事態宣言が解除される見通しのため、回復を見込んでいる（東京都）。
		通信会社（社員）	・「新しい生活様式」において、すぐに量販店の販売数が元に戻るとは考えられない。また、リモートワーク特需が終わり、リモートワーク用に手配したS I Mの解約が一定数あるのではないかと考えている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、経済が元の状態に戻るにはかなり時間が掛かる。今後も企業倒産や失業者が増加していくものと思われ、予断を許さない状況が続く。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（管理担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、すぐに法人向けソリューションの販売に結び付くとは考えられない。個人向け携帯電話販売も、消費意欲が高まるまでには時間が掛かるものとみている（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・昨今の在宅勤務経験で働き方が変わると想定している。引き続き在宅勤務をする人が一定数存在することで、インターネット接続の需要があると考えられる。そのため、通信量の増加に対する設備投資計画を考えている。売上はさほど変化しないが、設備投資で減価償却費が増えるため、収支をどうするか考える必要がある。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症予防対策の影響が大きく、経済活動全般が落ち込みから回復していない（東京都）。
		その他サービス[立体駐車場]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で悪い状態が続く。
		その他サービス[保険代理店]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が一段落し、ふだんの購買意欲が戻ってくる。客が臨機に対応できるようになる。
		設計事務所（経営者）	・特にプロジェクトの数が増える予定はないので、変わらない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス収束の展望がある程度見えない限り、通常の業務量にならないと考えている。
		設計事務所（所長）	・緊急事態宣言は解除されるが、打合せ等は全て一時延期の名目で実際は再考となっていると判断しているため、皆見当がつかず、今の状態がこのまま継続する（東京都）。
		その他住宅[住宅資材]（営業）	・少しずつ建材関係の仕事が元に戻る見込みではあるが、新しいことに取り組むのはまだ先になるという情報が多い（東京都）。
		一般小売店[家電]（経理担当）	・新型コロナウイルスもまだまだ心配である。いろいろな物が欠品になっている。物がなくてはどうにもならないが、予想して在庫を抱えるのも大変である。
		一般小売店[生花]（店員）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、皆気を付けながら行動すると思うので、来客数は伸びないのではないかと。ただし、近隣住民などが野菜の苗や花を植えたりすることは習慣づけられたように感じている。苗ものだけは以前より少し売れている（東京都）。
		一般小売店[文具]（販売企画担当）	・新型コロナウイルス発生以前に決まっていた、ゴールデンウィークの納入予定品、5～6月の納入予定品が全てストップしている。現在はストップの状態だが、もしかしたらこのままなくなり、大型案件が全て飛ぶような形になりかねない。企業の投資案件が徐々に少なくなってくると、かなり収入減になる。
		百貨店（販売促進担当）	・5月25日に緊急事態宣言が解除されても、客が外出を控えることや、取引先への影響も大きく、長期にわたり景気に影響し、今よりも悪くなる可能性もある。集客や販促の方法や、催事、イベントの開催方法など、「新しい生活様式」に対応した新しい運営方法を作り出す必要がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・3～5月と非常に良かった。緊急事態宣言が解除され、徐々に下降していくとは思いますが、良い流れがまだ続いているので、それほど大きく落ちることはないのではないか。引き続き、新型コロナウイルスに対するいろいろな対策をしつつ、客に喜ばれるようなことをしていく、これに尽きる。この先は本当に読めないが、今までとは全然違う形になると思うので、推移を見ながら対策を打っていきたい。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響があるなか、これまでは来客数が減っている一方で点数、単価が伸び、何とか予算を達成してきたが、緊急事態宣言が解除され、日常の生活を取り戻すことになると、当然今よりは点数も単価も下がり、数字も今よりはやや悪くなる（東京都）。
		スーパー（店長）	・自粛期間中に生活に大きな変化が起きた方々が多くいると思うので、日常の生活に戻ったと言っても、今までどおりの生活ができるとは限らない。消費者の節約志向は更に強まると思うので、今後は当分厳しい状態が続く（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で非常に売上が厳しいなかで、都の緊急事態宣言解除後の5日間の客の様子を見てみると、今までのストレスを発散するかのように買物をしている。ただし、まだ外出自粛が続いている影響も大きいので、外出着等の高単価の衣料品が売れていない。また、学校等で、水泳教室がなくなることによりダウンしている売上のカバーができない。食料品等、頻度品についてはまずまずの状況が続く。
		コンビニ（経営者）	・今現在は新型コロナウイルスの影響で売上、単価が高いためには上がっているが、今後は逆に景気がダウンする。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でどうなるかわからない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、これから先が本当に不透明である。前より悪くなるかどうかは分かりかねるが、客の様子を見てみると、変わらないというより、良くなる感じはしない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス対策が浸透して徐々に来客数が増えると思われるが、前年よりも販売量が減少する。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響は今後も続くと予想され、売上減となる。
		住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルスの影響で自粛する人もまだ多いので、来客数、売上も余り見込めない。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、自粛生活は今後も続くこととみている。化粧品や薬などの主力商材の売上は、以前のように取れない。
		一般レストラン（経営者）	・当店は6月1日から夜の営業を再開するが、既に再開した他店に聞くと、最初の2～3日は常連客が戻ってきてくれるが、その後はまた元どおりの前年比9割減という状況が続いているそうである。これからはそういった店がどんどん増えるので、むしろこれから景気が非常に厳しくなって、店を閉める人が増えるような気がする（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響でやや悪くなる。
		タクシー運転手	・今は新型コロナウイルスの影響でひどい。売上は4分の1～5分の1である。多くの客からも今は自粛で我慢だと聞くので、この先が不安で心配である。
		通信会社（経営者）	・ボーナスが下がる（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着いたように見えるが、この2か月余りの営業自粛による収入の落ち込みが影響してくるのはこれからである。自粛傾向もしばらく続き、収入減により個人消費がこれから落ち込むとみている。客が生活インフラとしての最低限のサービスのみ絞り込むことが懸念される（東京都）。
		通信会社（局長）	・ある程度は営業再開となるだろうが、今までと同様の手法ではできないと思うので、試行錯誤の期間と考えると、まだ良くはならない（東京都）。
		ゴルフ場（経理担当）	・新型コロナウイルス感染対策を実施しながらの不自由な営業を余儀なくされ、収益悪化が見込まれる。緊急事態宣言が解除されても新型コロナウイルス発生以前の社会には戻らないという悲観的な見方が多く、ゴルフプレー意欲が改善するかは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、人の流れが増え始め、街中の活気も少しずつ回復傾向に向かう。しかしながら、事業者に対する支援策は量的に不十分であり、スピードも遅い。新型コロナウイルス感染拡大の第2波も懸念されるため、依然として厳しい状況が続く。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・休業明けでこれからどうなるのかわからない部分が多く、どれほど悪くなるかはまだ判断できかねる。
		設計事務所（職員）	・社会全体の景気動向がどのように影響を及ぼすのか予想ができない。むしろ働き方の変革により好景気に転じてほしい（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスによる影響から回復すれば、投資物件の不動産事業は若干良くなりそうだが、大きく良くなるとは思えない。ホステルは、全く見通しが立たず、訪日外国人客も見込めないため、国内需要で対策を考えていかないと厳しい。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・仕事の性質上、決まるまでには時間が必要である。現状ではいつ頃上向いてくるかは予測できない。
	×	商店街（代表者）	・東京における新型コロナウイルスの状況次第だが、良くなる要素がほとんどない。これから数か月かけて市民の「新しい生活様式」に商店が合わせていくことになると思うが、誰もかつてやったことのない取組であるので、何が正義かは分からない。トライ＆エラーを繰り返して、しばらく状況をよく見ていかないといけない。まだ時間が掛かる（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で本当に先行きが見えない。品物もまだ普通に入っていないし、売上自体も減少している。政府の給付金というの、話がいつまでかいないのか全然分からない（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・今までの販売の仕方が大きく変化していく過渡期で、売れる物から売り方まで、今は予測ができない状態である。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	・これから先、耐久消費財に関しては買う余裕も徐々になくなってくるように思うので、良くなることは期待できない（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・マスク着用が続く以上、以前のように戻らない。
	×	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・事業をする環境にない（東京都）。
	×	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・夏に向けて入場制限等で売上が確保できるのか不安である。
	×	百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除されても、民間企業の給与カットや「新しい生活様式」に起因する消費活動の減退が予想される（東京都）。
	×	スーパー（経営者）	・スーパーマーケットは今新型コロナウイルスバブルになっている。新型コロナウイルスもそろそろ収束に向かっており、この先は落ち着く。現在は来客数減、客単価上昇だが、この先は客単価低下となる。
	×	スーパー（仕入担当）	・企業が倒産、事業縮小し、日本の経済自体が悪化している。景気は後退しており、消費額自体も落ち込んでいく。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこれから出てくる（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	・来客数が元に戻ることは期待できず、現在15%以上の売上ダウンが更に悪化することは間違いない。
	×	コンビニ（経営者）	・夏場の県営プールの休園が決まり、来客数が更に減少する。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続くと思われるため、景気は戻らない（東京都）。
	×	衣料品専門店（経営者）	・これから夏に向かってイベントの中止が続く。それにより、業種等によってはイベントに付随する商売、あるいは来客数が全くゼロになる。また、小学校が再開しても水泳授業が中止となり、授業も減るといことで、関連する販売も減ってくる。今年中は厳しい状態が続く。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が前年同月比70%減となっている。夏場になれば客が少しは戻ってくると思うが、50%程度と見込んでいる。特効薬が出るまで数年は収入の減少と自粛ムードが続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店(店長)	・緊急事態宣言が解除されても、当社の主力事業が着物、ドレス等のオケージョン商材であり、市場の回復までにかかりの時間を要する(東京都)。
	×	衣料品専門店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言解除により、第2波、第3波が普通に襲ってくる。政府の持続化給付金などの援助も底を突いてなくなり、大企業だけが残り、中小企業は倒産する。景気上昇など夢のまた夢である。お金のない会社はさっさと倒れると国が言っているように感じる。
	×	家電量販店(店長)	・経済的ダメージを受けている企業は今後給与やボーナスが下がる可能性があり、先行き不安から消費が冷え込む可能性が考えられる(東京都)。
	×	乗用車販売店(経営者)	・いつ収束するかが心配である。
	×	乗用車販売店(営業担当)	・皆が高い買物を控えている(東京都)。
	×	住関連専門店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響による景気の減速は不可避であり、消費の冷え込みが長期になることも予想される(東京都)。
	×	その他小売[ショッピングセンター](統括)	・緊急事態宣言が解除されたものの、「新しい生活様式」がどのように働くのか予測不能なため、不安だけが先行する(東京都)。
	×	高級レストラン(営業担当)	・主に法人関連、団体宴席を売上の主体としていた当社にとって影響は大きい。今後は、新たな売上作りの施策を早急に実施する方向である(東京都)。
	×	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で客が戻ってこない。ケータリングは現在1件もなく、今年一杯はゼロが続くそうである。店の売上も3分の1くらいになっていて危ない。
	×	一般レストラン(経営者)	・飲食店を5店舗経営しているが、緊急事態宣言の発令により4月20日から5月一杯まで2店舗が休業した。他の店ももちろん営業時間を短縮しており、緊急融資も受けたが、7月まで持たないかもしれない(東京都)。
	×	一般レストラン(経営者)	・集まったの会食は遠慮しろというように言われているので、例えば店を開けたとしても、夜の客が戻ってくるには時間が掛かる。これから梅雨に入ってしまったら、余計に人出が減る。
	×	その他飲食[居酒屋](経営者)	・新型コロナウイルスの第2波の見通しが立たないため、まだまだ外出を控える人が多いと予想している(東京都)。
	×	その他飲食[給食・レストラン](役員)	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかという点については全く不透明であるほか、テレワークの導入による在館人数の大幅減等での社員食堂の収益性低下、社員食堂の廃止等、解除後の取引先の動き次第で当社営業に大きな影響を与える可能性があり、予断を許さない状況にある(東京都)。
	×	都市型ホテル(経営者)	・新型コロナウイルス感染症の影響はまだ長引く見込みである。それに加えて、近隣の大型コンベンション施設が、東京オリンピックが延期になったこともあり、9月まで全く稼働していないという状況で、我々としては非常に困窮している。宴会、会議等もほとんどなく、この状態が数ヶ月は続くのではないかと。国、県、市のいろいろな支援なども遅れがちなので、早急な対応をお願いしたい。
	×	都市型ホテル(支配人)	・団体宿泊客、宴会客、東京オリンピック予約等、11月の予約までキャンセルが発生している。繁忙期の7~8月の売上が見込めない。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	・緊急事態宣言が解除されたが、売上の急速な回復は見込めず、厳しい状況が続く。ホテル自体も受入れ態勢の見直しが急務で、新たなルール作りが必要となる。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	・消費税が減税又は廃止されない限り、不景気が続く(東京都)。
	×	旅行代理店(経営者)	・新型コロナウイルスの収束が見込めないのも、悪くなる。
	×	旅行代理店(従業員)	・見通しが立たない。緊急事態宣言が解除されたとしても、影響は長期に及ぶため、3密を避けられない従来型の団体旅行は立ちいかない。
	×	旅行代理店(従業員)	・緊急事態宣言は解除となり、一般的にはトンネルを抜けたかのように思われるが、旅行業界は3~6か月後に動き出すため、倒産する会社も出始め、身の回りの景気は悪くなる(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	タクシー運転手	・今の状況が3か月続いたら、会社自体がおかしくなってしまう。駅で電車を降りた客は左右に分かれ、徒歩や自転車のように、タクシーに乗る気配はない。唯一利用があるのは病院の送り迎えである。5月25日に緊急事態宣言が解除されたが、以前のように仕事ができるようになるのはまだ先の話である。
	×	通信会社（管理担当）	・移行期間が終わっても「新しい生活様式」への不安感は払拭されず、1年は低迷する。
	×	通信会社（営業担当）	・自粛期間中の影響が2～3か月後に顕著に出て、景気は悪くなる（東京都）。
	×	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスによる経済、経営の悪化は長く続く。国は国民に国庫金を放出しており、豊かな日本経済を取り戻せる日は遠いように感じる。頑張る気持ちはあるが、思っている以上に厳しい状況である。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのためか街が静かで、客の来店頻度が鈍っている。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で休校が続き、生徒の出足も鈍っている。新規の問合せも全くない。人の出足も非常に悪いので、新規入学者は見込めない。退塾者も増えている。
	×	その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染防止対策で、営業自粛が続く（東京都）。
	×	設計事務所（経営者）	・現在は営業展開ができない状態になっている。訪問すること、若しくは今までの話を新しい仕事に結び付けるような話をしようと思うが、なかなかそれができない。
	×	設計事務所（所長）	・いずれにしても新型コロナウイルスの影響で、景気はこれから一段と冷え込むことが明らかである。仕事が徐々になくなっていくことが目に見えている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が早く収まらないと景気が戻らない。このようなときこそ経済波及効果の大きい住宅が売れるような対策を取ってもらえれば有り難い。
	×	住宅販売会社（従業員）	・受注の極端な減少は、そのまま売上の大幅減少に直結する。新型コロナウイルスまん延前までに獲得した手持ち工事だけではカバーしきれない。
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	・今がとにかくどん底なので、後は良くなるだけである（東京都）。
		電気機械器具製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたので、これから商売が徐々に活性化するが、通常の状態に戻るのには大分時間が掛かると覚悟している（東京都）。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、美容室が閉店している状況が続いていた。6月以降はこれまで髪を手入れできなかった人の反動が見込まれる（東京都）。
		建設業（従業員）	・現状を考えると、周りの取引先の動きが少しずつ活発になってくる気がする。
		金融業（統括）	・新型コロナウイルスの影響も一段落し、少しずつ景気が上向くはずである。
		金融業（役員）	・緊急事態宣言の解除で、消費者心理の回復により観光客は僅かながら増加している。ただし、観光バス利用での観光客誘致には至っていないのが現状である。地元の観光施設や新規総合店舗も5月下旬から営業再開することで、人の動きが活発になってきて、近隣の景気はやや回復するものとみている。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束に向かえば、少しずつ回復してくる（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・5月半ば過ぎから首都圏を残して緊急事態宣言が解除されるなど、景気回復の見込みが出てきている。
		食料品製造業（経営者）	・先のことはまだ全然予測できない。
		化学工業（従業員）	・先行きの受注量は現状と変わらず悪いが、今以上に落ちるとは思えない。
		金属製品製造業（経営者）	・地球規模で全てに悪い影響が起きている、経験したことのない状況のため先行きが分からないが、回復までには相当の時間が必要ではないか。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ここまで落ちてしまうと2～3か月では回復は望めないと思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量は変わらないが、輸出量がないので低迷している。今後も現状が続くと予想している。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない（東京都）。
		税理士	・米国の景気は新型コロナウイルスも収束して復活していくのではないかと。中国も復活していくと思われる。日本の景気は、新型コロナウイルスによる影響がまだ変わらずあるので、少し良くなっても、第2波、第3波が来たらまた悪くなる。今年一杯は悪いのではないかと（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が全く見当たらない（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・しばらくは今の状態が続く。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・秋に予定されていた、年間売上の大部分を占めるイベントが中止になったことから、今の低迷状態が変わると思えない。緊急事態宣言が解除される予定だが、先の見通しが立たない（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・ここ半年くらい、テレビCMでハンコ不要論などが出てきている。個人用は変わらないが、法人関係においてはハンコは要らないという、景気というよりも、時代の大きな流れがあり、それに影響されるのではないかと思っている。新型コロナウイルスによる影響というのはそれほどないが、周りの飲食店関係の名刺やショップカードの注文が若干少なくなりつつあるが、持ち直して以前と変わらなくなるとみている。長い目で見ると、やや悪くなるという見通しを立てている（東京都）。
		化学工業（総務担当）	・例年ある受注が後ろ倒しであるのか、需要が消失してしまったのか、まだ見通せない。来月以降、経済活動が戻り、各社の販売促進活動が回復すれば、後ろ倒し分の受注を期待できる。「やや悪くなる」と回答したが、インバウンド需要の回復は期待できないので「やや悪くなる」程度で済んでくれることを望むばかりである。
		金属製品製造業（経営者）	・しばらく今の悪い状態が続くと思うので、新しい取引先を大事にして営業範囲を広げ、新しい仕事の開拓もしながら続けていきたい。
		精密機械器具製造業（経営者）	・7月以降は少し持ち直すかと思っているが、6月中旬にならなると分からない。製造業は前年比で今月よりも20ポイント以上落ち込むと予測している。台風19号から毎月売上がダウンしていたところに、今回の先が見えない新型コロナウイルスで不安ばかりであり、これ以上の借金は避けたいところである。
		金融業（従業員）	・緊急事態宣言は解除されたものの、依然として来客数の減少や海外との取引遅延などに悩まされている事業者が多く、当面は悪い状況が続く（東京都）。
		不動産業（経営者）	・緊急事態宣言が解除される予定だが、新型コロナウイルスに感染しないように、まずは心掛けるだけである（東京都）。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、ホテル業界は売上がほとんどない。この状態は相当の期間続く（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・ようやく緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルスとの戦いはこれからも続く。一度落ち込んだものがV字回復するとは到底思えず、今後2～3か月先の景気も厳しいと考ざるを得ない（東京都）。
		経営コンサルタント	・緊急事態宣言は解除されたが、元どおりになるには時間が掛かる。旅行キャンペーンなどが予定されているが、影響は限定的で、広く波及するとは思えない。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、清掃業務の値上げ交渉がしにくくなっている。相変わらずの人手不足もあり、人件費が高騰している（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・納期がずれることにより売上が立てられず、人件費などが持ち出しとなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・8月までは受注量が少ないと予測している（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・集客をサポートする業種柄、人を集めることができない状況は死活問題である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・同業他社、下請業者から、仕事量が減少したため社員を減らしたという話を聞いている（東京都）。
	×	プラスチック製品製造業（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが、この2か月以上売上がない業種がたくさんあるので、景気は更に悪くなっていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	プラスチック製品製造業（経営者）	・医療品容器に関しては大きな落ち込みはなさそうだが、化粧品容器の受注は6～7月は全く復活のめどがつかないと、取引先から情報が入っている。
	×	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しなければ受注量は増えてこない。働き方改革で生産性を上げてきたため、受注量が減ると勤務時間内の仕事量の確保も難しく、苦しい。
	×	その他製造業〔靴〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、全国的にある程度客も出るような環境ができてくるのではないかと期待している。感染が再拡大しないことを願うばかりである。
	×	建設業（経営者）	・現状のとおりでいけば、どんどん景気が悪くなる。いろいろな政策を早く、スピード感をもって実行してもらいたい。
	×	建設業（経営者）	・企業に設備投資をする機運がない。
	×	建設業（経営者）	・工事を延期していたが、情勢や、製造業関係はこれからが悪くなるので、先を考えると大変不安である。公共工事も、延期により案件がなくなっている。
	×	輸送業（経営者）	・東京オリンピック開催対応として、稼働日数をかなり減らした日程が決定しており、現時点での変更は困難なため、新型コロナウイルスによるダメージとあいまって深刻な状況の発生が懸念される（東京都）。
	×	輸送業（経営者）	・先行きが分からない（東京都）。
	×	金融業（支店長）	・現在はサービス業中心に影響が出ているが、今後、製造業にも新型コロナウイルスの影響は及ぶ。
	×	金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の解除があっても、サービス業、小売業、飲食業と幅広い業種で影響を受けているので、景気はすぐには戻らない（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	・10月以降のイベントも、どちらかという中止の方向で検討に入っている。
	×	広告代理店（営業担当）	・今月までは新型コロナウイルス流行前までの貯金や、仕掛けてきた話を実行に移している物があり、売上もギリギリあるのだが、この先については、新たな話を仕掛けられていないし、仕掛けられない状況なので、かなり厳しくなる。また、エンターテインメント業界関連の仕事が多いので、この先イベント、ライブが解禁されるか否かにより、大きく左右される（東京都）。
	×	税理士	・業種によっては夏になっても回復するとは思えない。長引く不景気の始まりである。
	×	経営コンサルタント	・1年か2年程度は、世界的な物流が滞ることを想定すると、中小製造業の先行きは、大変厳しいものがある（東京都）。
	×	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・取引先工場で完全休業するところも現れ、ますます取扱量が減少することが予想される。
	×	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・まだまだ先が見えない。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・客の予算が付かなくなってきている。また、平年並みを維持する勝ち組と負け組の差が大きくなっており、負け組企業からは中止の判断が出てきている。現在勝ち組の企業も、どこまで持つのか不明である（東京都）。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除される見込みのため、求人数、求職者数等が増加すると思うが、例年の動きになるまで2～3か月は掛かるのではないかと（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・ストップしていた求人が徐々に戻ってきており、リモートワークの対応も派遣先、就業者共に整ってきている。現場からの人材ニーズは高い（東京都）。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・緊急事態宣言が解除になれば、またリアルイベントができるようになるので、落ち込んだ売上が戻ってくるのではないかと（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響もあり、採用抑制や派遣契約の更新がなくなるケースがしばらくは増えそうである。
		人材派遣会社（社員）	・6月末での契約満了が見込まれており、更なる悪化が懸念されるなど、当面厳しい状況が続くことが予想される（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・業績の見通しが悪い企業を中心に、今後も採用を控える企業が多い（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、引き続き在宅や時短、シフト出勤などが続いており、ワクチンができるまではこのまま継続すると明言している企業もあるので、まだ楽観視はできない（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・消費活動が増加しないことには、経済も回復していかない。2～3か月後に回復しているという見込みもなさそうなので、今月と比較して良くなるとは思えない。
		求人情報誌制作会社（所長）	・徐々に経済が回れば上向いてくる。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言は解除されたものの、各企業も自社の経営立て直しを優先することで採用活動を控えることもあり、急な改善は見込めない。数か月は景気が悪くなり、その後、緩やかに回復する（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・秋口の経済回復でも、今年度の経済成長率はプラスには転じない。雇用状況もまだまだ回復するとは思えない（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・今後、取引先からの減額要請に対して、できる限りこたえる方針だが、一方で各社共に業務仕様、ポスト削減など契約そのものの見直しに着手しているところもあり、今後、解約、縮小により売上確保が厳しくなると予想している。従業員の確保が難しくなる可能性もあり、不安を抱えている（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が短期間で解消できるとは思えない（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・採用を控えるだけではなく、既存の派遣稼働者の終了も目立ってきている。交代なき終了は純減となり、売上に響いてくる（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・製造業のサプライチェーンにて、関連企業の業績が完成品メーカーにも影響が出始めている。設計エンジニアのニーズと、そこに割り当てる予算の縮小が見え、派遣ニーズにもダイレクトに影響が出る（東京都）。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、悪くなる。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、求人を控える事業所が増えている。また、雇用調整助成金の申請を行う事業所が増加している。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	・人材採用予算は後回しになる傾向があり、来年以降も業界は厳しい（東京都）。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	・増員を計画している声を聞かない（東京都）。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、企業が新卒採用を手控える（東京都）。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今は葬儀依頼の3分の2が直葬である。残りの半分は、数人～10人くらいの家族葬、あとは昔のような葬儀である。これからは直葬が増えるかとみている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・やや良くなるとの回答は、願望も含めてである。新型コロナウイルスが少しずつ収束してきているので、今後はエアコン等の販売が伸びていくのではないかと期待している。
		百貨店（店長）	・外出自粛が解除され通常営業になるので、少なくとも今よりはましになる。ただし、当分の間は、以前のように戻ることはないのではないかと。
		スーパー（経営者）	・緊急事態宣言解除で、人も動く。早く経済が上向いて欲しい。先日、イタリアンレストランの経営者と話したら、「6月一杯休業することに決めた。」とのことである。駐車場の固定費がかかり、夜の宴会も取れないということである。これからどうなるか分からないが、できることを着実にこなしていきたい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが多分、収束する方向に向かっていると思うので、やや販売量が上向きになるのではないかと。
	コンビニ（エリア担当）	・外出自粛の影響、学校のリモート授業、3密を避ける観点より、来客数の減少がみられるが、下期以降は自粛から脱すると考える。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・今現在がゼロなので、同じか例年どおりとまではならないまでも、少しは期待したい。
		乗用車販売店（経営者）	・コロナショックで落ち込んでいた新車販売が、自粛要請解除を受けて、徐々に戻ってくることを期待している。「新しい生活様式」で、マイカーの在り方を見直す動きもプラスに作用するのではないかと。
		自動車備品販売店（従業員）	・現在、客単価は落ちているものの、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除に伴って、来客数は伸びてきているので、今月より良くなってくる。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・3か月後は今より良くなっているだろうと思っている。いろいろな景気対策と新型コロナウイルスとの付き合い方で、最悪の状態から元に戻る方法を模索しながら、今、影響を受けている飲食店も、少しずつテイクアウトだけではない形で客が戻ってくるのではないかと、期待を込めて準備をしていきたい。
		高級レストラン（経営者）	・緊急事態宣言の全面解除があり、ある程度の回復は見込める。
		スナック（経営者）	・最悪の時期は過ぎたと思っているので、後は回復するだけだと思いたい。まだまだ大変だが、乗り越えていきたい。
		観光型旅館（経営者）	・ようやく緊急事態宣言が解除されたので、これから徐々に回復してくる。ただし、以前の80%ぐらいまで回復するには1年半ぐらいはかかるのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今月ベースで考えた場合は、新型コロナウイルスへの慣れ、緊急事態宣言解除により、客の動きが出てきて、良くなるのではないかと。しかし、過去にない売上の基準との比較なので、良しあしで考えれば、確実に悪い状況には変わりない。現在でも、この先の受注が大きく動いているわけではないので、極端にプラスに推移することはない。
		タクシー運転手	・ここ2～3日の様子を見てみると、幾らか戻ってきているかという気がするので、希望的な回答である。
		通信会社（社員）	・緊急事態宣言が解除となり、徐々に人の動きも出てきている。まだ慎重な行動が必要だが、営業活動も解禁されれば、現在の状況よりは上昇するのではないかと。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルス感染に落ち着きが見え、自粛要請も解除となったので、6月から縮小営業を開始する見通しである。ただし、すぐに平常時の来客が戻ることはない。インバウンド需要は長期的に戻らず、感染の第2波の懸念もあるものの、ひとまず営業が再開できそうで安どしている。
		商店街（代表者）	・学校もぼちぼち始まりつつあるので、いくらかは回復してくると思うが、今まではクラブ活動等も一切なかったもので、売上もほぼゼロに等しい。
		コンビニ（経営者）	・コロナショックの影響は、しばらく変わらない。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除にはなったが、また、一斉に感染が広がる怖さを皆持っているようで、現状は余り変わらない。来月以降も、そう大きく変化するということはない。
		家電量販店（店長）	・世界経済の減速により、買い控えが発生するとみている。
		その他専門店〔貴金属〕（営業）	・新型コロナウイルスが落ち着くまでは変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスによるコロナショックからの立ち直りには、かなり時間が必要である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除となったので、多少、客の動きも出てくると思うが、大きく動くとは思わない。恐らく7月くらいにならないと無理だろう。
		旅行代理店（副支店長）	・県をまたいでの往來の緩和や、海外への渡航の緩和がされないと、非常に厳しい。新型コロナウイルス感染前の状態になるには時間が必要であり、感染拡大第2波の可能性もゼロではないため、3か月先も上向きになっているかは不透明である。
		住宅販売会社（経営者）	・観光地の人出は自粛解除後もすぐには戻らない。
		商店街（代表者）	・先行きはほとんど見通せない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、今後もまだ景気が悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・段階を踏んで、制限の解除が進んでいくが、まだ警戒心のほうが強いようである。今はまだそう思うのも当然である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・政府の休業要請が解除になったものの、依然として、街中に客が戻って来ていない。この先どうなるか、全く先が読めず、見通しの立たない状態が続いている。営業自粛要請後、毎日仕事で現場に来ているが、客からの電話が1本も鳴らない日が続いている。本当に先のことが読めず、回復するのがどのくらい先になるのか、全く分からない。不安で仕方がない毎日である。
	×	商店街（代表者）	・観光地の店であるため全く先が見えず、この先は不安しかない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスによる余波が、徐々に出てくる。ボーナスも含め、全体的に収入増が見込めない状況では、消費意欲はなくなり、食料品や日用品等の必需品の購入が主になる。先が見えない状況で、小売業の先行きに明るい兆しも見えてこない。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、消費には回らないのではないかと。自粛ということで、消費意欲は減退気味で、これから更に景気は悪くなるような気がする。
	×	スーパー（経営者）	・失業者の増加や夏のボーナス減少で、低価格競争になるかもしれない。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、改善はかなり厳しいのではないかと。
	×	スーパー（副店長）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により外出が抑制され、内食需要が高まった結果、売上が伸びただけで、決して景気が良かったわけではない。現在は緊急事態宣言も解除されたが、売上よりも新型コロナウイルス問題の解決を期待する。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、かなり悪くなる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの治療薬やワクチンが早期開発されることを望む。国からのマスクはまだ届いていない。発表から約2か月、一世帯わずか2枚、これで400億円以上の費用をかけたことが悔やまれる。
	×	スナック（経営者）	・誰のせいにもできない新型コロナウイルスだが、先行きが見えない。当店のよう小さな飲食店では本当にどうしようもなく、万歳する形になりそうである。もう、言うことがない。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの悪い影響が今後も続くと考え、経済的な不安から解約や保留は、一層増していく恐れがある。
	×	ゴルフ場（経営者）	・特に観光産業では、ゴールデンウィークを中心とした繁忙期の売上を回復するのは困難であり、しばらく新型コロナウイルスの影響が響くのではないかと。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが、経済活動が元に戻るかは不透明である。感染予防対策をしての営業をこのまま続けていっても、売上にはつながらない。いずれにしても、非常に厳しい状況は変わらない。
	×	設計事務所（経営者）	・建築設計業務では、今の社会状況の影響が遅れて出るため、設備投資を延期するか様子を見る客が多く出てくるとみている。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・大口受注の対応で、ここ2～3か月は多忙となる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルスによる外出自粛要請が解除され、人の出入りも少しずつ回復していくことが予想される。以前同様とはいかないものの、徐々にイベントや企画など経済活動が増えて、折込広告の出稿も増えると考えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・先の受注情報等がなかなか入らず、不透明である。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、デパート、路面店の客足は以前のように戻っていないため、積極的な仕入れはない。1～2か月は現状の低迷が続く可能性がある。業界内の倒産も懸念材料である。8月の展示会で海外、特に、中国からのバイヤーが入国、購入できるようになれば、それをきっかけに業界の盛り上がりが出てくる。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しないことには、将来は全く分からない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（製造担当）	・6月に入り、本格的に再稼働する宿泊先や飲食店、飲み屋等も、すぐには元には戻らず時間がかかる。新型コロナウイルス感染予防対策にも経費がかかり、売上が減少しても固定費の支払はそのままなので、厳しくなる。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大予防のための巣籠り需要も少しずつ陰りを見せている。商材の特性上、夏は従来から販売が悪化するが、今夏の天候は高温予想で良い材料が見当たらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか分からず、また、収束後も生産活動が元に戻るまでの期間が見通せない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注が減少している。
		金融業（経営企画担当）	・緊急事態宣言が各都道府県で解除されているが、客の購買活動等が回復するにはまだ時間を要し、取引先企業の売上増にはつながらない。当地域の状況を見ても、いまだに以前のような経済活動ができていない。
	×	食料品製造業（営業統括）	・新型コロナウイルスがいつ収束するか分からない状況で、各メーカー共、山積みされた在庫を抱えている。また、秋の原料購入資金も十分に手当てできないメーカーが現れ始め、農家に影響が出る恐れもある。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ふだんでも売上が悪いのに、新型コロナウイルスの悪影響も出てきている。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・夏～秋のイベントも既に中止が決定し、それに伴って、印刷物もなくなる状況で、本当に悪くなる一方である。
	×	金融業（調査担当）	・緊急事態宣言解除後も、県内の観光関連産業では厳しい状況が続く見通しである。また、世界的な景気減速の影響が製造業にも波及してくると、今後更に悪化する可能性がある。どの程度まで持ちこたえられるのか、企業の体力勝負になってくる。人が動かなくても、お金が回る仕組みや政策をひねり出さなければならない。
雇用 関連 (甲信越)		-	-
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の解除により、新型コロナウイルスの影響が収束に向かうという希望と自粛生活からの解放により、購買活動、旅行、レジャー等に反動が出るのではないかとと思われる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスが収束すると思うので、やや良くなる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響が、今後も長引くようであれば、事業所の倒産や閉鎖等の増加が懸念される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響は、すぐには消えないとみている。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・派遣期間満了での契約終了を検討する問合せが増えるのではないかとみている。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		一般小売店〔土産〕（経営者）	・観光需要と都市圏の飲食需要という2つのマーケットが、緩やかに回復すると見込まれる。
		百貨店（計画担当）	・今月よりは客が戻ってくると考えるが、以前の状態にまでは、今後もすぐには戻らない。また、インバウンド客の売上はしばらく計算できないため、別の売上獲得の方策を実行していかなければならない。
		美容室（経営者）	・通常であれば4～5月は行楽シーズンのため忙しいが、新型コロナウイルスの影響で客も外出できず暇であった。夏に向かって来客数が増えることを期待する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されたため、少しは動きが良くなる。この数か月で金が流出してしまったり人や会社も多いため、大きな回復は見込めない。
		商店街（代表者）	・暑い夏が来そうなので、エアコンの需要増加が期待できる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス対策に伴う自粛には戻らないというのが、先行きがやや良くなること条件である。
		商店街（代表者）	・第2波は懸念されるが、百貨店や量販店の営業時間短縮などが解除される見込みである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・自粛解除後も、一部の人の非常識な行動が禍根を残さないことを願う。
		一般小売店〔書店〕 (営業担当)	・現在よりは営業活動が回復すると見込まれるが、新型コロナウイルスの終息後にも一定の制限が続くことが予想される。
		一般小売店〔生活用品〕 (販売担当)	・緊急事態宣言が解除されて、少しは客足が戻ってきたように見受けられる。
		百貨店(企画担当)	・全国の緊急事態宣言が解除され、徐々にではあるが街の出入は増えている。それにあわせて、百貨店の入店客数、買上客数も増えつつあるが、新型コロナウイルスの前の状態に戻るには相当の期間が掛かると考える。会合や旅行を始めとする目的があって初めて百貨店で買物といったニーズが発生することになるので、まずは消費者の行動の変化と、併せて購買行動の変化に注目したい。
		百貨店(経理担当)	・新型コロナウイルスの第2波が来るかもしれないが、もう少し先かと見込まれる。第2波が来たときは、また景気が悪化する。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスの一時収束により、経済活動が再開されて現在よりは改善すると見込まれるが、第2波も懸念され、完全には戻らない。
		百貨店(販売促進担当)	・営業を再開したので、多少は来客数が増える。
		百貨店(業績管理担当)	・新型コロナウイルスの影響が緩和しつつあり、来客数が増えることを期待している。
		スーパー(販売担当)	・新装開店で知名度が高くなり、来客数が今より多くなる。
		スーパー(販売担当)	・たこ焼き粉、ホットケーキ粉やパスタ関連など、入荷しない商品が増えていることは心配だが、来月から営業時間が元に戻り2時間増えるため、売上も増加すると見込む。
		コンビニ(企画担当)	・緊急事態宣言が解除され、この状況が継続すれば徐々に来客数も戻ってくると見込まれる。しかし、前年並みに戻るには相当な期間が掛かるのではないかと考える。
		コンビニ(エリア担当)	・緊急事態宣言の解除から徐々に来客数は増えている。ただし、観光立地、特にインバウンド比率が高い店舗は、回復の見込みが薄い。
		コンビニ(エリア担当)	・緊急事態宣言が解除されつつあり、現在展開予定のエンターテインメントキャンペーンの影響で来客数も改善し、対象商品群の売上が伸張することで全体の数値の底上げを図る。
		コンビニ(商品企画担当)	・緊急事態宣言の解除及び段階的な自粛緩和により、夏に向けて徐々に経済活動がふだんどおりに回復すると見込むが、テレワークの推進や新しい生活スタイルの定着による外出控えの傾向は続くと考えられる。
		家電量販店(店員)	・定額給付金の影響が、不要不急の買物が増えてきている。予算を10万円単位にする人が多い。
		家電量販店(店員)	・政府の助成金が各家庭に給付され始めると、経済にも活気が戻ってくるように見受けられる。そして、再度新型コロナウイルスの感染が広まらないよう社会全体で予防ができれば、景気も回復基調に転じることができないのではないかと考える。
		家電量販店(フランチャイズ経営者)	・今がかなり悪いので、これ以上の落ち込みはないと考える。新型コロナウイルスの第2波の影響が出なければ、政府のバラマキ施策の効果が現れて、現状よりは少し良くなるのではないかと見込む。ただし、前年の売上は超えそうにない。
		乗用車販売店(営業担当)	・新型コロナウイルス対策による活動自粛が徐々に解除され、今よりも消費活動が上がることを期待するが、緩やかな回復にとどまるのではないかと考える。
		乗用車販売店(経営者)	・緊急事態宣言解除後の消費の回復に期待している。
		乗用車販売店(経営者)	・やはり緊急事態宣言の解除以降は行動しやすくなるので、客の来店に期待したい。
		乗用車販売店(従業員)	・5月の落ち込みが一番激しく、徐々に回復していくと見込まれるが、前年並みに回復するのは当分の間難しいと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（営業担当）	・乗客数をみると、緊急事態宣言が徐々に解除されたことで自粛生活から解放された上向きの感覚はある。客の職種によっては余りにも影響が大きく元どおりになることは難しいが、購入を控えていた購買層が、4～5月の反動で動き始めるのではと見込む。
		観光型ホテル（経営者）	・現在は営業を自粛しており6月から営業開始となるため、そこと比較するとやや良くなる。3密を避けることや将来に対する先行き不安等で、景気が元に戻るのには先のことである。少しずつ客足が戻り、弱い景気回復が見込まれる。
		通信会社（営業担当）	・大型通信機器の新規導入と旧機器の更改により、需要増が期待できる。
		レジャーランド（職員）	・5月は部分的な営業だったが、6月はほぼ通常の営業態勢に戻る。団体客取消し分の取り返しは難しく、引き続き出控え感も残ると見込まれる。県外からの来訪を自粛する要請が5月末までとなっており、6月からは他県からの来場も見込めるため5月よりは改善が予想される。
		ゴルフ場（支配人）	・7～8月の予約数は多少増えてきたが、前年同日比でみると7～8割程度である。今後は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除に伴いもっと増えてくると考えられるため、少し景気は良くなる。
		美容室（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたため少し見通しは明るくなったが、第2、第3の波が怖い。
		設計事務所（職員）	・感染拡大前の状況に戻るが、新型コロナウイルスの影響は大きく、景気は良くないと考える。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・繁忙期と新型コロナウイルスが重なり売上は減ったが、緊急事態宣言の解除と同時に少しずつ反響が戻りつつあるので、少し期待しつつコスト削減にも力を入れていく。
		商店街（代表者）	・客の動きは少し出てきたが鈍く、生活に密着したイベント等が開催されないと売上には影響しない。
		商店街（代表者）	・3か月後には個人への給付金も給付されていると見込まれるが、緊急性の低い物は売れない。消費活動は特定の業界に限定され、金回りには偏りが出ると考える。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの終息する時期は予想が付かない。
		スーパー（店員）	・今年りんごの値段が高い。すいかも入荷し夏本番となるが、余り奮発しようという様子は見受けられない。
		スーパー（総務）	・食料品の売上は非常に良いが、衣料品、日用品の売上が良くない。結果的に新型コロナウイルスが終息しなければ、景気は良くならない。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言の解除に伴い徐々に来客数は増えていくと見込むが、それでも以前のような人の動きにはならず、状況を大きく打破できるとは考えられない。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの影響が今から一層現れてくると見込まれる。短期的な回復は難しい。
		衣料品専門店（経営者）	・バーゲンセール時期になるが、値段にシビアになっているため購買意欲が低い。
		衣料品専門店（売場担当）	・緊急事態宣言が解除されたことにより街中の人通りも増え、景気回復を期待したい。しかし、実際は多くの国民が新型コロナウイルスの第2波到来を不安視しており、現状維持が精一杯で回復は見込めない。
		乗用車販売店（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの終息はみえないので、先が読めない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスが点検や修理の仕事に影響することはないが、販売は鈍化する。緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常を取り戻せば、おのずと販売の方にも活気が戻ると見込まれるが、まだまだ見通しが立たない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が経済的にはあるため楽観視はできないが、外出自粛の反動が問合せも多くあり、売上も伸びると期待する。
		乗用車販売店（従業員）	・乗客数も戻らず、売上も下がったままで、良い状況になるとは見込めない。特別給付金がどこに回っていくのかが気になるが、自動車に金を掛けてもらえるような話は皆無に近いので、しばらくは先がみえない状況が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響により大きなダメージを負ったため、すぐには景気回復できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・全国の緊急事態宣言が解除され少しは消費マインドが上昇するが、厳しい状況は変わらない。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・宝飾品はぜいたく品と認識されているので、景気が悪くなると最初に自粛され、景気が上向いてきてもすぐには購買対象にならない。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・6月から通常営業に戻るが、しばらくは巣籠り需要が続くと考えるため売上は伸びるのではないかと見込んでいる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・緊急事態宣言解除となっても、余り変わらないと見込まれる。元に戻るには時間が掛かる。また、来年の東京オリンピックの件も未知数である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス46.6%、来客数は前年比マイナス47.4%で、4～5月はこの状況が継続している。緊急事態宣言解除後の5月中旬以降は、前年比80～90%に戻ってきている。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルスの影響は長期にわたると見込まれ、客の節約志向が続き、3密やソーシャルディスタンスを意識したなかで飲食店の運営も見直しが求められる。テイクアウト等、商品構成の変更により補完しているが、その分野も競争が厳しい。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、心理的に回復しない。
		一般レストラン（経営者）	・先行きに不安もあり、外食に使う金が減っていくと考える。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの終息は、まだ時間が掛かる。
		観光型ホテル（支配人）	・自粛要請は緩和されたが、施設としては宴会場の利用人員は100人未満というような再開における細かな約束事が多く、それに見合った体制整備に苦慮するばかりである。なかなか宴席は戻ってこず、宴会予約がない状態は来月以降も続き、夏過ぎまでは何も望めない。ただし、宿泊の予約は、若干ではあるが20%近くまで回復してきている。
		都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がどれくらい企業にあるかは分からない。インバウンド客は当面変わらないと見込まれるので、国内の需要でどれくらい客を獲得できるかで今年の状況が決まる見通しである。
		旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、国内移動制限がどのくらい回避されて旅行ができるか、予測ができない。6月から国際線の便数も増えるようだが、渡航14日間措置が回避されない限り海外旅行は難しい。夏のピークシーズンをどうしたらいいのか分からない。
		旅行代理店（営業担当）	・7月からのGOTOキャンペーンや県、市町村で実施される観光業救済の経済支援対策には、この数か月間のマイナスを穴埋めできるほどの効果や期待が持てない。新たな生活様式に準ずる旅行形態の変化は、今までの形態の半分の収益しか生まないので、今後の旅行・観光業の在り方も考えていかなければならない。
		旅行代理店（営業担当）	・国内旅行が徐々に回復しそうな報道、風潮はあるが、現状の数字には現れていない。反転攻勢は急がずに、政府には特にインバウンドの受入れ緩和は慎重に判断してもらいたい。
		タクシー運転手	・2～3か月では良くなる様子はない。人出がなく見通しが立たないため、景気は変わらない。
		タクシー運転手	・依然として厳しい状況が続いている。4月から稼働率を下げ、5月中旬から更に下げたが、売上は伸びない。緊急事態宣言が解除されたため少しでも客足が戻ることを期待はしているが、現状は難しい。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが落ち着くまで、インターネット回線の需要はあると見込まれる。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、政府にしっかりとってもらいたい。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの影響が分からない。
		美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波が来るのではないが、不安である。
		美容室（経営者）	・社会的にみても先の見通しが立たず、この状況は当分続くと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・緊急事態宣言が解除されたので営業を再開したが、すぐに受注が元に戻るかは不安な状況である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第2、第3の波があるのではないかと懸念する。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・トンネルの出口が少しみえてきた。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・緊急事態宣言は解除になったものの、第2波が来ることも否定できないため、生活必需品以外の業種の景気は更に悪くなると見込む。収入も減り、節約志向が高まることを懸念する。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・5月はホテル、宴会場等のイベントが中止となり贈答品もなくなった。3か月後の予約状況もキャンセルが続いており、多少は売上が上がるかもしれないが新型コロナウイルスの影響はまだ続いていると考える。
		百貨店（売場主任）	・来月はクリアランスセール準備が始まるが、人が密集する前年のやり方はできない状況のため、売上は厳しくなる。
		百貨店（販売担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、以前のようにはない。新型コロナウイルスの終息時期も分からないので、しばらくは厳しい。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、在宅効果もなくなって通常に戻ると、少し悪くなるのではないかと懸念している。
		スーパー（店長）	・ボーナスカットが決定している企業もあり、ぜいたく品には金を掛けられないのではという見込みである。旅行もまだできず、食に対する出費の割合は変わらないが、高単価の物の動きは鈍くなると考える。
		スーパー（店員）	・景気の先行きがどうなるか分からないため、客も慎重に買物をしている。今後は財布のひもが堅くなっていく。
		スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの状況が大きく影響するため何ともいえないが、景気はやや悪くなるのではないかと見込む。生活も通常に戻りつつあるため、食品は以前の状態に戻り、ここ2か月間のような前年からの伸長は難しいと見込む。
		スーパー（経営企画担当）	・経済の悪化で、更に売上が減少すると考える。
		コンビニ（店員）	・春休みやゴールデンウィークに旅行を控えた人が多かった分、夏休みは帰省や観光に出掛ける人が多くなり、暇になる。
		コンビニ（本部管理担当）	・全国的な緊急事態宣言も解除され、客の動向を注視したい。一般的に考えれば、来客数は回復傾向になると見込まれ景気動向は上向きになるところだが、個人的には予断を許さない状況と考えている。
		乗用車販売店（営業担当）	・恐らく夏のボーナスは減額されるため、消費よりも貯蓄に回る。
		一般レストラン（経営者）	・恐らく例年に比べて売上は落ち込むかと見込まれる。秋頃までは、現状維持なら良い方である。当地でも緊急事態宣言が解除になり国道も車が多くなってきたので、この状態がずっと続けば良いと考える。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・政府による緊急事態宣言が解かれた後も、自粛ムードは変わっていない。また、営業日数の短縮や残業のカットで給与が下がってしまった人も多く、消費を控えようという声を聞く。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発が望まれる。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの第2、第3の波があれば、薬が開発されない間は客の増加は難しい。インバウンドも受け入れれば感染が増える。年末に向けて宴会需要が本来はあるが、今年はほぼない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響から節約のための解約も出始め、競合他社による訪問営業も行われているようで、厳しい環境になってくるように見受けられる。
		通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルスの影響が収束してテレワーク等がなくなれば、販売量も減るので景気は下降すると見込まれる。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの影響で夏休みが縮小し、8月の来客数は減少する見込みである。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの第2波も予想され、また営業自粛などが行われると景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・これから営業自粛の影響が現れてくると考える。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・新型コロナウイルス対応で外周りの仕事以外キャンセルが続き、せんだ仕事の前倒しをお願いして社員の仕事を作っている。この先回復に時間が掛かることが心配である。
	×	一般小売店〔書店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でまだ景気は悪化する。1年は景気が戻らない。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・休業自粛解除後も、以前のような飲食店利用の回復は考えられない。
	×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスにより、消費マインドがリーマンショック以上に急激に落ち込んでいる。外出できる安心感がなかなか回復せず、家の中や身近での消費が多くなることが見込まれ、来店型の百貨店としては非常に厳しい状況が続くものと想定する。
	×	百貨店（経理担当）	・先進国では新型コロナウイルスの一時的な収束がみられるが、インドや南米など感染拡大中の国においては、まだ相当の時間を要すると考える。
	×	百貨店（販売担当）	・営業再開後も前年並みに回復はしていない。厳しい状況である。
	×	スーパー（経営者）	・良くなる要因がない。
	×	スーパー（店長）	・5月途中の緊急事態宣言解除により百貨店や外食産業が営業を再開したことで、来客数が前年より減少した。今後は各社共に販促を強化し集客対策をしてくるため、状況は厳しくなると考える。
	×	スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、経済活動が以前の状態に戻ることはない。
	×	スーパー（営業企画）	・緊急事態宣言の解除により外食が増え始めるので、スーパーの売上は伸び悩むと見込まれる。景気全体は、当面は経済の停滞が回復せず悪化する。
	×	スーパー（支店長）	・とにかく新型コロナウイルスが全ての経済を足止めしている。国の対策も有り難いが、個人としても何かできることを見付けて経済が回るようにしていかないと大変なことになる。早いところワクチンや治療薬が世に出てほしい。
	×	スーパー（販売担当）	・米国製の食品保存袋が供給縮小という情報が伝わってきたり、マスクや消毒薬の品不足解消が購買意欲の後退につながったり、従来なら売れるはずの季節商材の売行きが悪化が考えられる。
	×	コンビニ（店長）	・今月末までに休業要請が解かれ営業を再開したが、客足は戻っていない。商品の入荷も品切れが多い。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス発生前の状態に戻るには、相当な時間が掛かると考える。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で消費マインドがどの程度落ち込むのか想像も付かない。非常に悪い状況が続くのではないかと危惧している。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	・問合せも来客数も激減している。
	×	乗用車販売店（従業員）	・客からは、仕事が再開されても今後ボーナスが減るのではと思うと今は車を検討するような気分にはなれないと言われるように、客の購買意欲は弱くなっており、まだしばらくは回復してこないように見受けられる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で仕事や生活が大きく変化しており、この状況はしばらく変わらない。建築業界は厳しい状況が先々まで考えられる。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・先行きが見えず、景気が悪いとしかいえない。2～3か月先に期待する。
	×	一般レストラン（従業員）	・休業の協力金を申請したが、まだ振り込まれていない。何らかの政府の手厚い融資がなければやっていけない。
	×	一般レストラン（従業員）	・第2波に備えている。
	×	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・徐々に底辺から崩れていく。
	×	都市型ホテル（従業員）	・インターネットの予約から、景気は悪くなっている。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息後における経済活動への啓発の取組が遅い。
	×	旅行代理店（経営者）	・全く先が読めない状況である。旅行の回復は年末くらいになるのではないかと見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	旅行代理店（経営者）	・8月末にはターミナル駅前高層ビルの大規模物販店が退店となる。再開した飲食店も、以前の半分の客席での営業となるため稼働率、回転率の回復は当面見込めない。インバウンド客が今後、数か月以上見込めない上にテレワークなどが浸透して、駅前の往来も以前のように戻らないのでますます悪化が見込まれる。新型コロナウイルスのワクチンや治療薬が普及するまでは、3密禁止で企業活動はますます苦しくなっていく。給与所得者の収入減によって消費財の購入が減り、連鎖的に製造業に波及していくなかで、飲食店やタクシーなどのサービス業ばかりでなく様々な業種で幅広く売上が減少していくと考えられる。
	×	通信会社（営業担当）	・新生活様式になっても以前のように戻らない。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスが終息しない限り難しい。
	×	パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス対策のための休業要請を受入れ、相当日数休業したため、客の戻りが不安定である。
	×	理美容室（経営者）	・まだ皆が出掛けたりしないため、景気が悪くなる。
	×	理容室（経営者）	・しばらく店は暇である。
	×	設計事務所（経営者）	・良くなる要素が一切ない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・第2波、第3波の新型コロナウイルスの発生を考えると先行きが分からず、不安が一杯である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・客の勤め先の状況にもよるが、圧倒的に収益が落ちるはずである。ボーナスがどれだけ出るのが、安心して購入できるかにも掛かってくるが、正直なところ厳しいように見受けられる。新型コロナウイルスのワクチンができて日常に戻るまで、1年では厳しいと見込む。
	×	住宅販売会社（従業員）	・賃貸住宅の外壁塗装工事等については、少々の受注はあるが、新築やリフォームを希望する消費者の気持ちが冷めており、今後の受注が不安である。
企業 動向 関連 (東海)		通信業（総務担当）	・即時というわけではないが、ビジネス活動が回復していくはずなので、それに伴い多くの業種で景気が戻ると考えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが終息に向かい、客先の業界の休業も明けてくるため設備投資があり、少しは景気が上向きになると期待している。
		通信業（法人営業担当）	・V字回復は望むべくもないが、各経営者、従業員、個人で生き延びる知恵を發揮し策を総動員していかないと元に戻る状況ではないと考える。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込チラシの自粛は徐々になくなると期待する。
		会計事務所（職員）	・一番影響の大きかった飲食店の客足が緊急事態宣言の解除後、徐々に戻りつつある。テレワークを解除する会社も一部あり、打合せなど面談が必要な仕事もできるようになってきた顧問先もある。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルス禍で影響を受けたものと受けなかったものがある。平等に降り掛かった災難であるが、景気への影響を受けるものと受けないものが混在し、受けるものは悪くなる。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも低調で、先行きの見通しを立てにくい状況である。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・5月からは北米の自動車部品メンテナンスメーカーも少しずつ生産を開始するが、新規の設備投資をすどころか、改造の予算も獲得が難しいという状況である。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量が変わらないと見込む。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・しばらく新型コロナウイルスの影響が残ると見込まれる。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・状況が余りにも悪いと、将来のことは推測不能である。
		建設業（営業担当）	・今までは普通に営業していた取引先も、営業を再開しても営業ができていなかったり、支払等の関係でこれまでの仕事もどうなるか分からない。取引先の考え方が今後変わってくることもあるため、景気はどちらともいえない。
		輸送業（経営者）	・多くの製造業は受注残がなくなり次第、物量が減少すると見込まれる。
		輸送業（従業員）	・緊急事態宣言が解除されても以前のような受注量に急に戻るには考えにくい。客の中には既に経営状態が悪くなっているところもあると聞く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（エリア担当）	・先がみえない。
		輸送業（エリア担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、人の動きは悪く、荷物の動きも回復には時間が掛かると見込む。
		広告代理店（制作担当）	・客の経営状態も悪化しており、新型コロナウイルスの影響が収束しても、広告の発注を自粛せざるを得ないように見受けられる。
		会計事務所（職員）	・緊急事態宣言が解除され、一部の取引先からは、来客数、受注数等が元どおりとはいかないが、一番低迷していた状態からは脱したという話を聞く。また、金融機関からの新型コロナウイルス関連の融資や国からの持続化給付金等の支援を受けることができている企業も多く、これ以上の景気悪化は避けられるものと見込んでいる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・新製品開発が上手くいき完成まであと少しである。前年同期よりも少し業績が良く何も悪くない状態であるが、周りの取引先が余りにも悪い状況であり、どのように対応していけば良いか考えが付かない。
		食料品製造業（経営企画担当）	・7月以降の回復に期待したいところではあるが、V字回復は見込めそうにない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・同業他社ではかなり落ち込んでいるところもある。新型コロナウイルス対策で営業活動が制限されるため、新規開発の話が進まずジリ貧である。
		金属製品製造業（従業員）	・現実には建設工事が一時ストップしていた影響が必ずあるため、業界的に長く影響が出るであろうが、悪化度合いの程度が計り知れない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により、受注減や完全に停止するというような環境がしばらく続くのではないかと、客や取引先からは聞こえる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・影響はないのかもしれないが、通信機器取付工事の遅れや客先の設備投資意欲がやや減退するなかで、どこまで落ち込むのか分からないというのが不安である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先のラインで新型コロナウイルス感染症が数件発生し、ラインストップが1週間あった。緊急事態宣言の解除で同じようなことが起きる可能性もある。当分の間、欧米の生産状況が変化するとは思えない。
		建設業（役員）	・5月後半の緊急事態宣言の解除後は、少し客の動きがある。しかし、まだ先行きには不透明感があり客の不安感が払拭できていないので、成約には結び付いていない。
		不動産業（経営者）	・6月は例年同様に曇りや雨の日が多くなる予報であるが、今後も新型コロナウイルス問題が少なからず続くと思込む。公共交通機関の利用者が減少している間、景気は厳しい状況が継続するが、売上は少しずつ改善傾向になっていくとみている。
		行政書士	・新型コロナウイルスの影響を受けている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・営業活動が停滞したこともあるが、電話・テレビ会議等の手段で継続し、緊急事態宣言の解除で訪問も可能となることから、徐々に案件が発生していくと期待する。
	×	食料品製造業（営業担当）	・取引先の多くでは新型コロナウイルスの影響が大きく、数か月での回復の兆しはない。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不透明であり、収束の見通しも立たず先行きは悪化する。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・全ては新型コロナウイルスの影響である。経済活動が1～2か月ストップしたが、今後は更に企業倒産や雇用を奪われる人が増えてくる。
	×	化学工業（営業担当）	・在庫積み増し先について、今後は在庫調整に入り出荷量が減少する見込みである。
	×	鉄鋼業（経営者）	・自動車を始めとするモノづくり企業の工場で、一時帰休が5月から本格化している。この影響が出るのは6月以降となり、今よりも減少幅が広がるのは必至である。
	×	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・米国の航空業界が正常に戻るまでは、しばらく景気は下がり続ける。
	×	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・更に新型コロナウイルスの影響が増大しそうである。
	×	建設業（経営者）	・政治家が他人事のように対策に緊張感がみられない。
	×	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響に伴い、新しい生活様式が確立されない状況の中、今までどおりの経済の繁栄はみえてこず、予想も付かない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの対策として、外に出るのではなく、内側で人との接触を避けることがまん延しているため、消費が減少する。このままでは景気が悪化する。
	×	通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で売上激減の企業に対して、投資を伴う提案をすることさえためらう状況である。我が国の企業、日本人の奥ゆかしい気質は、遠慮を生み出す。これでは足元の状況がしばらく続いていくと考える。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で事業がうまくいかず助成金や補助金の申請をしても、反映が遅い。反映されたとしても事業が元に戻るには時間が掛かり、事業者達は将来的に不安を抱えている状態である。
	×	金融業（企画担当）	・新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言は解除されたが、従来の日常に戻るには当面時間を要すると見込まれ、それが落ち着くまで、業績の回復も期待できないとみる企業が多い。
	×	不動産業（経営者）	・緊急事態宣言の影響を身近に実感するため、物件の現金化を進めるが、売却先の選定が困難になってくると考えられる。
	×	公認会計士	・政府等による新型コロナウイルス対策が功を奏しているように見えるが、今後、思ってもみない形での経済への悪影響もいろいろあるかもしれない、大恐慌の可能性も考えられる。
雇用 関連 (東海)	-	-	-
	-	-	-
		人材派遣会社（社員）	・取引先が営業を再開しても、職种的に以前のように戻るには時間が掛かる。
		人材派遣会社（企画統括）	・当面は新型コロナウイルス感染再拡大の不安があるため、景気動向は不透明な状況が続く。
		人材派遣会社（営業担当）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は収まらず、企業は派遣利用に二の足を踏むと考える。職種にもよるが、1年ほどは求人数は増えないと見込む。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車メーカーや工場によっては、海外輸出の動きや人気車種、新型車種製造ラインの9月頃までの生産見通しが立ち、新型コロナウイルス発生前の生産体制となり、やや良くなると見込む。ただし、一部のメーカーや工場のため、全体的には変わらないと考える。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除に伴い動向としては良くなるが、すぐには反映されず、まだ悪化が続く見込みである。
		職業安定所（職員）	・経済対策の規模が大きくなり、離職者が急増はしておらず安定している。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の解除に伴い人の移動がどれほど多くなるか、移動が多くなった場合に新たな感染拡大が起こらないか等、不透明なところが多い。
		職業安定所（次長）	・求人者を中心とした新型コロナウイルスに関する動きに、若干の落ち着きが見られる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・登録者数は職種によってばらつきがあるものの、そこまで大きな変化はない一方、求人数の急激な増加も見込めないため、有効求人倍率は引き続き低く推移する可能性が高い。転職市場は買手優位に移る傾向が見受けられる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・特に変化の兆しが見受けられない。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・新型コロナウイルスの影響で止まっていた求人等が動き出してきており、景気は上向き傾向に見えるが、企業規模や業界等により、余力がない企業にはこの間の損失補填をどのようにしていくかという課題があり、前年並みの求人数へ戻るかは見通せない。変わらないと判断しているが、先行きが不透明な状態が続くという意味でもある。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが主因ではないが、主要客である自動車メーカーの一部部署から、委託先に対する年間予算を前年比で5%削減すると通達されている。具体的には10月以降の削減となるため、2～3か月後は現状の予算は変わらないものの、新規案件獲得は厳しいと見込まれるため、景気はやや悪くなる。
	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が今後どうなるか見通せない。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止又は延期となった採用試験について、いまだ実施予定が告知されていない。	
×		人材派遣会社（経営企画）	・想定ほどの急激な悪化ではないが、来月以降の更なる悪化も見込まれる状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	人材派遣業（営業担当）	・現状のまま回復しない場合、残り3か月は持ちこたえられるが、それ以降は事業継続が厳しいと認識する経営者が、小規模になればなるほど多い傾向にある。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの完全終息がみえないなかで、全く先が見通せない。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・多くの企業で新型コロナウイルスによる業績の落ち込みが大きく、数か月での回復は見込めず1年以上掛かると見込んでいる。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・緊急事態宣言解除後の動きが読めず、手探りの活動再開になる。雇用調整をせざるを得ないところは多いと考える。
	×	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないなか、雇用調整助成金を活用するなどして雇用を維持している企業も、長期化すると体力が持たなくなる。
	×	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの影響によるが、緊急事態宣言が解除されても消費者のマインドはなかなか元に戻らない。
	×	職業安定所（次長）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、新規求人数の減少が続いているほか、現在の雇用を維持しようとする事業所から、雇用調整助成金の支給申請が急激に増加している。先行き不透明感から景気回復が見通せない状況がうかがえる。

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)		コンビニ（店舗管理）	・現時点でも新型コロナウイルスの影響からの回復が徐々に見受けられる。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・全国の緊急事態宣言が解除され、自粛も少しずつ緩和し、経済は今よりも回っていくと考える。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルスの影響に関して、今後の見通しが判断できるとはまだいえないが、徐々に回復していくと考える。政府の景気対策にも期待している。
		旅行代理店（所長）	・緊急事態宣言の解除や国の援助策による旅行支援が発表され、旅行需要喚起が行われ始める。ただし、新型コロナウイルスの第2波、第3波が心配されるなかで旅行需要がどこまで回復するか懸念している。
		タクシー運転手	・今が最悪の状態これから自粛が徐々に解消され、経済も人の流れも少しずつ回復傾向になると考える。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除による規制緩和により、受付可能な手続きが増えてスタッフ数も戻るため、一定数の販売につながるのではないかと考える。
		通信会社（役員）	・前年同期に比べれば契約数は減少すると考えるが、緊急事態宣言の解除により、今よりは契約数の増加が見込める。
		住宅販売会社（従業員）	・今が最悪の状況であり、緊急事態宣言が解除され、徐々に通常に戻っていくと考える。在宅勤務ができる業務と難しい業務があり、営業方法については、予約制で行う見学会などは集客が限定されるため、今までのように多くの見込み客情報が得られない。契約数と契約金額を戻すには時間が掛かると考える。
		住宅販売会社（営業）	・緊急事態宣言が解除されたことにより、一定程度の客足が戻るとみている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・たとえ感染者数が低下したとしても、これだけ自粛生活が長く続けば外出などは以前より減って、経済活動もずっと低迷すると考える。
		百貨店（売場主任）	・今月が底と考えた場合、2～3か月先は多少上向くと考えるが、新型コロナウイルスによる感染拡大の第2波が来るのか来ないのか見通せない。仮に来た場合のダメージが大きすぎる。再度営業自粛や臨時休業となった場合の損失は計り知れない。
		百貨店（営業企画）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのまん延は少しずつ状況が良くなっているようにみえるが、第2波の不安も拭えないため、引き続き外出自粛ムードが続くと考える。
	スーパー（店長）	・今後も現状の生活様式から大きな変化はないとみている。企業側の対応が重要になってくるが、今のところ打開策はない状況である。	
	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響による不透明感に加え、給与やボーナスの減少が不安である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・同業者の話では、持ち直してきている店舗もあるようだが、当店はまだまだ新型コロナウイルスの影響があり、回復の兆しが見えてきていない。この状況が変わらないとは考えたくないが、新型コロナウイルスによる第2波の報道もあり、良くなる理由が見つからない。どうにか運営ができていく状況だが、この状況があと数か月続いてしまうと、人員整理を含めた生存策を具体的に考えていかなければならない。
		衣料品専門店（店舗運営）	・消費に対する価値観の変化が購買動向にどのような影響を与えるか、現時点では分からない。
		家電量販店（店長）	・猛暑が冷夏かに左右されるが、夏物商材であるエアコンは例年と変わらない見込みである。
		乗用車販売店（経営者）	・6月からは学校もスタートするようだが、経済全体の動きが戻るまで日数が掛かると考えるので、高額商品の購入はもう少し先になるとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、先が見えない状況が続いている。
		乗用車販売店（役員）	・全国的に緊急事態宣言が順々に解除され、街中への人出も少し増えているようだが、消費の回復といった点では緩やかなものである。また、報道でも懸念されているように秋以降の第2波、第3波の新型コロナウイルスの再流行を考えれば、本格的な経済回復は来春以降まで期待できないのではないかと考える。
		自動車備品販売店（役員）	・自粛要請の解除など、経済回復の動きが高まってきているが、夏の各種イベントの中止や新型コロナウイルスによる第2波の感染被害拡大の懸念もあり、回復は長期戦になると考える。
		住関連専門店（役員）	・6月に終わる予定の消費者へのポイント還元事業や、新型コロナウイルス感染症への給付金対策などにより、ある一定の消費は考えられるが、どれも持続性のあるものではない。また、新しい生活様式の浸透もあり、消費の方向性の変化が懸念される。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・休業していた状態以上に悪くなることはないが、新型コロナウイルス発生以前の来店状況に戻るには相当の時間が掛かると考える。
		一般レストラン（店長）	・緊急事態宣言は解除されたが、客足は戻らない。この状況がいつまで続くか分からない。
		観光型旅館（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ人は動きつつあるが、感染予防を徹底することにより新しい営業スタイルを構築しなければならず、先行きが見通せない。また、インバウンドは1～2年は厳しい状況が続くとみられる。国内での旅行需要喚起に向けたGoToキャンペーン事業を政府は計画しているが、長期的に考えると客の取り合いによるダンピング合戦など不安要素しかない。
		通信会社（職員）	・未入金増加を懸念している。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で営業時間が短縮となり、来客数が減少している。緊急事態宣言が解除されれば客足が戻ってくるとみられ、変わらないと考える。
		競輪場（職員）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況が不透明で、先を見通すことができない。
		美容室（経営者）	・ここしばらく景気は、これ以上良くも悪くもならないという雰囲気である。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響で休業していたが、再開してからは店頭の売上はそこそこ良い。しかし、景品などの売上がほぼなく、その落ち込みが大きいことからなかなか売上が取れない状況である。これから終息に向かうにつれて期待を持ちたいところだが、ゴルフの景品などが売上に繋がってくるかどうかという心配はある。ギフト関連の動きが出てくれば、まだまだ売上は良くなっていくのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売担当）	・計画していた各種集客企画、食の催事が中止となり、現状は厳しい。しかし、社会全体が新型コロナウイルスに対応した生活に慣れてくることもあり、更なる悪化は少ないと考える。夏のボーナスが大幅に減るという見方があるなか、消費を控える傾向になるとみている。百貨店は高額商品の扱いもあるが、高所得者は先を考え、資産価値の低いものの購入を減らす。また、一般客も夏休み期間の減少に伴う旅行減や、仕事の仕方の変化による出張減など、お出掛け需要が減るため、これらの衣料や雑貨品の需要も大きく減るとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されても、しばらく客の動きは鈍いと考ええる。
	×	商店街（代表者）	・気の緩みを注意する報道があり、客に来店を促すような雰囲気ではない。新型コロナウイルスの第2波も懸念されており、消費税の引上げによる落ち込みを上回る不景気が当分続くのではないかと考える。平生に戻るのにはまだまだ先のである。
	×	商店街（代表者）	・体力的にげい弱な店舗が多く、この状態が長く続けば、倒産やアーケード街からの撤退も余儀なくされる店舗が増加しそうである。
	×	商店街（代表者）	・一番集客力のある美術館の開館が6月末となっている。また、観光客のメインである関東周辺からの来訪の見込みが全く立たない。元々梅雨はオフシーズンなので、新しい生活様式のなか、前年を確保できる販売方法を模索していきたい。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で再度経済活動が制限され、ますます冷え込む。
	×	百貨店（販売促進担当）	・商品供給が非常に不透明である。春夏物が確保できても秋冬物が見通せない状況である。
	×	スーパー（店長）	・収入を含め、先が見通せないなかでは購買意欲は出ない。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・店舗がやっと再開し始めたが、まだ自粛ムードや新型コロナウイルスに対する恐怖心が抜けず、客足の戻りは鈍い。
	×	家電量販店（店長）	・先行きが不安で極力出費を抑えたいと考えている客が多く見受けられ、1品単価や購入点数に影響が出てきている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・3か月先にワクチンや有効な薬ができるというのであれば少しは変わってくると思うが、現状では悪くなる方向だと考える。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・企業の接待や会合、県外からの団体客など、主要の客層が戻るのには数年先だとみている。
	×	スナック（経営者）	・社会の変化や国内外の要因、倒産や解雇など不安材料ばかりで、どうなるか分からない。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・5月は完全休業し、緊急事態宣言の解除動向を判断して6月5日より営業再開の準備をしている。しかし、県境をまたぐ移動の自粛制限が解除されていない現状では、予約の受注を開始しても回復には相当の時間が掛かると考えている。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・3～4月に比べ5月の売上は更に悪く、回復の兆しがみえない。補助金の手続きをしているが、今のところ全く入金がなく、資金繰りはとにかく厳しい。
	×	タクシー運転手	・観光関係の仕事は全くない。県外からは技術系の出張者が多少増えるかもしれないが、営業系では増えないとみている。夜は多人数で出掛けることは、まだないと考える。
	×	テーマパーク（役員）	・先行きの予約状況や問合せをみても、団体、個人にかかわらず客は様子見のようでも動きはみられず、前年同月比でみても悪くなると考える。
	×	パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、個人も企業も資金繰りがますます厳しくなり、最低限の経済活動になると考える。
	×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・6月1日から縮小規模ながら営業を再開するが、会費を納入する会員の大幅減で、人件費をカットしていても、大幅な赤字を免れない状況である。先行きが全くみえない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がそれぞれの法人にどれほどの業績悪化をもたらす、個人消費に影響を与えるのかはまだ分からない。
企業 動向 関連 (北陸)			
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルスの影響が一段落したとしても、以前と同じ状態までに戻ることはないだろう。ただ、少なからず現状よりは上向くだろうと考えている。
		化学工業（総務担当）	・受注量が増加傾向にある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（営業）	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の全面解除を受けて、新たな見込み案件作りからのスタートとなる。どれだけ企業活動が回復できるか不安ではあるが、期待したい。
		税理士（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられて、少なくとも秋になる前までに落ち着くことが前提ではあるが、その場合には4～5月にたまっていた需要へのマインドが、6月以降に復活する可能性が高いと考える。なるべく秋になる前に対応を済ませておこうという経営者の思いもかなり強いことから、これから3か月の間は、新型コロナウイルスの感染拡大さえ止まっていれば、持ち直していくのではないかと考えている。
		繊維工業（経営者）	・取引先は非常に慎重である。事業環境は非常に悪すぎる状況で、3か月先の先行きも引き続き大変悪い状況が続くと考える。
		精密機械器具製造業（役員）	・一部の店舗では営業が再開しているが、現時点ではサプライチェーンの上流まではまだまだ影響が届いていない。また、新型コロナウイルスの第2波、第3波への不安がますます増加しつつある。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大による影響は当分続くと考える。終息までは経済の回復も厳しいものとみられ、当社に関わる建設業界や自動車業界のみならず、経済全般での大きなマイナス影響は避けられない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・生産活動が戻らないと設備投資が動かない。人々の生活が落ち着いてからでないと受注が戻らないとみている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響による国内外の移動制限が落ちてきたことから、足元の受注量の落ち込みはみられないが、景気回復に時間が掛かることが予想される。それを受け、休業の日数も増やさざるを得なくなっており、当面の間、厳しい状況で推移する見込みである。
		輸送業（役員）	・自粛の反動が出てくる。
		金融業（融資担当）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたとはいえ、依然として各企業の売上は厳しく、回復にも時間が掛かり、第2波が深刻化すれば、更なる景気悪化となる。それを見込んだ資金調達の動きがあり、景気悪化を危惧する声が多い。
		金融業（融資担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、経済活動の本格的な回復には時間を要する。経済対策が不十分であれば失業や倒産が増加する懸念もある。
		不動産業（経営者）	・いろいろな話を聞いたなかでは先々の見通しが全く立たないし、今の時世では自分たちも希望が持てないということで、やや悪くなると考える。
	×	金属製品製造業（経営者）	・受注が減少し続けている。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言は全国的に解除されたが、現在のような状況は3か月くらいでは回復しないと考える。
	×	建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息見通しが立たない。
	×	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・新型コロナウイルス禍のなか、各業種で広告自粛の状況となり、前月よりも前年比がより一層落ち込んでいる。広告主側のチラシ出稿は、自粛が解除されてもすぐに回復するとは見込めない。
	×	司法書士	・運送業等、一部忙しい業種もあるが、飲食業などの小規模事業では事業の継続が難しいという話が多い。
雇用 関連 (北陸)		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が現状より収まれば、多少の落ち着きがみられると考える。
		人材派遣会社（社員）	・企業の縮小や派遣切りにより求人が減少している一方、求職者もまだまだ自粛しており、求職自体が出てこないのではと考える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新規に人を採用する、あるいは採用できる状態ではない。
		人材派遣会社（役員）	・派遣契約の終了が目立ち始めている。新規の需要も少ない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・自動車や旅行など一部業種で回復の兆しがみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・全国を対象とした緊急事態宣言は解除されたものの、すぐに人の動きが戻るとは思えず、消費マインドも以前のように回復するまでには相当な時間が掛かると考える。
	×	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、求人数が大幅に減少している。緊急事態宣言の解除後も求人数は伸びていない。雇用調整助成金の支給申請書の記載方法について問合せが増加している。
	×	民間職業紹介機関(経営者)	・休業等で収入の減少した人が増え、以前のような消費に戻るまでは時間が掛かりそうである。
	×	学校〔大学〕(就職担当)	・企業の採用活動が休止したままで、回復する見通しが得られない。

8. 近畿(地域別調査機関:りそな総合研究所株式会社)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		コンビニ(店員)	・外出の自粛が終わり、通常の社会生活に戻れば、乗客数も戻ってくる。
		家電量販店(店員)	・給付金が入り、家電の買換えを検討している声も多い。また、今年の夏は猛暑が予想されるため、エアコンの需要が見込まれる。
		家電量販店(店員)	・現在は既に夏物家電がよく売れており、夏本番に向けて、更に季節商材が売れると予想される。
		競輪場(職員)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いており、近いうちに再開となるため、今後は良くなる。ただし、以前の売上や客単価に戻るかどうかは分からない。また、治療薬やワクチンの開発が進み、市場に出回るまでは、第2波、第3波への警戒が続くため、規模を縮小した形での営業になると予想される。
		一般小売店〔花〕(経営者)	・緊急事態宣言の解除により、少しずつ取引先も営業を再開するので、今よりは多少良くなる。
		一般小売店〔珈琲〕(経営者)	・取引先の営業が再開となる。
		一般小売店〔鮮魚〕(営業担当)	・少し規制が解除されたことで、本来の売上には程遠いが、飲食店も徐々に上向く。当社の売上も、少しずつ緩やかに上向くと予想される。
		一般小売店〔野菜〕(店長)	・日本は外国と違って、決定的なダメージを受けているとは思えない。ただし、感染の第2波の発生に持ちこたえられるかどうかで、今後の経済は大きく変わる。
		一般小売店〔呉服〕(店員)	・6月1日から営業を再開するため、今よりも良くなる。
		一般小売店〔菓子〕(営業担当)	・1日も早く、新型コロナウイルスの感染が収束することを期待し、前月よりも消費が活発になることを願うだけである。
		百貨店(企画担当)	・前年に比べると、インパウンド売上は激減しているが、今月よりも営業機会は増加するため、現状よりも業績が好転することは確実である。
		百貨店(販促担当)	・月の大半が休業や時短営業であった今月に比べれば、改善が進むと予想される。ただし、メーカーの在庫調整や自粛ムードの継続により、本来の姿に戻るまでには時間が掛かる。また、夏休みが短縮になり、過去にない生活様式となるため、いかに仮説を立てて商品の手配を行うかという、スピード感が一段と重要になる。また、秋冬商戦にも早期に備えることが、今後の不安定な状況に対応する鍵となる。
		百貨店(サービス担当)	・6月1日から自粛が解除されるため、営業の自粛や営業時間の短縮が徐々に緩和され、今まで来店がなかった部分については改善される。集客のための催事やイベントができないうちは、以前の水準には戻らないが、少しは良くなる。
	百貨店(マネージャー)	・緊急事態宣言が解除になったため、消費に少し目が向けられている。	
	百貨店(マネージャー)	・春夏物の値下げが始まり、消費を抑えていた層も財布のひもが緩むと予想される。また、テレワークや健康志向など、新しい生活様式を視野に入れた需要が生まれており、消費の低迷は一定の底を打ったと考えている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（商品担当）	・インバウンドのシェアが高かった化粧品や、富裕層に人気のラグジュアリー関連や高級時計など、直近で売上をけん引していた商品は、徐々に売上が回復しつつあるものの、月全体では臨時休業による悪化を取り戻すのは困難である。間もなくお中元シーズンとなるが、以前からの習慣がどれだけ続くのか、夏物需要がどの程度強いのかなど、不透明な部分が多い。営業は再開したものの、全体の消費が回復するまでに、どれぐらいの時間を要するのか、なかなか見通せない。
		百貨店（外商担当）	・緊急事態宣言が解除となり、全館での営業が再開となっている。今後は売上が少しずつ回復に向かうと予想されるが、通常の状態に戻るまでにはかなりの時間を要する。
		百貨店（販売推進担当）	・休業が続いた今月に比べれば良くなるが、規模に関係なく、取引先がかなり疲弊しており、退店や販売員の削減の申入れが相次ぐと予想される。今までと同じ運営方法では、過去の売上を確保することはもうできないと感じている。
		百貨店（外商担当）	・店側、客共に、新しい生活様式が定着し、新たな百貨店の営業スタイルが確立できている。再び自粛要請が出されない限り、売上は緩やかに拡大すると予想される。また、新型コロナウイルスの影響が少なかった、富裕層の購買意欲には期待が持てる。
		スーパー（店長）	・今後、新型コロナウイルスの感染が収束したとしても、第2波、第3波への備えから、今後の花火や祭りといったイベントの自粛が予想される。また、夏休みの短縮や、大型テーマパークの再開動向が、個人消費にどの程度の影響を与えるかが大きな要素となる。
		スーパー（店員）	・緊急事態宣言が解除され、営業活動が少しずつ戻ってくる。
		コンビニ（経営者）	・予備校や専門学校は再開するが、企業の在宅勤務は今後も続きそうであるため、今よりも来客数は増えるものの、以前の水準に戻るには半年から1年程度掛かりそうである。
		コンビニ（経営者）	・インバウンドは戻っていないが、テレワーク中の人が出勤するようになれば、前年の53%に減っている来客数が、75%ほどに回復してくる予定である。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除され、客も少しずつは来店すると予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・良くならなければ、大変なことになる。
		衣料品専門店（店長）	・5月末に緊急事態宣言が解除され、徐々に来客数も戻ると期待している。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・今が最悪で、これ以上落ち込むことはないが、最悪の状態がいつまで続くかは分からない。
		衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が少し収まってきたため、少しは来客数が増える。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束による景気の回復は間違いないが、どこまで回復するかは予想が難しい。前年比での数字は厳しくなりそうである。
		家電量販店（人事担当）	・緊急事態宣言が解除されても、テレワークや外出を自粛する流れは続く。また、梅雨から夏に掛けて気温も上がるため、エアコンなどの需要が高まる。
		家電量販店（企画担当）	・自粛の解除や10万円の給付金が追い風となり、耐久消費財である家電商品は大きく動くと予想される。
		乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言の解除により、経済活動が徐々に戻ることを期待している。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、購入を控えた人が多かったことは事実であるが、逆に人との接触を避ける意味で自動車は有効であり、購入を検討する人も増えている。
		住関連専門店（店員）	・給付金などが入るため、家具や家電の買換えにつながりやすい。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつ頃落ち着くのかは不透明であり、今のところは先がみえない。元の状況に戻るまでには時間が掛かるが、少しずつ現状を脱していくと予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・緊急事態宣言の解除により、今よりも人の動きが出てくると予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・様子をみながら、6月からレストランの営業を再開していくが、まだ先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（企画）	・状況は流動的で、先の予測が立たない。
		一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かいつつあり、来客数が少し戻っているため、このまま期待したい。
		一般レストラン（企画）	・自粛の解除によって閉店時間も少し延び、今後は回復していくと予想されるが、回復までにはかなりの時間を要する。
		観光型ホテル（経営者）	・観光業は、新型コロナウイルスの影響を強く受けているが、今後は改善に向かうことを期待している。
		都市型ホテル（客室担当）	・緊急事態宣言の解除により、観光業にも再開の動きが出てくる。感染の第2波への備えを着実にしながら、新しい生活様式で感染を防ぐとともに、ワクチンの開発に期待したい。
		都市型ホテル（総務担当）	・5月21日に緊急事態宣言が解除されたため、客の動きが回復すると期待している。ただし、テレワークの増加でビジネス客の宿泊がどの程度戻るのかは不安である。また、宴会や飲食ではソーシャルディスタンスの確保による座席数の減少もあり、以前のような売上は確保できないと予想される。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言の解除直後は、人がかなり増え、待ち時間も短くなりつつある。今後は、タクシーの稼働台数も増えてくると予想される。
		通信会社（社員）	・緊急事態宣言の解除により、営業の制限が緩和され、少しずつ回復すると予想されるが、感染の第2波が心配である。
		競艇場（職員）	・緊急事態宣言が解除され、準備が整ったレース場は観客ありでの開催となる。場外発売所の営業も再開の準備が進んでおり、通常の体制に戻ろうとしている。長期間の無観客開催や休館による客離れが懸念されるが、全国的にみれば売上は回復すると予想される。
		美容室（店員）	・ブライダル関係の客が、予約を2～3か月先に変更したため、その分プラスになると期待している。
		その他サービス[マッサージ]（スタッフ）	・オイルマッサージでは服を脱ぐため、寒い時期には来客数は減少し、暖かくなると増加する。ただし、今年は新型コロナウイルスの影響でどうなるのかわからない。
		住宅販売会社（経営者）	・一時的な状況ながら、徐々に回復する。
		一般小売店[時計]（経営者）	・予報によると今夏はかなり暑くなる。新型コロナウイルスの感染の収束もまだまだ期待できないなか、楽観的に考えられる材料はない。暑さに耐える力も必要となるが、今起きていることによる体力的、精神的なダメージが回復するとは思えない。景気も良くなることは望めない。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの間接的な影響として、衣料品に関しては生産の遅延による夏物商材の不足、食料品についてはお中元の受注の苦戦が必至である。
		百貨店（特選品担当）	・自粛ムードがしばらく続くだけでなく、今後の客とのかかわり方は、ソーシャルディスタンスが基本となるため、今までのように多くの客に来店してもらうような販促手法ではなく、客と離れた状況での商売という、新たな手法が必要になってくる。
		百貨店（店長）	・アパレル関連の大企業の撤退といった動き次第では、百貨店のこれまでの利益構造が変わる。百貨店自体もキャッシュフローに左右されるため、店舗のとう汰が進む可能性もある。
		百貨店（服飾品担当）	・徐々に回復は見込まれるものの、当面は安全性を重視し、集客につながるような宣伝は控えることが予想されるため、回復には時間が掛かる。一方、新型コロナウイルスの影響で客の買い方が変化し、Webでの売上は大幅に増え続けているが、今後もこの傾向は続く予想される。先行きについては、夏物商材のセールなどは大々的に行わず、店頭販売が中心となることから、売上は苦戦すると予想され、インバウンドが戻ってくる秋冬商戦から徐々に上向いてくる。
		コンビニ（経営者）	・通常の動きになるまでは、もう少し時間が掛かりそうである。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言は解除されたものの、他府県への移動が制限されているなかでは、なかなか来客数は戻らない。大阪では新型コロナウイルスの陽性者がかなり少ないため、このまま抑え込めれば少しは売上の維持に期待できるが、先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルス感染症の収束が徐々に近づいているため、景気がこれ以上落ち込まないことを期待したい。
		家電量販店（経営者）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響で、客の消費意欲は抑制されそうである。
		家電量販店（店員）	・今月は自粛の反動が目立ったが、6月以降は買物に対して慎重になると考えられる。ボーナス商戦にその影響が出そうである。
		乗用車販売店（経営者）	・底打ち感もなく、低空飛行である。買い控えの動きも目立っている。
		乗用車販売店（営業担当）	・一度下がった景気はなかなか戻らないため、今年は厳しい状態が続くと予想される。
		住関連専門店（店長）	・売上がゼロに近いため、これ以上は悪くなりようがない。その一方で、これから良くなる要素も見当たらず、先の予測が立てられない。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたが、今後も積極的な購買意欲はみられないと予想される。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・今よりも動きは出てくるが、全体的には新型コロナウイルスの感染状況次第である。ただし、この期間中にも閉店する店があるなど、元どおりには戻らない。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・自粛の解除後に客が戻ったとしても、当店は生活必需品や季節商材は扱っていないため、すぐには売上に繋がらない。また、今回の自粛で販売のタイミングがずれた季節商材などをセールで販売しても、消費者の購買意欲の上昇につながらないと思えない。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染の第2波、第3波が懸念される状況では、消費意欲の回復には時間が相当掛かると感じる。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・間もなくマスクが入荷される予定であるが、値段がかなり上がるため、販売にはつながらない可能性が高い。
		観光型ホテル（経営者）	・6月5日からは、週末のみ営業を再開する予定であるが、3棟のうち1棟だけでの営業となるため、6月の販売量は前年比で4～5%しか見込めない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これ以上は悪化しないと予想される。ただし、既に9月までの大口会合のキャンセルが進んでいるほか、インバウンドの入国規制の解除までは時間が掛かる。人気のテーマパークなどの観光施設が再開しなければ、国内旅行は動かない。当分、ビジネス出張もテレワーク主体になると、取引先から告げられている。
		都市型ホテル（管理担当）	・休業中も6月以降のキャンセルが相次ぎ、今年一杯はかなりの苦戦が予想される。また、新型コロナウイルスの感染の第2波が発生する可能性もあり、今後の状況によっては更なる悪化も懸念される。
		都市型ホテル（管理担当）	・現状では判断できない。ただし、新型コロナウイルスの感染を避け、客の利用方法も変わらざるを得ない点があるため、以前の営業形態がそのまま復活するというものでもない。
		旅行代理店（役員）	・まだまだ国内の観光施設や海外向けの航空便も通常どおりではなく、当面は厳しい状況が続く。
		旅行代理店（支店長）	・緊急事態宣言が解除された、2週間後の感染状況に大きく左右される。基本的には薬やワクチンが開発されない限り、大きな景気回復は望めない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対する慣れが、少し悪い方に出てくると懸念している。経済はまだまだ回復段階にはなく、今は回復に向けた戦略を立てるべき時期である。
		観光名所（経理担当）	・座して死を待つ心境である。
		遊園地（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたものの、今後の感染状況が不透明であり、近い将来の見通しを立てることすら難しい。客と従業員の安全に最大限配慮をしつつ、新しい生活様式にフィットした事業スタイルを模索中である。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・一時的には回復に向かうと予想されるが、新型コロナウイルスの感染が収束するわけではない。アフターコロナの生活様式が広がれば、既存の小売店や飲食店はかなり厳しくなる。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・5月も新型コロナウイルスの影響で、全ての野球やイベントが中止となり、来場者はゼロとなっている。3か月後の状況も不透明であり、現状と変わらないと予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・今後の学校の運営や家庭学習の進め方、塾への期待などがどう変わるか、現時点では読みにくい。
		住宅販売会社（従業員）	・収入面などの近い将来の見通しが立たないことから、住宅を買い控える客が出てくるほか、テレワークなどの在宅勤務を見据えた、居住兼ワークスペースとしての住宅を購入する動きも一部で出てくる。経済的な背景ではなく、ライフスタイルの変化を伴う二極化という流れが、今後出てくるのが予想される。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・マンションの供給戸数が減る一方、価格は高止まりしているため、市場は低調な動きとなる。新築戸建てについては、1次取得層の受皿として、ある程度は堅調に推移する見込みである。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今まで外出ができなかった反動で、外出への欲求がみられるようになってきた。それに伴い、来客数も増え始めているが、欲しい商材が何か分からず、ただ洋服を見に来るという状態が続いている。
		百貨店（売場主任）	・営業が再開しても、元の売上に戻るまでには相当な時間を要する。新型コロナウイルスの影響で客のライフスタイルが変わり、従来は好調であった商品の売上も簡単には回復しない。また、取引先の撤退や、商品の製造を抑える傾向もあるなど、かなり厳しい状況が続くそうである。
		百貨店（売場主任）	・店頭の生鮮食料品の売上が、前年並みに戻り始めたことが光明である。緊急事態宣言の解除に伴い、消費マインドが回復することに期待している。
		百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスによる経済的なダメージは大きく、今後も個人の所得や消費に大きく影響する。また、各企業も景気の悪化を踏まえた経営体制となるため、今後の景気の改善については当面期待できない。
		スーパー（経営者）	・ショッピングセンターや外食店の再開もあり、買物や食事の場所が広がり始めた。その一方、夏のボーナスの減少や、パートへの応募が大幅に増えていることを考えると、所得の減少が予想される。また、キャッシュレス決済のポイント還元事業が終了し、7月以降は同業者や異業種による販促の強化で、価格競争が再燃し、客の争奪戦が激しくなりそうである。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収まることで、来客数や、商品の販売量も以前の水準に戻るため、売上は今よりも落ちると予想される。
		スーパー（店員）	・緊急事態宣言の解除後は元の生活に戻り、スーパーでまとめ買いはしなくなるほか、節約によって安い物しか売れなくなる。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスによる影響が少し緩和し、元の状態に戻ってくる。
		スーパー（企画担当）	・あくまでも現状の売上は、新型コロナウイルスの特需によるもので、今後は店舗の販売力が重要となる。特に、逆風が吹いていた鮮魚や総菜、ベーカリーの販売強化のほか、消費者のニーズにあった商品提供が必要となる。もちろん感染防止対策も続けなければならない。
		スーパー（経理担当）	・緊急事態宣言の解除に伴い、経済活動は回復していくが、以前の状態に戻るには時間が必要となる。今後は、失業率の上昇やボーナスなどの所得減少が影響し、節約志向の高まりが予測されるため、当面消費は縮小傾向となる。
		スーパー（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除され、関西圏では、新型コロナウイルスによる需要や来客数が落ち着きを取戻しつつある。首都圏ではまだまだ緊急事態宣言の影響が強く、売上が増え続けているものの、今後、景気減退の影響が出てくることは避けられない。
		スーパー（社員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くにつれて、客の買物行動は徐々に元に戻ると予想されるが、外出の自粛期間には消費の前倒しが相当みられたため、回復ペースは遅い。
		スーパー（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染は収束しないまでも、全体的に落ち着いてくることから、消費者による購入場所の選択肢は徐々に戻る。今後は再びパイの奪い合いになりそうである。
		スーパー（開発担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、客の購買意欲が上がってこないため、景気は悪化する。また、大阪の中小企業の倒産率もかなり高いため、まだまだ不景気が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（営業担当）	・前年比でプラスに戻るまでには、まだまだ時間が掛かりそうである。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・来客数はかなり減っているほか、買い控えの傾向も感じられる。どの企業も、今夏のボーナスはマイナス傾向となるため、小売業は厳しいと予想される。
		一般レストラン（経理担当）	・地域の行事やイベントも中止であることから、全体的な盛り上がりは期待できない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会や会議については、新型コロナウイルスの影響でキャンセルが発生し、壊滅的な状態である。8月の予約を見合わせる動きもあり、今期は秋から冬に掛けて回復すればよいといった感覚である。従業員についても、助成金制度を活用して雇用を確保しているが、感染の第2波が起これば、更に厳しい状況となることは免れない。食堂も徐々に再開するが、当面は安全を優先させるため、大きな売上は期待していない。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染が徐々に落ち着いてきているが、感染の第2波が到来すれば、イベント業界は大きな打撃を受ける。ワクチンや薬の早期開発が望まれる。
		住宅販売会社（総務担当）	・新規客の減少が今後の契約に大きく作用するため、すぐには回復が見込めない。
	×	商店街（代表者）	・今後1年以上は厳しい状況が続くと予想される。もう以前の状態には戻らないため、事業形態を新型コロナウイルスの感染収束後に考え直す。
	×	一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	・2～4月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西が66.3%で、関東が70.0%、中部が75.6%で、中国が72.7%となり、全体は69.5%であった。新型コロナウイルスの影響により、先行きは非常に不透明である。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・今後、感染の第2波がいつ来てもおかしくないことを考えると、再び休業しなければならない状況も十分に考えられる。その場合、経営状態がどうなるかは分からず、仮に自主休業は避けられたとしても、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ売上は、しばらく悪化したままになりそうである。
	×	一般小売店〔花〕（店長）	・新型コロナウイルスによるショックや、感染の第2波への恐怖など、不安材料だけである。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が収まってきたが、まだまだ自粛ムードである。イベントなどの予約注文もなく、売上は減る一方である。
	×	百貨店（企画担当）	・緊急事態宣言が解除となっても、外出自粛の傾向は続く予想される。また、政府が示す新しい行動様式では、通販の利用や少人数での買物などが盛り込まれているため、小売業は成り立たなくなることが懸念される。
	×	百貨店（マネージャー）	・自粛モードが続くなか、消費する場所や場面の縮小があらゆる部分で起こる結果、選択消費と価格への意識が更に高まる。それに伴い、消費環境は当面、非常に厳しい状況が続くと予想される。
	×	百貨店（営業推進担当）	・今月までの外出の自粛による経済の停滞と、来月以降とではフェーズが異なる。改めて実体経済が悪くなっていることが実感され、景況感が一段と厳しくなると予想される。
	×	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの影響で、世界的に生産活動が止まっている。秋物ファッションや高級時計などの品ぞろえが十分ではなく、しばらくは売上が見込めない。
	×	百貨店（宣伝担当）	・輸入商材を中心に、商品の入荷が遅れがみられる。取引先もセールを前倒しして在庫の消化を図っている状況であり、積極的な販促策を掛けられる状態にないため、まだまだ厳しい状況が続く。
	×	スーパー（経営者）	・先のみえない新型コロナウイルスの影響で、全体的に消費者の節約傾向は強まっていると感じるため、景気は悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・スーパーの好調な数値は、来客数ではなく客単価が上がった結果である。今後は、自粛の緩和によって飲食店などにも消費が分散するほか、緊急事態宣言中の収入減に伴う節約などで、厳しい状況になると予想される。
	×	スーパー（店長）	・旅行や飲食、娯楽、インバウンドにかかわる企業は、しばらく厳しくなると予想される。小売に関しても、しばらくは冷え込むと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響による、行動範囲の縮小傾向は今後も続きそうである。それに伴い、当店は広域からの集客が鍵となるため、来客数の減少の影響で売上が減ることになる。
	×	スーパー（店長）	・アパレル関連のテナントも、非常に厳しい状況が続いている。
	×	コンビニ（経営者）	・今後は失業者が増えるほか、働き方も今までとは違う形になる。不安材料が多いため、お金の使い方も慎重になる。
	×	コンビニ（店員）	・今後、客は更に日常の無駄遣いを控えると予想される。来客数は戻りつつあるが、まだまだ以前のような活気は戻っておらず、商品廃棄の量も減らない。非常に厳しい状況が続いている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・街の小売店の倒産を防ぐためには、給付金の額を増やすほか、支給のハードルを下げたり、回数を増やす必要がある。そうしなければ倒産や廃業が増え、街が寂れてしまう。
	×	衣料品専門店（経営者）	・人出の戻りが遅く、今後も外出を控える傾向が続くそうである。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスによる先行き不安は大きく、経済へのダメージも徐々に拡大すると予想される。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束までの時間が長くなればなるほど、新車の販売や修理の売上が見込めない。
	×	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染の第2波が到来した際の規模にもよるが、ウイルスとの共存体制が確立できるかがポイントとなる。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・生活様式の変化により、接客業は厳しい状況が続く。従来の対面販売については、インターネットを利用したバーチャル接客などに変えるなど、対策を考える必要がある。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染は収束に向かっているようであるが、政府による給付金や補助金の支給は非常に遅い。自粛が全面的に解除となり、デフレの心配や感染の第2波、第3波の不安もなく、国内外からの観光客が戻るまでは、十分な補助がなければ持ち堪えられない企業も多い。経済が通常に戻るまでには、まだまだ時間が掛かりそうである。
	×	一般レストラン（経営者）	・祭りや行事がなくなったため、宴会や会食の機会が減る。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で客は来ず、緊急事態宣言が解除されてもなかなか戻ってこない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で来客数は前年比で約9割減少している。今後も外出の自粛は続くため、しばらくは期待できない。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・今夏はボーナスにも期待できないほか、給付金は外での出費には回らない。
	×	観光型旅館（経営者）	・6月に営業を再開しても、入込が急には回復しないため、3か月後も同じ状況である。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染の第2波に備えるという理由で、年内のイベントの中止が続く。
	×	タクシー運転手	・今後は多少良くなる。
	×	タクシー運転手	・企業関係の予約が全てキャンセルとなり、特にハイヤー関係の営業収入は全滅状態となっている。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、受注が減少している。
	×	通信会社（社員）	・緊急事態宣言が終了し、一時的な小康状態でもあるが、景気の底入れには程遠い状況である。具体的かつ早急な経済対策が必要である。
	×	通信会社（企画担当）	・外出や営業の自粛は解除されても、一気に景気が回復するのは難しい状況である。補助金の支給も間に合っていないため、キャッシュフローが回らず、倒産する会社が増えるという予想される。
	×	テーマパーク（職員）	・補助金についても、無収入になってから2か月近くが過ぎても手に入らないなど、とにかくスピード感がない。新型コロナウイルスの影響で死ぬのは問題であるが、休業によって失業し、生活に困窮して自殺するのは仕方がないという政策のように感じる。
	×	観光名所（企画担当）	・関西3府県の緊急事態宣言が解除され、営業再開に向けて準備をしている。ただし、再開したとしても、しばらくは感染防止のために人数を制限した運営となる。通常どおりに戻るの、かなり先となりそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	住宅販売会社（経営者）	・飲食や旅行関連の業況が完全に悪化しているため、その従業員などの不動産購入能力が低下している。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・今後は倒産の増加や、新型コロナウイルスの感染の第2波到来で、経済活動が縮小する。
	×	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・緊急事態宣言が解除になったとはいえ、住宅展示場の集客イベントは実施できないため、来場者が通常の半減以下となるのは必至である。今後は撤退する企業もありそうで、厳しい状況が続く。
	×	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、すぐに回復する見通しが立たない。見通しが暗い状況は、今後変わらないと予想される。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたため、今後は少しずつ戻ると予想されるが、以前の水準に急激に戻ることはない。
		化学工業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で、会社全体としては過去に経験のない悪化となっている。食品の一部は好調であるが、トータルでは惨たんたる状況である。ただし、数か月後には従来程度には回復していると予想される。
		電気機械器具製造業（経営者）	・当社は紫外線とオゾンに関する製品を扱っているが、両方とも新型コロナウイルスの殺滅に効果がある。これらを使った有効な新型コロナウイルスの除去装置が販売できれば、間違いなく当社の景気は良くなる。当社だけでなく、紫外線とオゾンは日本が得意とする分野であるため、期待が持てる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・来月から定期修理の工事予定がある。
		建設業（経営者）	・東京などの緊急事態宣言も解除される見通しであり、今後は前年並みに戻る。
		輸送業（営業担当）	・給付金が入れば家具が売れると期待している。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・今が悪過ぎるため、良くなってもらわなければ困る。緊急事態宣言が解除され、徐々に折込広告の動きも戻りつつあるが、自粛ムードは残っているため、どこまで戻るかは分からない。ただし、地元紙であり、地域の情報を求める読者が増えているため、購読数は伸びている。
		広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言の解除で少しは良くなるが、以前のような水準までビジネスが回復するには、時間が掛かりそうである。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・夏に掛けて一旦は感染が収束に向かうため、少なくとも現状に比べれば回復する。秋口から冬に掛けての、感染の第2波に備えた備蓄需要も出てくると予想される。
		食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言が緩和されても、急にはなかなか元の状況には戻らない。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染状況は改善が進んでいるものの、生活環境の変化などもあり、市況は不透明である。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・今後、新型コロナウイルスのワクチンが開発されない限り、各社は大胆な施策が打ち出せないため、見通しは悲観的である。
		金属製品製造業（開発担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今後どうなるか分からない。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言の解除や10万円の支給などが、消費の追い風となることが期待されるものの、新製品を発売するタイミングが例年よりも遅れている商品もあり、今後は品不足が懸念される。
		司法書士	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの感染が収束したわけではない。人との接触は避けなければならず、困難な状況に変わりはない。
		食料品製造業（営業担当）	・今後も自粛傾向は続くため、今までのような売上や、にぎやかな状態には戻りにくい。
	繊維工業（総務担当）	・今年度上期は、既に発注のあった契約について、取引先が遅れながらも引き取ってくれた。下期からは消費者への販売状況が悪いため、取引先からの発注量が減少する可能性があるなど、厳しい状況が続くと予想している。	
	プラスチック製品製造業（経営者）	・生産量がゼロにはならないが、夏場に生産調整が入るのは確実である。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で大変な状況にあり、ビール瓶の大瓶などは売れていない。それ以外の商品に大きな変化はないが、今後は悪くなると予想している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が激減している。
		建設業（経営者）	・建設業界は手持ちの工事があるため、新型コロナウイルスの影響は他業界よりも数か月遅れて出てくる。今後は企業の存続のために資金を使う会社が増えるため、設備投資は最低限となり、計画の延期や凍結が増えることが予想される。これから建設業の冬の時代が始まる。
		輸送業（商品管理担当）	・新型コロナウイルスの影響もあってか、家具の配達が例年よりも減っている。この状態はまだまだ続きそうである。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束の時期がみえない状況であり、先行きが不安である。
		金融業（副支店長）	・前月までは受注が減少していなかった企業からも、取引先による在庫調整の影響で、売上が減少しかねないといった話が出てきている。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・政府による対応の遅れなどに失望している。
		広告代理店（管理担当）	・緊急事態宣言が解除になったとしても、様々な制約が続くため、現状維持ができれば良い方である。感染の第2波への懸念が消えない状況で、新しく何かを提案し、実施することは困難である。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で全く駄目である。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・経済情勢が通常に戻るまでには、しばらく時間が掛かる。
	×	繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束したわけではないので、感染を予防したなかでの販売となる。催事などの客足が戻るまでには、時間が掛かりそうである。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今後どのような状況になるのか、まだ予想ができない。
	×	化学工業（経営者）	・受注額が前年比で7割程度落ち込む日も増えており、今後はますます悪化すると予想される。
	×	化学工業（管理担当）	・自動車メーカーの減産が続くため、今後は出荷量がますます減少しそうである。
	×	金属製品製造業（経営者）	・売上は5月が最悪となるが、工場稼働率は6月の方が更に悪くなる。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・底のみえない状況が続いている。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先は生産が減っている状況であり、設備投資への意欲は全く感じられない。
	×	輸送用機械器具製造業（役員）	・現時点では、見積りなどの引き合いがほとんどない。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・緊急事態宣言が解除され、百貨店や小売店の営業も徐々に始まりつつあるが、各店とも自粛期間中の在庫を抱えており、メーカーへの新規発注にはつながっていない。その結果、生産を一時ストップしているメーカーもある。首都圏との往来の自粛は依然として続いているため、秋冬物の商談にも影響が及んでいる。
	×	建設業（経営者）	・このような状況で、住宅や建築に多額の投資をしようという気持ちにはならない。
	×	建設業（営業担当）	・今後はホテルや旅客・運輸、商業施設などで、新型コロナウイルスの影響による工事計画の縮小が予想される。
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染に対する不安から購買意欲が薄れるため、経済は回らない。
	×	広告代理店（営業担当）	・先の予想が全くできない状況である。
	×	経営コンサルタント	・現状は最悪であり、新型コロナウイルスの影響が収束する見込みも立っていない。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がどの程度出てくるのか、予測ができない。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染の収束状況が不透明なため、しばらくは不景気が続く。
雇用 関連 (近畿)		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスによる自粛の動きが一段落し、求人数も含めて増えつつあるため、この傾向が続くと予想される。
		人材派遣会社（役員）	・経済活動の回復に伴い、求人、求職共に上向いてくると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・緊急事態宣言の解除により、外出の自粛が緩和され、経済も次第に回復に向かうと予想している。ただし、この2～3か月に受けた企業や社会の傷は大きく、景気が良くなるとはいっても、基調はかなり弱いと考えられる。
		民間職業紹介機関(職員)	・今後の新型コロナウイルスの感染状況に左右されるが、仮に緊急事態宣言の解除が続けば、一定の経済活動が期待でき、それに伴う求人数の増加が見込める。
		民間職業紹介機関(支社長)	・求人の動きが徐々に再開しているため、今よりも良くなる見通しである。
		人材派遣会社(経営者)	・派遣業界全体が右肩下がりであり、派遣会社自体の営業担当が余っている状況である。一方、独立行政法人や社会福祉協議会などの派遣需要は堅調で、役所関係も同様である。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、この動きがしばらくは続く。
		人材派遣会社(営業担当)	・緊急事態宣言は解除されたが、今後も手探り状態であり、明るい兆しはみえない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響がなくなりつつあるため、状況によっては改善する可能性もあるが、今のところは余り変化がない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響で、製造業や派遣業の求人がまだまだ改善しないため、今後も悪い状況となる。
		学校〔大学〕(就職担当)	・新型コロナウイルスの感染の第2波がいつ発生するかが予想できず、焦燥感が拭えない。
		職業安定所(職員)	・直近の求人状況を見ると、緊急事態宣言の解除後も求人数が大きく増加する見込みは少ない。一方、解除によって新規求職者の増加が見込まれ、有効求人倍率の低下が懸念される。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・現在契約が入っている派遣社員も、新型コロナウイルスの感染状況により、次回の更新時に契約が終了する可能性もある。それに伴い、更に景気が悪くなる可能性がある。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・21年卒の採用は、既に予算を組んでいる企業が多いため、大幅な採用減はないと予想される。一方、22年卒の採用はこれから予算を組む企業も多く、新型コロナウイルス不況の影響が大きく出そうである。ここ数年、新卒採用は質より量の流れがあったが、今後は量よりも質を重視し、早めに動く学生を取り込む流れが加速すると予想される。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が出てくる。
	×	人材派遣会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束し、通常の出勤や生活が可能となるまでは、良くなる見込みがない。
	×	人材派遣会社(支店長)	・しばらくは今の状況が続くと予想される。
	×	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、宣言前の状態に戻る気配は全くない。客の意識も、感染が完全に収束したという感覚ではない。
	×	職業安定所(職員)	・今後、企業の倒産や雇用調整がますます増えるのに伴い、離職者数が更に増加することが予想される。
	×	学校〔大学〕(就職担当)	・新型コロナウイルスの感染防止のための休業が、リーマンショック以上の景気後退を招く可能性が極めて高く、今後の景気は決して楽観視できない。

9. 中国(地域別調査機関:公益財団法人中国地域創造研究センター)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)		競艇場(企画営業担当)	・緊急事態宣言が解除されたことにより、場内での舟券の販売が可能となるため、売上が増加する。
		一般小売店〔靴〕(経営者)	・新型コロナウイルスの第2波、第3波が来る前に、非対面型の商品、サービスに切替えを行うため、現状よりはやや良くなる見込みだが、実際は分からない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕(経営者)	・次第に来客数が増加し、にぎやかになってきているので、今後はやや良くなる。
		百貨店(売場担当)	・現在の状況よりもかなり回復はしていくと思われるが、婦人服や紳士服などの買い回り品やお中元などを中心に新型コロナウイルスの影響は続いていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言が解除され、客の流れも徐々に通常に戻りつつあり、前年の水準までの回復は見込めないと思うが、4～5月よりは景気は回復する。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言時よりは景気は良くなる。
		衣料品専門店（代表）	・緊急事態宣言の解除以降、徐々に来客数が戻っている。客に自粛生活でたまったストレスをショッピングで解消しようとする様子がみられる。定額給付金が入ることによる購買意欲の向上もみられる。
		家電量販店（店長）	・元々家電は生活必需品のため落ち込みが小さく、今夏の猛暑が予想されているためエアコンの伸びが期待できる。また、定額給付金の効果もあるため、景気はやや良くなる。
		家電量販店（企画担当）	・緊急事態宣言が解除されたので、来客数や売上が増加する。
		家電量販店（販売担当）	・今夏の猛暑が予想されていることや定額給付金の効果で景気は良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・今後の見通しは立たないが、現在よりは景気は良くなる。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスの終息までまだまだ時間は掛かるが、底からは抜け出すことができる。
		乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、買い控えをしている客が購入を検討し始める。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されてから来客数が増加してきており、今後景気は良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・国内だけでなく、全世界で新型コロナウイルスが終息に向かい、第2波、第3波が来なければ、多少は景気が回復するが、前年の水準まで回復するには2～3年は掛かる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・現在の状況が続けば、経営が成り立たなくなる。今後は今よりは良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今後、新型コロナウイルスの第2波が発生、緊急事態宣言が再発令されると、現状よりも厳しくなる可能性があるが、新型コロナウイルスが終息すれば景気は良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・現在、全く商売にならない状況で、この状況が2～3か月続けば店が存続しないところまで来ているので、今よりは良くなる。
		一般レストラン（店長）	・県の自粛要請が緩和されて以来、少しずつではあるが売上や来客数も増加傾向にある。すぐに元どおりに戻るとは考えられないが、今が底の状態でも今後第2波が来なければ元に戻る。予約も再開後1週間はずっと0件の状態だったが、ここ1週間で徐々に電話が掛かってきているので、今後は期待が持てる。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、徐々に景気が回復する。
		都市型ホテル（企画担当）	・5月末で全国の緊急事態宣言が解除されることから、駅周辺のショッピングセンターや百貨店の営業再開もあり人出はやや増えてきている。宿泊や宴会はしばらく現状維持の状態が続くとみている。レストランの営業の問合せも増えてきており、営業再開も視野にあるが、取りあえずは3つの密対策など受入れの準備を進めている。
		都市型ホテル（総支配人）	・今月は休館中だが、緊急事態宣言が解除されると徐々にではあるが回復する。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息が多少は近づいているので、客の動きが良くなる。
		通信会社（企画担当）	・2～3か月後に新型コロナウイルスが再発生するリスクはあるものの、規模は小さく、現時点で一旦底になった消費は今後上向きに転じる。
		テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況を踏まえつつではあるが、今後県外からの人の呼び込みも実施する予定となっており、今よりは人の動きが出てくる。
		観光名所（館長）	・緊急事態宣言の解除により今よりは人の流れが回復する方向に向かう。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスによる販売不振の影響が緩和されていく兆候が現時点で見られるため、景気はやや良くなる。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明であり、景気はなかなか良くなる。
		百貨店（経理担当）	・安心して外出や買物ができる状況になっていないため、まだしばらくは今の状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（外商担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、自粛は変わらず、V字回復するとは考えにくい。この状況は当面の間続く。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの第2波の懸念もあるため、前年並みの状況に戻るにはまだまだ時間が掛かる。
		スーパー（店長）	・フィットネスジムや飲食店など商業施設の共同出店者が徐々に営業を再開しているが、客の流れは依然として良くないので、景気はすぐには良くならない。
		スーパー（総務担当）	・自粛等の影響もあり、食料品の需要は一時期増加したが、徐々に落ち着いてきている。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せない。
		スーパー（販売担当）	・緊急事態宣言が解除されてから来客数が少しずつ増加しているが、今後の新型コロナウイルスの動向が不透明なため、景気は変わらない。
		スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの影響が続く限りは現状と変わらない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスの不安材料が残るため景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、自粛ムードは続き、販促活動も控える方向のため、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・販売台数は前年と比べ4割、新規の客は8割減少している。緊急事態宣言が解除されてから、来客数が増加しつつあるが、以前の水準まで戻るにはまだまだ時間が掛かる。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・回復の兆しがなく、今後も変わらない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・近隣住民向けの弁当販売などにも力を入れているが僅かな売上にはすぎない。新型コロナウイルスが終息するまでは観光地がにぎわうことはなく、景気は変わらない。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続く、景気は変わらない。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスが完全に終息していないなか、人の動きはまだ完全には元に戻らない。
		都市型ホテル（企画担当）	・今が底なのでやや良くなると思うが、それでも全体的な動きは低調なままになる。また、この数か月のダメージが、表面化してくる懸念もある。
		旅行代理店（経営者）	・当分は旅行の需要が上向くことはない。
		旅行代理店（支店長）	・今後の感染状況にもよるが、新型コロナウイルスが終息すれば国策と連動した施策で個人旅行から回復の兆しが出てくる。
		通信会社（経理担当）	・インターネット環境を必要とする客は以前と変わらずいるため、特に変化はない。
		テーマパーク（業務担当）	・緊急事態宣言が解除され、人の動きも少しずつ出てくると思われるが、当面の間は感染拡大前の人の動きに戻ることはない。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響もあり、景気は変わらない。
		観光名所（館長）	・自粛を解除したことで感染者が増加しなければ、今より若干は良くなるが、本当に景気が良くなるには当分時間が掛かる。
		ゴルフ場（営業担当）	・元の状況に戻ることは考えられない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、このまま第2波が来なければ少しずつ回復していく。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で住まいや企業の設備投資が回復する見通しはしばらく立たない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・人の動きが回復しておらず、今後も景気は悪くなる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・正直、今後の予測がつかないが、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・食品スーパーにおいてはちょうど夏休み、お中元商戦の時期となるが、今の状況とは反対に学校授業の延長や補習授業があり、お中元商戦も低迷する。
		百貨店（営業担当）	・取引先がかなり厳しい状況である。春夏物の在庫を何とかセールで消化していこうと計画はしているが、客が今までどおり来店するとは思えない。今後は商品のネット購入など客の新しい生活様式への変化を見極め対応していかなければならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業企画担当）	・乗客数は回復傾向にあるが、観光客の来店減少、ピヤガーデンの今季開催の中止、夏季セールの商材不足等もあり、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・近隣の店舗も営業を再開し、日常が戻るにつれ、売上も乗客数も落ち着いてきている。ただ、ここまで好調に推移していた間も客単価はそれほど上がっておらず、その点を考慮すれば先行きは厳しくなる。
		スーパー（管理担当）	・自粛要請がなくなると、人の行動範囲が広がり、売上が分散するため、現状よりも悪くなる。
		コンビニ（支店長）	・スーパー等での密を避けるため、スーパーの代わりに利用する客が増加している。一方で、居酒屋等がランチ営業や宅配を始めており、昼食ニーズでの競合相手が増加している。今後も、人との接触を控えるため、外出を自粛する傾向が続くため、乗客数は減少する。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・自粛中に体力のなくなってきたテナントも多いため、まだ楽観的に考えない方が良く判断している。新型コロナウイルスの影響を受けず給与の変わらない業種もあるが、家計がひっ迫している家庭も多いため、財布のひもは当分固くなる。
		一般レストラン（経営者）	・これまでの休業による売上の減少と家賃や人件費等の経費の支払により、収支が大幅な赤字となり、補助金や助成金ではカバーできない状況にあり、今後は4～5月よりも厳しい状況に追い込まれる。何よりも外食産業が不要不急の業種に位置づけられないかが心配である。
		一般レストラン（経営者）	・客が新型コロナウイルス発生前の感覚には戻れないため、これからも乗客数が減少する。
		タクシー運転手	・景気はすぐには元に戻らない。
		タクシー運転手	・景気が少しでも上向くことを期待したいが、実際はやや悪くなる。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響で景気がどのくらい回復するか予想が付かない。
		設計事務所（経営者）	・景気がいつ戻るのか気にしている客が多い。厳しい状況のなかで良くなる兆しが見えてこない民間では建築設計が発注とならない。
		住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、すぐに以前のように元どおりになるわけではない。
	×	商店街（代表者）	・イベント再開のめどが今のところ立っていない。緊急事態宣言が解除されても、景気の悪化は都市部から遅れて地方に波及してくるのでこれから更に景気は悪化する。
	×	商店街（代表者）	・売上が低迷し、今後の見通しが全く立たない。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言解除後も景気はすぐに元に戻らない。開店休業状態がしばらく続く。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言は解除されたが、客が外出を控えているので、依然として乗客数は少なく、売上が上がらない状況で、今後も景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されてもこのまま自粛が継続すれば周りの小売店の廃業、倒産が増加する。
	×	百貨店（営業担当）	・2月末から新型コロナウイルスの影響で商材の生産を中止している会社もあり、これからクリアランスセールの時期を迎えるが、先行きが全く不透明である。
	×	百貨店（営業担当）	・個人の消費活動が以前の水準に戻るまではまだまだ長い期間が必要であり、取引先の倒産や商品生産の減少などのマイナス要因も多いため、景気は悪くなる。
	×	百貨店（販売計画担当）	・取引先の倒産によるテナントからの撤退、富裕層の一部減少等で景気は悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が弱まり、新型コロナウイルスによる特需がなくなると、乗客数が前年割れとなるなかで、売上が元に戻る、あるいは前年を下回るため、景気は悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不透明であるが、支出を一層抑える傾向が顕著になる。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立っていないため、景気は上向かない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（業務開発担当）	・町並みに人は戻らず、乗客数や販売点数からは不況時の食品への超節約志向モードがつかがえる。これから一層安さを出していかないと厳しくなる。
	×	スーパー（財務担当）	・キャッシュレス・消費者還元事業の終了と、所得減少による節約により売上が大幅に減少する。
	×	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、乗客数は回復せず、前年と比べ15%程度減少しており、今後も景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続く。
	×	家電量販店（店長）	・緊急事態宣言が解除されても家計の収入が激減しているため、当分は消費の回復が見込めない。
	×	乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
	×	乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ尾を引く。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・景気が良くなる要素は何もなく、取引先もどんどん悪くなっており、倒産しそうな会社まで出ている状況で、当社の業績も厳しくなる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、隣県でクラスターが発生したため、客の自粛が続く。
	×	その他専門店〔布地〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたが、当分の間は街に人が戻ってこないため、景気は悪くなる。
	×	観光型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しないと景気は良くならない。
	×	タクシー運転手	・閉店する飲食店もあり、なかなか人は戻ってこない。このままの状況が続くとタクシーの台数を減らすことになる。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除されたが、県外や外国からの観光客がほとんどいないため、厳しい状況が続いており、現時点では底がみえない。
	×	通信会社（広報担当）	・このまましばらくは買い控えの傾向が続く。
	×	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの余波が地域に連鎖的影響を及ぼす。
	×	通信会社（営業担当）	・雇用不安が収まっておらず、出費がより厳しくなる。政府の支援金も家賃などの生活費に充てられることが大半を占めると予想されるため、消費を動かすことにはならない。
	×	美容室（経営者）	・この先、通常の生活に戻る見通しが立っておらず、景気が良くなることはない。
	×	美容室（経営者）	・周辺ではまだまだ景気が悪くなるという話で持ち切りで、すぐには良くならないし、これから悪くなる。
	×	設計事務所（経営者）	・リモートだけでは契約に至るまで時間が掛かり、受注の確保のめどが立たないため、悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客による連絡会で2～3か月先の生産量は回復基調となるという報告があったため、今後景気は良くなる。
		通信業（営業企画担当）	・データセンター利用の需要はあらかじめ、前年度から計画がされたものであり、新型コロナウイルスの影響が落ち着けば、需要も少しずつ持ち直してくる。ICTやIoTに関する興味はなくなるものでないため、一気に火がつく可能性がある。
		農林水産業（従業員）	・自粛モードがしばらくは続く。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しても以前の環境に戻ることはないため、新たな生活に対応できる販売提案が不可欠で、当面は厳しい状況が続く。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・注文量の回復を期待するが、引き合いも少なく当面現在の生産水準が継続する見込みで臨時休業も継続する予定である。
		鉄鋼業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くかが不透明であり、急激に回復する見込みはない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・自動車向け製品の受注は回復するが、電子材料関係の素材等では受注の悪化が見込まれる。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・緊急事態宣言は解除となったが、販売意欲は戻らない。
		建設業（総務担当）	・今年度中は予定物件で現状を維持しているが、新型コロナウイルスの影響で秋以降の予定物件に影響が出る懸念がある。
		輸送業（支店長）	・休業やテレワークの企業が多く、経済不況の様相があり、物流についても需要の先行きが不透明な状況である。
		輸送業（総務担当）	・現状では景気の底を見極められていない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅需要は落ち着く時期に入っており、現在の状態が続く。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で先付けでの受注が減少傾向にあり、今後も景気は良くならない。
		会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波の懸念と業務再開を目指す動きが並立しており、完全回復までは時間が掛かる。
		食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されようとしているが、取引先が回復傾向にないため、先行きが不透明である。
		木材木製品製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で合理的な予想が付かない状態である。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・2021年以降の仕事量が低水準で推移しており、ますます不透明感が強くなる。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で予定していた受注の先延ばしや設備投資の見合せが現実となっており、景気はやや悪くなる。
		建設業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
		通信業（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されても今後3か月以上経済のダメージが続く。自社の営業においても積極的な訪問営業ができないことから訪問件数、商談件数、見込み案件も伸び悩んでおり、通常の売上に戻るには3か月は必要と判断している。
		金融業（融資企画担当）	・新型コロナウイルスの影響による自動車販売の低迷があと数か月は続き、地元完成車メーカーの生産は6月もおおむね5月と同水準の前年比で7割減少になると見込んでいる。また、系列の地元部品メーカーの受注も低水準が続く。
	×	繊維工業（監査担当）	・これから閑散期になるので、例年売上はない。今年は夏物が販売できていないので、事業を継続するためには、経費圧縮を図ることになり、積極的な販売活動はできない。
	×	化学工業（経営者）	・主要取引先の内、特に車関連部品メーカーの来月以降の生産調整による受注予定量が大幅に減少しており、景気の押し下げ感否めない。
	×	鉄鋼業（総務担当）	・2～3か月先の受注予測も悪化傾向にある。
	×	金属製品製造業（総務担当）	・仮に新型コロナウイルスが終息しても、当社は工場の設備案件を扱っているため、客がすぐに設備投資を行うとは思えない。このため、先行きは全く読めないが、現在のかなり厳しい状況が継続する。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから景気は悪くなる。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・急激な景気後退により取引先が設備投資を見送ることは明らかであり、装置メーカーの景気は更に下向きとなる。
	×	輸送業（総務・人事担当）	・景気が上向き要素が全くないため、最低半年は悪化する。
	×	金融業（貸付担当）	・自粛要請解除後も、消費マインドは当面元の水準には戻りにくく、景気回復の見込みは小さい。
雇用 関連 (中国)		-	-
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスも第1波は終息に向かっており、しばらくすると人やモノの往来が始まりそうである。身近な飲食店やスポーツジムなどの営業が再開し始め、中止していたイベントも規模を縮小しつつも開催のめどが立ってきているので、景気は徐々に上向いていく。
		その他雇用の動向を把握できる者	・緊急事態宣言が解除され、今後、定額給付金が各人に行き渡れば、今までの反動で消費は拡大する。
		職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスの影響がいろいろな業種に現れており、雇用調整助成金等の申請相談も多く、雇用環境の悪化も継続する。
		職業安定所（雇用関連担当）	・3つの密の防止と経済活動を両立し、経済が活発になるのは難しいため、景気は変わらない。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・いまだに休業中の企業もあり、求人数も増えていない状況である。今後の見通しが立たないことから、しばらくは採用活動を中止するという声が多いため、2～3か月では状況は変わらない。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスがそのまま順調に終息していけば、少しずつ良くなると思うが、今後どうなるか不明なので変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・国内外の景気が悪く、派遣のオーダーが圧倒的に少ない。緊急事態宣言の解除で今から少しずつ戻ってくるが、当分は景気が悪い状態が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（支店長）	・緊急事態宣言の解除以降の6月にどれだけ新型コロナウイルスの感染拡大前の状況に戻れるかが焦点となる。飲食、宿泊、サービス、製造など幅広い分野に影響が出ており、採用が元に戻るか懸念している。今後、新卒採用又は中途採用のどちらかに影響が大きくなるのが予想される。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス関係の製品を作っているIT、Web系のメーカーなど一部の業種、業態を除き、多くの業種が新型コロナウイルスの影響を受け、売上を減少させている。採用も業績も本当の影響が出るのはこれからで、今年度の業績結果を受けて来年度の採用となるため、来年度の方が更に採用は厳しくなる。今後は、企業を知る機会をつくる、社員のことを考えて働く環境を整える、通勤環境を整えるなど地元への就職を希望する学生を増やすための取組が重要になる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響に伴う行動規範がやや緩和されつつあるが、第2波、第3波への備えも考慮する必要がある。経済活動が回復するにはまだまだ時間が必要である。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響で新卒の採用計画を見直す企業が出てきており、景気への悪影響は避けられない。
	×	人材派遣会社（支社長）	・地元完成車メーカーは今後しばらく回復が難しい。新型コロナウイルスの影響で人員採用に慎重になる企業が増加し、派遣社員は有期雇用という働き方を敬遠するようになる。いずれにせよ、明るい見込みはない。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	・今後、サプライチェーンが機能しない企業や新型コロナウイルスの第2波の影響で業績が回復しない企業が出てくる。
	×	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で採用計画見直しによる求人取消しや採用した者の採用日を決められず採用決定を先送りする事案が出てくる。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		-	-
		商店街（事務局長）	・消費は一部では回復していくものの、企業の倒産や所得の目減り等が顕著になることから、先行き不安感が一層まん延し、業績や消費のV字回復は期待できない。
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されて、全国的に人の動きも徐々に出てくる。一時の全く先がみえない状況に比べれば、人通りも大分戻ってきているが、第2波が出たら、また最悪の状態になる。
		衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたので、5月の第3～4週の土日については状況が変わってきている。いよいよ全国的に解除されたので、すぐにとはいかないが、これから徐々に良くなっていく。
		家電量販店（副店長）	・6月以降の天候、気温に左右される。特に季節商材の販売は大きく変わってくる。
		乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第ではあるが、今よりは良くなっていく。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスへの対応方法がテレビのニュース等で紹介されたことにより、個人も企業もいろいろな対策を実施している。日本国内での感染リスクは減少に向かいつつあり、商談件数も徐々に改善していくと予想する。
		乗用車販売店（役員）	・緊急事態宣言の解除により少し人の動きが出てきている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・段々と新型コロナウイルスの影響も少なくなってきているので、少し客の動きも良くなっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・現在の景気は最悪であり、3か月先には新型コロナウイルス感染拡大も収束し、現在より良くなることを期待している。
		一般レストラン（経営者）	・是非とも、新型コロナウイルス感染拡大が収束して景気が上向いてほしい。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスへの対策が充実して、少しは人出が増えてくることを願っている。
		通信会社社員	・緊急事態宣言の解除に伴い、訪問販売を再開するか検討している。再開すれば、販売量は増えてくる。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除により、客の動きが活性化することを期待する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染防止対策が国民に浸透し、日常活動に定着してきているので、ある程度は経済活動の回復が見込まれるため、景気改善の効果は見てくると考える。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・6月から営業再開する店舗が多いので、商品の予約は少し入ってきているが、単価は安く、数も大幅に少ない。緊急事態宣言が解除されても以前のような来客数や売上は見込めない。
		百貨店（企画担当）	・県外への往来の自粛をまだ求められているなか、物産展のような大型催事の開催の見込みが立たない。
		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスが全国的に鎮静化するまでには時間が掛かるため、当面は自粛対応が続き、本格的な消費回復は遠く、しばらくは厳しい状況が続くと予想する。
		スーパー（店長）	・ワクチンの開発など新型コロナウイルスに対する根本的な解決手段が確立されない限り、今後も現状の傾向が続く。
		スーパー（企画担当）	・学校、会社の再開により家族の在宅は減ると推定するが、外食の自粛などは続くと見込まれるので、引き続き売上高の伸びは継続する。
		コンビニ（営業担当）	・政府の「Go To キャンペーン」は、一部の業種や中流以上の国民へのサービスであり、国民1人1人に向き合っていない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスは落ち着いてきているが、先行きが不透明のため、まだ現状が続く。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの企業活動が止まっていたし、全体的に客も自粛ムードなので、今後も長い間、厳しい状態が続く。
		旅行代理店（営業担当）	・夏まで各県のイベント等が中止になっており、今後の観光需要が全く見込めない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で9月から授業を本格的に再開する大学もあるなど、人の動きは鈍い。まず商店が営業を再開しないと人が出てこないというのが現状である。
		タクシー運転手	・これ以上は悪くならないと見ているが、今は良くなる要素が何もない。仕事も出勤日数が通常の半分になっているし、多少勤務日が増えてきても、売上が上向くとも考えられない。しばらくは今の状況が続くと考える。
		家電量販店（店員）	・景気の悪化でボーナスが減ると予想されるため、ボーナス商戦は見込めない。
		通信会社（営業部長）	・店舗は通常営業に戻るものの、新たな生活様式のもとで様々な制限が引き続き必要であり、また、客の家計の余裕もないと考えられるため、しばらく販売が戻ることはない。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつ収束するか見通せない。
		美容室（経営者）	・このまま新型コロナウイルス感染症が収まれば景気は多少戻ってくると思うが、また自分たちの地域に感染者が出たら人は動かなくなるため、2～3か月先の状況は見通せない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスにより多業種に影響が出ており、客の不安感が払拭されていない。活発な客動向とは程遠い状態で推移していく。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第2波や近い将来に起きると予想されている大地震、地球温暖化による自然災害等をもっと現実的に捉え、都市機能や生活拠点の分散化が進むことを期待している。さらに、まちづくり三法の徹底した周知、自覚を持った時代対応に取り組まなければ、多くの既存の商業集積地は崩壊し、地方自治体も立ち行かなくなる時代になった。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、依然として客の街への来訪が少ない。当然ながら来店客数も減少傾向が続いており、当面はこの状況が続く。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染症による自粛ムードはある程度残ると考えられるし、5%のキャッシュレス・消費者還元事業もなくなるので、景気は悪くなる。
	×	スーパー（財務担当）	・失業や給料減で節約志向が強まる。
	×	コンビニ（店長）	・イベント等の開催のめどが立たない現状では経営改善は見込めない。また、新たなライフスタイルが定着した感もあるため、しばらくは悪化傾向が続く。小売業としてコンビニの在り方自体が岐路にあるとも感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの状況がどうなるかに全てが掛かっている。現状では良くなる要素は全くない。自粛期間中に、出掛けなくても生活に困らないと感じた人が多いなか、コンビニ業界は今後、縮小期に入るのではないかと考えている。
	×	コンビニ（総務）	・緊急事態宣言は解除されたが、売上や客数が通常に戻るのがいつになるのが見通せない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言が解除されたが、ここ2～3か月のうちに元に戻るということはまずない。少なくとも景気の悪さは、年内一杯まで引きずるのではないかと予想する。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による経済収縮がまだまだ収まらない。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンができないと客が動かない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンや特効薬が開発されない限り観光業は回復できない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいろいろなところに出ているので景気は悪くなる。
	×	設計事務所（所長）	・設備投資の計画があった客が、規模を縮小したり、時期が未定になる事態が発生し始めた。
企業 動向 関連 (四国)		電気機械器具製造業（経理）	・全世界において新型コロナウイルスの影響による規制が前月末～今月にかけて徐々に解除されている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・雇用確保が大切なので、いろいろな形で雇用を早く再開して、社会に貢献したいと考えている。
		建設業（経営者）	・受注できる可能性がある物件が見受けられるようになった。
		通信業（企画・売上管理）	・緊急事態宣言の解除に伴い、徐々に回復すると考えるが、ソーシャルディスタンスを意識する必要があったり、感染リスクが残ったままなので、以前のように戻らないと予想する。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に改善の兆しが少し見えてきた。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの影響も徐々に薄れており、改善を期待しているが、倒産や廃業が増加する可能性もある。
		広告代理店（経営者）	・4～5月は前年比50%以下という過去に経験したことがない急激な売上ダウンに見舞われたが、営業自粛解除のスケジュールが示されたので、徐々に客からの発注が戻ってくる想定している。したがって、最悪の状況から比べると少しは良くなっていく見込みである。
		税理士	・これから新型コロナウイルス発生前の日常生活に戻っていくと期待しているが、自粛期間に受けた影響を完全に取り戻すまでには時間が掛かる。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外食を始め給食や量販店に対する出荷量が激減しており、回復には相当な時間が掛かることが予想される。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束期や第2波が起こるかどうかが景気は大きく変わるため、今後が見通せない状況である。
		輸送業（営業）	・新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ収束せず、感染拡大の第2波や第3波も危惧されている限り、消費者の購買意欲鈍化による消費の低迷は続く。景気の低迷が解消されない限り取扱物量の回復も見込めず、物流事業者にとっても非常に厳しい経営環境が続く。
		輸送業（経理）	・新型コロナウイルス感染症による需要の激減と市場の供給縮小により停滞した客の動向は、緊急事態宣言の解除に伴い微増してくるが、海外との交易は依然として低迷状態が続くと考える。そのため、海外生産から国内生産へシフトする動きが活性化しない限り、部品供給等を海外に依存する市場経済は現状のまま推移すると考える。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響でウェットクリーナーの売上は上昇したが、アルコールの仕入れ制限が設けられ、受注どおりの生産ができない。よって、規制がある限り売上は今以上に伸びない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波や第3波が予想され、更に生産性が低下することが懸念される。感染拡大が懸念される冬季までの間を想定せざるを得ず、このまま厳しい状態が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、失業者や生活困窮世帯の増加、収入減少等、生活基盤の悪化が全国的に進んでいる。この状況は当面続くと想定されており、消費を取り巻く環境は厳しさを増している。このため、次年度作について、花きや業務用野菜から一般消費の多い野菜品目への転換が進む等、農業分野でも構造転換が予想される。
	×	繊維工業（経営者）	・当県のタオル産地でも事態は深刻で、最近では土～月曜を3連休にして工場の生産を止めているメーカーもある。もともと消費税増税以降、少し厳しくなってきたが、新型コロナウイルスで一挙に厳しくなった感はある。景気回復も回りながらではあるが、第2波の防止を優先するなかで、しばらくは市場の活況は先延ばしとなる。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響により、住宅販売棟数が極端に落ち込んでいる。今後も回復の見込みはなく、新型コロナウイルスの早急な終息が鍵となる。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・受注、販売共に、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響が強まると予想する。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期やその後の経済への影響は計りかねる。
	×	輸送業（経営者）	・新聞報道によると全体的には大きく下がっていないが、我々の業界は厳しい。
雇用 関連 (四国)		-	-
		学校[大学]（就職担当）	・新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が全面解除になり、第2波の襲来がなければ少しずつ景気も上向く。
		-	-
		求人情報誌（営業）	・緊急事態宣言解除後の景気や消費の揺り戻しも期待できるが、3～5月で落ち込んだ分を取り戻せるほどの回復は見込めない。この回復期を持ちこたえられない企業や店舗も多いと考える。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所からの雇用調整助成金の相談が多数あり、人員整理を実施する事業所も増加傾向にあるが、緊急事態宣言が解除となり、今後は状況が緩やかに改善していくのではないかと考える。
	×	人材派遣会社（営業）	・本来夏が繁忙期の企業にとっては、従来どおりの営業が厳しいため、ますます今年度の売上見込みが立たない状況になる。来年度の新規雇用の計画も縮小傾向になる企業も少なくない。新型コロナウイルスの第2波を抑え込むことがこの2～3か月の課題となる。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・先行きが見通せず求人数が伸び悩んでいる。
	×	新聞社[求人広告]（担当者）	・観光や飲食など全国と同様に厳しい傾向にある。それ以外の現状では直接被害のない業種でも今後備えて支出を控える傾向にある。
	×	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が解除されたが、一向に街のにぎわいは戻ってきていない。来日外国人はもとより日本人旅行者の姿も全く見受けられない。ホテルやタクシーの業界関係者も、緊急事態宣言が解除されたのは良いが、以前の状態にいつ戻るのが危惧しているようだ。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス第2波が拡大しなければ、景気は間違いなく上昇していく。一部厳しい企業もあるが、政府の対応策もあり、全体では持ちこたえられたと考えている。したがって、懸念もあるが2～3か月先は、良くなることを期待している。
		百貨店（売場担当）	・緊急事態宣言の解除後は、新しい生活様式にのっとり、制約はありながらも現状よりは人の移動が出始め、今よりは良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・出張者の利用と、開始時期にもよるが、政府の支援策であるGo To Travelキャンペーンの効果を期待している。
		競馬場（職員）	・客の入場再開を期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除になり、外出する機会が増えるため、今以上に悪い状態にならないと予想しているが、外出することに不安があるため、見通しは分からない。今後、新型コロナウイルスによる影響を判断しかねる状況である。
		商店街（代表者）	・日を追うごとに新型コロナウイルスの影響が、収束に向かっていているという希望的観測で、景気は若干持ち直す。
		商店街（代表者）	・夏場に向けて、消費は徐々に回復すると見込んでいる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの第2波を客は案じているが、客の購買意欲は抑えることができないため、徐々に動いていく。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・現在どん底のため、厳しい状態があと1か月は続く予想している。元の状態に戻るには、時間が掛かるが、現状より良くなることを期待している。徐々に回復していくはずである。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・緊急事態宣言が全面的に解除されることで、状況は若干良くなる見通しである。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスによる影響が収束し、ふだんの生活リズムが、徐々に回復することを期待している。
		百貨店（企画担当）	・5月6日より営業再開したため、若干良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ来店客数が増えている。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルス収束次第ではあるが、来店客数は回復している。大きなイベントとしては、通常7月からのクリアランスセールを6月早めに展開し、お中元ギフトセンターが繰り上げになる。また、食品の物産催事や電化製品の売出しは、自粛による影響が大きい。6月は全店計60%を超える動きになると予想している。取引先が抜けていく可能性が懸念材料にはなるが、現状より状況は上向きで推移する。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、近隣運動施設等での競技大会が開催されるなど、人の動きが期待できる。
		衣料品専門店（店員）	・緊急事態宣言が解除になり、やっと営業を開始することができる。
		家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除されて、客足は随分戻っている。パソコン等もよく売れており、白物家電や黒物家電も需要が出ている。3か月前と比較すると今後の状況は、徐々に上向いてくると期待をしている。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響による自粛要請が解除になり、客数が増えている。
		乗用車販売店（従業員）	・現状の売行きが悪さは、ほぼ底を突いているため、徐々に良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・本当に少しずつではあるが、来店客数は増えている。全面解除後に期待するしかない。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・緊急事態宣言期間中に業績が底を打っているが、徐々に回復の兆しが見えている。しかし、3～5月で受けた影響は非常に大きく、先行き不透明なため、今後の回復に懸念している。
		観光型ホテル（総務）	・運営しているホテルの宿泊や宴会、レストランの予約、問合せ等少しずつ増えている。首都圏からの出張や旅行等人的動きが活発になると予想している。
		観光型ホテル（専務）	・県や市のGo To Travelキャンペーンが始まるため、予約が入ることを期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの終息次第であるが、感染に注意しつつ、ビジネスは戻っていく。
		タクシー運転手	・2～3か月先の予約には、県内外からの予約が徐々に入っており、若干上向き。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染第2波への不安が強く、長期にわたる経済的落ち込みは、運転手の雇用すら懸念される。急激な回復は望めない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスによる影響で、止まっていた引き合いや見込み案件が動き出している。減額等はあるものの、全く動いていなかったものが始まるため、多少は回りだすと予測される。
		ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の解除により、徐々にではあるが改善すると予想している。
		理容室（経営者）	・梅雨に入り暑くなるため、5月後半から来店が出始めている。業界的には、やや良くなっていくと期待を込めている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・緊急事態宣言も解除され、2～3か月先は、客足が伸びてくると予想している。おしゃれシーズンにもなり、客の動きが出ることで、今より状況は良くなる。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が継続する。
		商店街（代表者）	・5月と同じ傾向だと想定している。
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されたが、すぐに売上や来街客数が増加するとは考えられず、この状況が2～3か月先まで継続する。また、第2波が起こったときに、どのように対処するかを考えながら準備をしていきたい。各業種は、非常に厳しい状況であり、補助金等がなければ廃業、倒産の組合も散見される。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス警戒による外出自粛で購買意欲が減退になっており、お中元ギフトセンターを含め、来店の回復は遅れると考えられる。一方、通販部門は感染予防対策での外出自粛により、お中元商戦を含めた利用増が予想される。一部し好性の高い舶来雑貨や工芸品、クレジット決済は期待できるが、感染収束まで家族そろっての外出や購買意欲減退及び慎重姿勢と生命・生活防衛意識で回復は長引くと懸念される。
		百貨店（プロモーション担当）	・流行と収束が繰り返すことが予想され、多少の波はあっても、消費の根本的な改革なくしては、新型コロナウイルス発生前の状態には戻らないと考えられる。
		百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束に見通しが立っておらず、客足は、前年から半減の水準が継続している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発されるまでは、以前の動向に戻らないと考えている。
		コンビニ（エリア担当）	・不安定要素がなくなる限り、消費マインドが劇的に変化することは期待できない。
		コンビニ（店長）	・簡単には戻らない。
		コンビニ（店長）	・まだまだ新型コロナウイルスによる影響が続くと予測される。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・まだ、客は外出を避けているため、昼間のピークがまだ元に戻っていない。しかし、客単価は前年より高く推移しており、来店客数が戻れば、売上もそこそこ回復すると見通している。
		衣料品専門店（取締役）	・給付金は1～2割の負担のため、多少の助けにはなるが、他の経費が多いため、緊急事態宣言が解除されても、すぐに来店客が増加するとは考えられず、今後は、企業的に体制を見直しながら整える守りの時期になる。
		衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、簡単に2～3か月で回復に向かうとは、考えられない。
		家電量販店（総務担当）	・景気の停滞が予想されるが、今夏の猛暑予想により、エアコンディショナーや季節商材の後押しをしてくれることを期待している。
		家電量販店（広報・IR担当）	・緊急事態宣言が全国で解除され、少しずつ以前の状態に戻るであろうが、この先不透明な上、この不況で消費者心理に悪影響が出ている。
		乗用車販売店（代表）	・変わる好材料がない。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・6～7月は飲料系のアイスコーヒーの需要が高まっていく。また、営業再開する店も増えつつあり、それに伴い、従来の発注状況に戻ってくると予想されるが、来店客が元に戻るには時間が掛かるため、景気は横ばい、あるいは若干悪い。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルスが終息し、インバウンドが戻るまで、悪い現状は継続する。
		一般レストラン（スタッフ）	・大人数での飲食を控えているため、多少人の動きが増えても売上は戻らない。
		居酒屋（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波を考えると、県外からの客を見込めない。また、県内の客も企業の飲食が減少しているため、厳しい状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・新しい生活スタイルの具体策も読めず、新型コロナウイルス発生前に戻るとは考えられない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスへの関心が当分続き、光・モバイル通信回線のニーズが続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言は解除されたが、経済活動が以前のように戻る気配がない。今後は、世の中の働き方にあわせて、ビジネスモデルを変えていくことが必須と考えられる。
		美容室（店長）	・以前は、旅行や食事会前に来店が多かったが、現在は必要最低限に止まっており、客数が前年の30%減少である。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除になり、期待感はあるが、客先では受注やキャッシュフローを含め、厳しい状況が続く。経費削減の観点から協力要請があると想定され、会場利用も抑制され、その結果、良くも悪くもならないと予測している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、すぐに客へのサービスが戻ることは困難である。
		設計事務所（所長）	・仕事量が増えるわけでもなく、1年近く同じ状況が続いており、良くないと感じている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、商店街全体の落ち込みはひどいものである。飲食店は廃業も視野に入れ始め、小売店は数店閉店したままである。一時的な不景気ではないため、深刻である。
		百貨店（業務担当）	・外出自粛していた間に、たまった仕事や家事をするのに時間が掛かり、買物をする気持ちになれない客が多く、当面は消費に回す金がない時期が継続する。
		スーパー（店長）	・小売やスーパーマーケットでは、販売促進面も加え、5月は前年比102%で推移すると予想している。需要と供給の内容も変わっており、品切れがないように、商品の補給に気を付けている。新型コロナウイルスの影響で、客の購買意欲も変化しながら、6月には少し落ち着いていく。
		スーパー（総務担当）	・緊急事態宣言が解除され、すぐに元どおりとはならないまでも、徐々に大型ショッピングセンターや各種観光、娯楽施設等へ消費が流れていくと予想され、この3か月間のようにスーパーマーケットで買物することが楽しみというような風潮は終わる。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着くと、家庭内での食事が減り、収入が減った家庭では、更に安価なものを求め、スーパーマーケット業界は、新型コロナウイルス発生前よりも厳しい状況が予想される。
		スーパー（統括者）	・緊急事態宣言解除後は、客の行動範囲が拡大し、また、6月のキャッシュレスポイント還元が終了するため、やや悪くなる。しかし、内食での家族のきずなも深まり、営業方法によっては、チャンスもあると考えている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が徐々になくなっても、容易に客数が戻るわけではなく、今まで下支えしてきた客単価アップも望めず、先が見通せない状況になる。
		住関連専門店（経営者）	・6月からは、キャンペーン再開を予定しているが、緊急事態宣言解除後の人の動きはまだ鈍く、置き家具を購入するまでには、時間が掛かる。
		住関連専門店（従業員）	・本当に先が読めない。所得減少による需要の落ち込みは想定される。また、緊急事態宣言が改めて発令される可能性もゼロではない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格は、しばらくは下げ止まった状況で推移すると予想している。なじみ客の来店頻度や使用量が減少しているが、当地を訪問する客が戻るには、相当の時間が掛かる。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	商店街（代表者）	・当市では感染者が発生し、閉店の危機感が出ているが、諦めずに取り組んでいく。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない限り、大変な事態に陥る。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況下でも売上が良かったが、これから夏は暑くなるため、売上が落ちる。
	×	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・年間を通して、一番の繁忙期に、新型コロナウイルスの影響で売上が非常に落ち込んでいる。今から暑くなるため、日本茶の売上は期待できない。これから数か月は、この状態が継続すると危惧している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（店長）	・徐々に新型コロナウイルスが終息しつつあるものの、影響は長引くと予想され、今後の経済状態が回復するには、かなりの時間を要する。
	×	コンビニ（経営者）	・自粛によるステイホームに慣れ、緊急事態宣言解除後も関東、関西から当地への人の移動は、大幅減少が続く見込みで、売上低迷は避けられない。
	×	コンビニ（経営者）	・テレワークを始めとして、人が動かなくても経済活動ができる状況になり、完全に元に戻ることは望めない。このことにより、消費が非常に沈滞化していく。
	×	コンビニ（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの感染は、第2波、第3波が発生する可能性があり、本格的な経済活動に戻るには、まだまだ時間を要する。
	×	衣料品専門店（店長）	・少し世の中の動きに、明るい兆しが出てきている。一刻も早く、人の流れが戻ることを望んでいる。
	×	家電量販店（店長）	・給付金需要は一時的なものであるため、これが落ち着けば新型コロナウイルスの影響が色濃くなる。
	×	乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染拡大により、メーカーの車両生産が遅れている。2～3か月先は、受注台数も登録台数もかなり落ち込み、収益が確保できない状況となる。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスの影響がある限り、景気が上向くことは厳しいと考えている。現状では、少しずつ客の動きに回復がみられるが、感染防止のために必要最低限の経済活動状態である。施設業種では、特に旅行業種と映画館は、厳しい売上に陥っている。治療薬が開発されると、もう一段階経済活動も上がるため、早期開発に期待したい。
	×	高級レストラン（経営者）	・6月の予約状況は、僅かしか入っていない。前年と比較すると8～9割の減少である。様々な給付金を受取りながら、しのいでいくしかないが、先行き不透明なため予想ができず、それに加えて、近隣の県から感染者が発生しており、不安を隠せない。
	×	高級レストラン（経営者）	・この地域の飲食店では、どうにか持ちこたえている店や助成金が間に合わずに廃業する店、従業員がいなくなる店が多く出ており、このままでは地域の活性化がなくなり、元に戻らないのではないかと非常にひっ迫している状態である。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外食は敬遠され、経済の落ち込みから外食消費は落ち込む。
	×	タクシー運転手	・4～5月に新型コロナウイルスの影響に耐えてきた中小企業のなかで、6～7月に倒産や廃業する店が出てくると予想される。また、新型コロナウイルスの第2波の懸念もあり、好材料は全くない。
	×	通信会社（店員）	・インターネットでの購入が増加するため、景気は低下していく。
	×	観光名所（従業員）	・例年と比較しても、この状況は非常に厳しい。また、完全な新型コロナウイルスの終息宣言が出ない限りは、安心して人の往来もできない。先のみえない状況下のため、疲弊しきっている。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・新型コロナウイルスの影響やワクチン、治療薬の開発承認等見通しがついていないため、状況は悪くなる。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、かなりの人の収入が減少しており、生活の立て直しや防衛を考え、高額な住宅等の建築をしばらくは控えるのではないかと想定している。
	×	住宅販売会社（従業員）	・先行きが見えない理由で、住宅を検討している客の計画延期が、増加している。緊急事態宣言解除後も、展示場来場者数は、依然少ない状況である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・客は、住宅購入、マンション購入や賃貸の引っ越しを急ぐ必要がないと取りやめ、事業用賃貸も安い家賃への転居を希望している状態である。客もこの業界も先行き不安で、景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (九州)			
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、若干落ち着いている。当街の補助事業もあり、テイクアウトが好調である。人の活動が始まることは、購買意欲が出て、当社の売上にも好影響である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・経済的に動き出し、問合せや受注件数も少しずつではあるが増えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・現状が一番苦しい状態であると感じている。先行き不透明であるが、3か月先は若干良くなるのではと希望を持っている。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・世界の状況にもよるが、自動車の自動運転化等、製造しなければならぬものは多く、徐々に生産が回復すると予測している。
		不動産業（従業員）	・商業施設の営業再開が始まり、回復が期待できる。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・自治体予算に期待をしている。
		農林水産業（経営者）	・全国で緊急事態宣言は解除されたが、ワクチンや新薬がない状態では、心理的に不安であり、従来のような外食やイベントは期待できない。少なくとも今年一杯は、厳しい状況が続くと危惧している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響による販売台数減少及び生産台数の減少等を今月同比で予測している。
		建設業（従業員）	・見積案件や受注状況は、停滞気味に推移している。今期は、あと数日で終了するが、来期は、受注に向けて今期至らなかった点等を見直し、持ち直しを考えている。
		建設業（社員）	・緊急事態宣言は解除されており、今がどん底だと考えているが、新型コロナウイルスの影響を引きずり、段々と悪くなっていくのではと不安である。景気が良くなることに期待している。
		輸送業（従業員）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、すぐには荷動きが戻ることはなく、最低限の物で生活できると感じる人が増加することで、1人当たりの消費は減少する。
		輸送業（総務担当）	・緊急事態宣言が解除となっても、新型コロナウイルスの脅威は変わらず、ワクチンが流通するまでは、元の状況に戻らない。
		通信業（職員）	・新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言は解除されたものの、景気が回復し以前の状況に戻るまでには、かなりの時間を要すると推測される。また、感染拡大の第2波が来る可能性も十分にあるため楽観視できない。
		金融業（調査担当）	・景気後退している状態に、さらに、新型コロナウイルス感染拡大が、経済活動の停滞を引き起こしている。日本全体で緊急事態宣言が解除されたことで、停止中の生産や設備投資、買物・レジャー等の動向が、徐々に活発化されると予想されるが、2～3か月以内に底打ち、回復は考えにくい。新型コロナウイルスの終息は、不透明であるため、治療薬の開発や普及がなされない限り、人々の心理状態は改善されず、本格的な景気回復には、1～3年要する可能性がある。
		経営コンサルタント（社員）	・当分は、現在の停滞状況が継続する。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が不透明である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・米中貿易問題に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、客の動きが悪い。
		一般機械器具製造業（経営者）	・規制緩和はされたものの、雰囲気为重たく商談も低調気味となり、先行きが見通せない状況である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスによる影響が懸念される。
		精密機械器具製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、受注先から減産の生産調整がきている。これからも低迷が続くことを危惧している。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないため、景気回復はしない。
		金融業（従業員）	・緊急事態宣言が全面解除されたとはいえ、引き続き新型コロナウイルスの影響が大きく、国内外の観光客が激減し、百貨店やホテル、飲食店等の売上も大幅に減少するなど、景気は悪化している。一層の政府の大型景気対策に期待する声も根強い。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明で、大きく落ち込んだ消費や企業活動のV字回復は見込めない。感染リスクに対する根深い警戒心は、景気回復の下押し要因となる。
		金融業（営業担当）	・中小企業・中小事業者は、全般に緊急事態宣言解除後は、若干売上の回復がみられるが、今後第2波も予想されるため、景気は良くなり、むしろ悪くなる。
		金融業（営業）	・今の景気が底であると考えられるが、セーフティネットで資金繰りが一服するだけである。中小零細企業が再生するには困難が多く、先がみえない停滞感が強まる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店(役員)	・新型コロナウイルスの第2波への備え状態が、客内で止まらず、マーケティング活動全体の鈍化傾向が、しばらく進む。
		その他サービス業[物 品リース](支社長)	・企業の倒産が増加するおそれが高く、ボーナスのカット等も予想され、節約傾向は継続する。
	×	食料品製造業(経営 者)	・新型コロナウイルスの影響で、どこまで悪化し、そこからどう回復するのか把握できない。
	×	繊維工業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響は、2~3か月では終わらない。
	×	家具製造業(従業員)	・飲食やホテル向け家具の需要は、3か月先も全く不透明である。転勤や新社会人、入学等による家具需要も前年比60%程度で、3か月先以降のホテルや飲食店向け家具見積りは、ほぼ止まり、一般向け家具も大きくマイナスである。売上の主流は、家具小物のような便利グッズだけとなっている。
	×	金属製品製造業(事業 統括)	・4~5月の影響により、更に新規案件は厳しい。当社の重要客であるホテルや旅館、老健施設、病院、学校等の経営状況は悪化すると考えられ、危惧している。
	×	電気機械器具製造業 (経営者)	・主要取引先の6~8月生産計画が、下方修正されている。
	×	電気機械器具製造業 (取締役)	・売上減少のため、国の補助金を活用しようと考えているが、現金が入らなければ何もならないため、必死になっている状況である。どこまで新型コロナウイルスの影響が及んでいるのかがみえず、不安である。
	×	経営コンサルタント (代表取締役)	・売上は、前年と変わらない状態であるが、客は、新型コロナウイルスの影響で、厳しく追い詰められており、今後、廃業や値下げ交渉等が予想され、当社も厳しい状況になることを覚悟している。
	×	経営コンサルタント (社員)	・緊急事態宣言が解除されても、すぐには回復しない。
	×	その他サービス業[コ ンサルタント](代表 取締役)	・市町村からの調査や計画策定業務の発注で、企画提案書を提出した際に、新型コロナウイルス対策や、感染を防ぐ会議やヒアリング方法が、業者採用の評価基準の1つになっている。対応できない場合は採用されず、仕事を受注する機会が失われているため、今後も続くと考えられることから、景気が悪くなる。
雇用 関連 (九州)		求人情報誌製作会社 (編集者)	・夏の商戦で、新型コロナウイルスの影響で停滞した売上の取戻しを掛け、サービス業を中心に、積極的な展開がされると予想している。
		人材派遣会社(社員)	・今月より状況は良くなるものの、求人の動きは、人に依存せず生産性向上を求める動きが優先されている。そのため、採用に戻ってくるには時間が掛かる。
		人材派遣会社(社員)	・今が最低ラインで、今後上向くことを期待している。プロ野球再開や秋の婚礼シーズンを迎えるため、見込みはあるが新型コロナウイルスが落ち着くことが前提である。
		新聞社[求人広告] (社員)	・緊急事態宣言が解除され、徐々に人が動き出した感じである。飲食店も営業を再開しているが、地域によっては、新型コロナウイルス第2波で、再び自粛ムードが高くなる可能性があり懸念される。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・外出自粛が解除され、小売や飲食業等には徐々に客が戻り、現状より良くなっていく。また、8月には当地で路線の開通、運転再開もあり、観光も少しは上向くと考える。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス感染拡大防止による3密を避ける行為や営業自粛が続く限り、各種方面に影響が続く。各企業担当者は、もうしばらく状況を注視するという状態である。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスの感染次第のため、全く先行きが見えない状況である。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの治療手段が、具体的にみえない限り、これまでどおりの経済活動は困難であるため、景気は今月と変わらないが、あるいは悪くなると考えている。
		人材派遣会社(社員)	・新規採用は、慎重になる傾向があり、市場感の停滞がある。現在の契約に関しても、終了になる動きもあり、今後もその傾向がつかえる。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染拡大次第であるが、自粛ムードが続く限り、企業の雇用拡大は望めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの産業から求人減少している。管内の自粛は徐々に緩和されているが、回復に向かうための対処が解決していないため、景気は更に悪くなる。
	×	人材派遣会社（社員）	・全く先行きが分からない。早期退職を募る企業から、再就職支援の相談が増えている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの最終的な終息宣言が出ない限りは、感染の可能性がある飲食業やサービス、イベント、インバウンド需要の回復には、まだまだ時間が掛かる。
	×	職業安定所（職員）	・有効求人倍率が4か月連続して低下しており、回復する要素が見当たらない。
	×	学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスの影響で、企業の経済活動に長期にわたり影響が及んでおり、採用人数を減じている企業や、採用を凍結する企業が更に発生する可能性が高い。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)		-	-
		百貨店（店舗企画）	・休業をせず、感染防止策を考えながら、うまく付き合うしかない。
		コンビニ（副店長）	・自粛ムードが今よりも緩和されると考える。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月は終日休館で、来月以降徐々に開けていくため、今月と比べればやや良くなると判断している。しかしながら現段階の予約状況から推測される客室稼働率は、例年の半分以下といった見込みで、非常に厳しい状況である。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が解除となった21日以降、若干だが来店客数が増加傾向にある。6月以降は通常営業となるので、今後新型コロナウイルスの第2波がなければ、元に戻すのは難しいが回復はしていくとみている。
		スーパー（企画担当）	・引き続き新型コロナウイルスの第2波が予想される。
		コンビニ（経営者）	・来客数が増加しないと売上の回復が見込めない。
		コンビニ（経営者）	・観光立県の沖縄は、県外あるいは外国の観光客によりにぎわいがみられるところであり、各航空会社の運航状況が変わらないことには現状を打破することは困難である。県内の人口だけで回復するには非常に難しい課題だとみている。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスによる観光客減は秋頃まで続くかと判断する。ただし、6月以降県民の動きは徐々に改善されると考える。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は新型コロナウイルスの感染予防のため自粛をしており、ほとんど営業していない。21日から営業を再開しているが、客はまだ全然おらず、先が見渡せる状態ではない。
		スーパー（販売企画）	・キャッシュレスポイント還元事業が6月で終了することや、新型コロナウイルスの影響で他業種が厳しいことを考えると、景気はやや悪くなるとみられる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響で建築意欲が落ち込んでおり、新規の建築相談が減少している。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのまん延中で、緊急事態宣言が解除された後も、商店街の飲食店や物販関係も、閉店中の店が多く見受けられる。今のところ先行きがみえない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・今後、一時的に観光客が遊びに来て数も少ないだろうし、元どおりになるのはいつになるのか先が読めない。この状況がこれ以上続けば、閉店が相次ぐだろう。景気は最悪になるとみている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスまん延の状況が落ち着いても、ステイホームに慣れた客を店に戻すのはかなり厳しい。観光客の戻りも待ち遠しいが、第2波、第3波のパンデミックも心配である。新業態や通販等の劇的な変革が求められる。また、利益計上を急がないと緊急融資の返済が重くのしかかってくる。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・先々の予約が全く動かない。沖縄へ来る客は、東京含む首都圏、大阪、名古屋、福岡で8割を占める。大都市の状況が好転しない限り、見込みが立たない。
	×	旅行代理店（マネージャー）	・自粛解除で少しずつ前に進むとみるが、旅行業界は回復までにタイムラグがあるのでまだまだ時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他サービス[レンタカー](営業)	・緊急事態宣言は解除されたものの、その後の先行予約状況は例年に比べかなり鈍化しており、観光需要の回復はまだ当面先になる。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		*	*
		建設業(経営者)	・住宅展示場の閉鎖に加え、完成現場見学会での集客ができなくなり、今後の見通しが立たない。
		輸送業(経営企画室)	・緊急事態宣言が解除されて経済活動が再開しており、政府の支援も進んでいる。一方で、観光面の状況が変わらない限り、この状況は続いていくとみられる。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	・新型コロナウイルス感染防止のための自粛が解除になったが、当面工期の延期などの調整で先行き不透明である。
		輸送業(代表者)	・離島の建設関連は、官需部門は依然好調に推移するものと見込まれるが、民需については一部ホテル業者の信用不安が懸念されるなど、先々の不透明感が増している。
	x	食料品製造業(総務)	・新型コロナウイルス不況が顕在化してくるのはこれからで、長期戦を覚悟する必要がある。
	x	広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響により生活者の行動が制限され、自粛ムードも継続するとみられる。県内企業も先行きへの不安を抱えながら模索しているものの、有効な手立てが見付からず、総じて販促活動を抑えることが確実視されている。
	x	会計事務所(所長)	・消費者心理の回復も遅れると予想されるため、回復基調への道筋もない。
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		人材派遣会社(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、経済は現在底の状況だが、沖縄県も自粛要請の解除で少しずつ企業の活動も再開され、経済も緩やかに回復していきだろうと期待をしている。
		求人情報誌製作会社(編集室)	・5月後半から居酒屋等の求人が若干ではあるが増えている。県内の新型コロナウイルス感染者数0人が続けば少しずつ良くなるとみられる。
		職業安定所(職員)	・求人数は少ないものの、幅広い業種で求人が出始めており、採用活動が一部復活してきている。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で観光業の動きが鈍い。
		学校[大学](就職支援担当)	・緊急事態宣言は全国的に解除されたが、経済状況がまだ新型コロナウイルスの影響を受けているとともに、第2波の懸念もある。
		-	-
	x	人材派遣会社(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続きそうである。
	x	学校[専門学校](就職担当)	・新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言が解除されたが、完全終息には至っていない。第2波、第3波が懸念されるなか、経済活動がどこまで回復するか不安要素が強くなっている。